## 稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体)

			図 面 リ ス ト		
意	匠 図				
A-01	特記仕様書(建築改修工事編) (1)	A-21	天井伏図【改修後】	A-41	展開図(5)【改修後】
A-02	特記仕様書(建築改修工事編)(2)	A-22	1 階天井耐震補強図	A-42	展開図(6)【改修前】
A-03	特記仕様書(建築改修工事編)(3)	A-23	矩計図(1)【改修前】	A-43	展開図(6)【改修後】
A-04	特記仕様書(建築改修工事編)(4)	A-24	矩計図(1)【改修後】	A-44	展開図(7)【改修前】
A-05	特記仕様書(建築改修工事編) (5)	A-25	矩計図(2)【改修前・後】	A-45	展開図(7)【改修後】
A-06	特記仕様書(建築改修工事編)(6)	A-26	建具配置図【改修前・後】	A-46	展開図(8)【改修前】
A-07	特記仕様書(建築改修工事編)(7)	A-27	建具表(1)【改修前・後】	A-47	展開図(8)【改修後】
A-08	特記仕様書(建築改修工事編)(8)	A-28	建具表(2)【改修前・後】	A-48	家具図
A-09	特記仕様書(建築改修工事編)(9)	A-29	建具表 (3) 【改修前・後】	A-49	部分詳細図
A-10	特記仕様書(建築改修工事編)(10)	A-30	建具表(4)【改修前・後】	A-50	外構配置図【改修前】
A-11	付近見取図・配置図	A-31	【新設】建具表	A-51	外構配置図【改修後】
A-12	仕上表【改修前・後】	A-32	展開図(1)【改修前】	A-52	外部渡り廊下図
A-13	1階平面詳細図【改修前】	A-33	展開図(1)【改修後】	A-53	外構部分詳細図
A-14	1階平面詳細図【改修後】	A-34	展開図(2)【改修前】	A-54	自転車置場【改修前】
A-15	2階平面詳細図【改修前】	A-35	展開図(2)【改修後】	A-55	自転車置場【改修後】
A-16	2階平面詳細図【改修後】	A-36	展開図(3)【改修前】	A-56	仮設計画図
A-17	便所平面詳細図【改修前・後】	A-37	展開図(3)【改修後】		
A-18	立面図【改修前】	A-38	展開図(4)【改修前】		
A-19	立面図【改修後】	A-39	展開図(4)【改修後】		
A-20	天井伏図【改修前】	A-40	展開図(5)【改修前】		

## 分析方法 特記仕様書(建築改修工事編) 定性分析 定量分析 記入内容は標準仕様書 表1.7.1による。仕上表には、メーカー名及び品番、色番号等を記入する。 材料名 (JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2) (JIS A 1481-3 ± t-1± JIS A 1481-4) I 工事概要 ※施工計画書 (A4ファイル綴じ 提出部数:1部) (都市計画区域 内・外) 笛所数( ※施工図 (CADデータ 提出部数:1部) 1. 工事場所 高知県南国市稲生542番地 箇所数( ※保全に関する資料 (提出部数 ※1部 2. 敷地面積 2, 033. 65 筒所数 箇所数 3. 構造・規模 鉄筋コンクリート 2 階 筒所数 箇所数 ※ A3版 2つ折り製本 2部(設備含めて一冊にまとめる) 筒所数 4. 建築面積 5. 延床而積 ※工事写真・完成写真 写真データ (CD-R) とも 289. 38 370. 295 (自転車置場 16. 41㎡) 6. 主要用途 サンプル数 1箇所あたり3サンプル 区 分 分類規格 提出部数 部 数 公会堂又は集会場 着工前及び工事中 カラー ※サービス版 Ⅱ 建築改修工事仕様 工程毎 1部 採取箇所 図示 1. 共通仕様 カラー ※キャビネ版 部 調查項目 ·防水改修 · 外壁改修 · ( Г1. 6. 21 施工数量調査 (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事 カラー ・全紙版(アルミ額縁入) 枚 部 標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という)により、改修標準仕様書 調査範囲 ※図示 枚 調査方法 ※テストハンマーによる打診及び目視 ・図示 に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。 外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび デジタル写真の仕様は1適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックによる。 (会和4年版)」(以下、「標準仕様書」という)による。 割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 (2) 電気股備改修工事及び機械股備改修工事を本工事に含む場合は、電気股備改修工事及び機械股備改修工事はそ ※上記の他、完成写真内外6面程度(カラーサービス版)、及びその画像データを完成検査時 また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する。 れぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備改修工事の仕様書は()図、機械設備改修工事の仕様書は に1部提出する。 (必要に応じ写真等を添付する) ( )図による。 ※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め (3) 受注者は完了検査(中間検査を含む)の検査には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な書類等 監督職員と協議を行う。 [1 6 3] 調査のための破壊 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 報告書等)を用意すること。 部分の補修 2. 特記仕様 特別な材料の工法 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (1) 項目は、○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、①印の付いたものを適用する。 →技能士 [1, 7, 2] ・見本施工 ※行わない 技能検定作業の種別 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 工事種目 技能検定職種 仮設工事 ・とが作業 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 L 75 ・施工図及び施工 提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものと (3) 特記事項に記載の[ . . ]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 アスファルト防水工事作業・ウレタンゴム系途障防水工事作業 防水改修工事 防水施工 計画書 (4) 特記事項に記載の( )内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 アクリルゴム系 塗膜防水工事作業 G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の 合成ゴム系シート防水工事作業 ・殿備工事との 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 ・)塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ー 特定調達品目を示す。判断基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 取り合い 施工範囲 区分 (令和4年2月25日変更閣議決定)」(環境省のホームページからダウンロード可能)による。 ・FRP防水工事作業 ・FRP防水工事作業 梁 貫 诵 部 の 補 強 ※ 本丁事 · 別涂丁事 (6) 標準仕様書又は改修標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 梁貫通部のスリーブ ·本工事 ※別途工事 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により(条例を含む)抵触する場合には、関係 自動開閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアーチェック、フロアヒンジ ※本工事 · 別途工事 法令等の導守[1,1,13]の規定を優先する。 建築板余 内外装板金作業 天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強 ※本工事 · 別途工事 樹脂接着剤注入工事作業 从辟改修丁事 樹脂接着剤 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地 ・本工事 ※別途工事 埋込形分電盤、消火栓等の仮枠及び補強 補強 注入施工 ・本工事 ※別途工事 1 ・適用基準及び ※ 建築工事監理指針(上下巻) 国土交诵大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) 左官 ·左官作業 ※本工事 · 別涂工事 ※ 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・タイル張り作業 照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート 区分 ·本工事 ※別途工事 建具改修工事 サッシ施 工 ・ピル用サッシ施工作業 国土交诵大臣官房官庁党繕部監修 鉄骨設計標準図 電気室、自家発電室などのピット(蓋含む) 本工事 ・別途工事 · 鉄骨工事技術指針 工場製作編 工事現場施工編 日本建築学会 ・カパラス工事作業 ガラス施工 ・ 白動ド7施工作業 章 ※ 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事等編) 白動ド7施工 ・ 撤去部分 コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする ※ 建設副産物適正処理推進要綱 内装改修工事 建築大工 ・大工工事作業 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 > 超製下地工事作業 ※ 建築材料等評価名簿 内装仕上施工 ※ 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 内外装板金作業 建築板金 通 内装仕上施工 (・)プラスチック系床仕上げ工事作業・カーペット系床仕上げ作業 1. 足 提 等 ・木質系床仕上げ工事作業 (・)ボード仕上げ工事作業 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する。 足場を設ける場合、改修標準仕様書2.2.1によるほか、設置においては、「手すり先行工法に 基準風速 Vo=( )m/s 地表面粗度区分(・I ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ) 化粧フィルム工事作業 区分等 関するガイドライン」別紙1 (手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準)における2の 積雪区分 建設省告示第1455号 別表() 熱絶縁施工 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業 仮 (2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 表装 ・壁装作業 外部足場に設ける防護シート等 · 電気保安技術者 適用する ・適用しない [1.3.3] ・左官作業 ・養生シート※JISA8952の I 類に適合するもの タイル張り ・タイル張り作業 (建築工事用シートでシートだけで落下物の危害防止に使用できるもの) ·施工条件 ※指定なし ・指定有り( 施工時間帯 Γ1. 3. 5T 途装改修工事 ·建築塗装作業 塗装 т 防音シート ・採光防音シート ・養生ネット 部位別の施工順序 ※指定なし ・指定有り( ・鉄筋組立て作業 耐震改修工事 鉄筋施工 ・型枠工事作業 型枠施工 事・既存部分の養生 既存部分の養生方法 ※ビニルシート等・( [2.3.1] 引き渡しを要するもの( コンクリート圧送施工・コンクリート圧送工事作業 ・発生材の処理 [1.3.12] 既存家具等の養生方法 ※ピニルシート等・( 特定管理產業廢棄物 (種類・ 処理方法: 鉄工 **構 浩 物 鉄 T 作 業** 既存プラインド、カーテン等の養生方法及び保管場所 ・図示( 現場において再利用を図るもの( レバ作業 固定された備品、机・ロッカ-等の移動・行う(図示: とび 再生資源化を図るもの (・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材) 環境配慮改修工事 • 建築配管作業 配管 路面表示施工 ・溶融ペイントマーカー工事作業 ・加熱ペイントマーカー工事作業 ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。 ・ 仮 設 間 什 切 り 仮設間仕切り等の種別 [2.3.2][表2.3. ・造園工事作業 造園 下 地 仕上材(厚さ mm) 充てん材 塗 装 種 別 ・材料の品質等 ※せっこうボード(※9.5 · [1, 4, 2] 木下地 厚さ mm Α種 本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及び ・室内空気中の化学 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン[1. 7. 9] ※軽量鉄骨 · 合板 (×9.0 · ※無し JASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1)から6)の事項を満たすものとする 物質の濃度測定 の濃度を測定し、報告すること ・木下地 ※せっこうボード(※9.5 ・片面 B種 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること 測定対象室及び測定箇所数 ※図示(仕上表備考欄) ・ ( ) か所 ※軽量鉄骨 · 合板 (※9.0 ※無し 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること 単管下地 防炎シート · C 種 3) 安定的な供給が可能であること • 室内空気汚染 ※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物(VOC)の放散による健康への影響に配慮し、次の ※木製扉 ※合板張り程度 **※無し** 4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること (揮 発性 有 機 化 合 条件を満たすものとする。 ・鋼製扉 ※片面フラッシュ程度 ・ 有り 使用制限 5) 製造又は施工の宝績があり その信頼性があること 対象建築材料等 物)対策 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること ①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、 · 監督職員事務所 [2.4.1 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明とな 単板積層板、MDF、パーティクルボード、ユリア樹脂板、 F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする ・構内に新設する(規模及び仕上げの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は現場説明書 る資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材 (施工条件明示)による) ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 ホルムアルテ゛ヒト゛、 アセトアルテ゛ヒト゛、 スチレン、 トルエン、 キシレン、 ・既存建物内の一部を使用する(場所 ② 塗 料 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品及び同等品を使用するものとし、同等品を ※設けない エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする 使用する場合は監督職員の承認を受けること。 クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブを含有しない。 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断 ③木材保存剤(防腐処理,防蟻処理等) 非有機以系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理 - 工事用水 構内既存の施設 ※利用できる( ※有償 - 無信) ・利用できない の基準に従い、あらかじめ、平成19年3月30日付け18高建管第881号「土木部発注工事で使用する木 は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する 材の合法性の確認について(通知)」による証明書等を、監督職員に提出する。 ・エ事用電力 1 ) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、 構内既存の施設 ※利用できる( ※有償 ・無償) キシレン、エチルベンゼンを含有してないものとする ○ 石綿含有建材 Γ1. 5. 1**1** 4) 内装用接着剂、木工事用接着剂 2 ) フタル酸ジーnープチル。 フタル酸ジー2ーエチルヘキシルを含有 の調査 しない難揮発性の可塑剤を使用しているものと ※ 石綿含有建材の事前調査 三建設計有限会社 登録高-6号 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 する 石綿事前調査報告書 ①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆ 高知市知寄町 1-5-1 TEL 883-1761 貸与資料 ( FAX 883-1633 ⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、 を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆ 一級建築士第135971 安 並 和 文 流し台 分析による石綿含有建材の調査 ☆は同等品を使用する 特記仕様書(建築改修工事編)(1) 令和 4 年度版 高知県土木部建築課 室内に関わる材料は(上記①~⑤及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む 分析対象 については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジーnープチル、フタル酸 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、 ジー2ーエチルヘキシル。 クロルビリホリス。 ダイアジノン。 フェノブカルプ。 パラジクロロベンゼンの有無または成分について クロシドライト、トレモライト 令和 年 月 一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。 稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体) A-01

3	降雨等に対する 養生方法(とい共)	※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)~(ウ)による・ ( ) [3.1.3]	・ 合成高分子系 ル-フィンケ* シート防水	絶縁用シート ※発泡ポリエチレンシート ・ ( ) [3.5.2] 4-1 ( 断熱材 「G (SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合)	・ひび割れ部 改修工法	※樹脂注入工法 種 類 ひ	♪び割れ幅(mm) 注入口間隔(mm)	[4.1.4][4.2.4~7] 注入量 (ml/m)
防				種類 ( ) 厚さ 25mm ( )   外		※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2		<b>※130</b> ⋅
水	既存防水の処理	既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲 ・ 図示 ・ ) [3.2.3、4、6]		[3.5.2~3][表3.1.1][表3.5.1~2] 壁 工法 種別 施工簡所 厚さ(mm) 分類 仕上塗料 備 考 改		・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2	2以上~0.3未満 ※ 50~100 ・	<b>※ 40</b> ⋅
改		既存防水層の撤去 ・行う (範囲 ・図示 ・   立上り部の防水層撤去 ・行う (・POS ・POSI ・M4S ・M4SI ・S4S ・S4SI)		工法     種別     施工箇所     厚さ (mm)     分類     仕上塗料     備考     改       ・POS     ・S-F1     ※1.2 ・     ※非歩行     ・カラー     脱気装置			2以上~0.3未満 ※ 50~100 · 3以上~0.5未満 ※100~200 ·	* 40 · * 70 ·
		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う (・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X)		· S 4 S · S - F 2 ※2.0 · ・軽歩行 ・シルバー ・設ける エ			5以上~1.0未満 ※150~250 ・	× 130 ·
修				· S - M 1 ※1.5 · · · 故修用ドレン 事				
I	既存下地の処理	既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ・図示 ・ ( ) [3.2.6]		・S-M2     ※1.5・     ・設ける       ・S3S     ・S-F1     ※1.2・     ※非歩行     ・カラー     脱気装置		注入状況の確認方法 ※コア抜取り検査		• ( )
事 .	アスファルト防水	  押え金物 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0 (mm) ・ ( ) [3.3.2]		・S3S     ・S-F1     ※1.2 ・		• ( )		
ヂ						・Uカットシール材充填工法		
		屋根保護防水 [3.3.2~5] [表3.1.1] [表3.3.3~6]		・M 4 S · S - M 1 ※1.5 · ※非歩行 ・カラー 脱気装置 IJ		・シーリング材		
		工 法     種 別     施工箇所     断熱材 G     絶縁用シート     立上り部の保護       ・P2A     ・A-1     ※ポリエチレンフィルム     ・乾式保護材		· S - M 2     ※1.5 ·   · 軽歩行   · シルバー   · 設ける		充填材料 ※1成分形又は2成分		)
		・P Z A		・POSI       ・SI-F1       ※1.2       ※非歩行       ・カラー       脱気装置       ト 打		ポリマーセメントモルタルの充填 ・可とう性エポキシ樹脂	臭・行う	
		・A-3 又はフラットヤーンクロス ・コンクリート押え		・S3SI ·SI-F2 ※2.0 · ・軽歩行 ・シルバー ・設ける 抗		o c y it it it is in		
		• P 1 B         • B − 1         70g/m²程度		· S 4 S I · S I - M 1   **1.5 · · ·		・シール工法		
		・B-2 ・		・M4SI     ・SI-M2     ※1.5・     仕       脱気装置の種類及び設置数量     ※ルーフィング・シートの製造所の指定による		・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂		
		・A I - 2   「Pe - 25mm   A77/11 774/17   1		一		・可とう性エルヤン個胎		
		· A I – 3		防湿用フィルムの設置(SI-M1、SI-M2の場合) ・適用する 切り	・欠損部改修工法	│ │※充填工法		[4.1.4][4.2.4、8]
		· P 1 B I   · B I - 1				・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセ	2メントモルタル	
		- T 1 B I   · B I - 2		屋内防水				
				上 (A)     程 (M)     ルエロ (M)     ルエロ (M)     ルロ (M)<				
		工 法 種 別 施工箇所 断熱材 G 備 考		密着工法 4-℃	・ひび割れ部	※樹脂注入工法		[4.1.4][4.3.5~8]
		· M 4 C · C - 1			改修工法		トび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
		· C - 2 · C - 3		既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合 (接着工法)   外   目地処理 ・行う (工法 )   辟		※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法   0.2	Z以上~1.0未満  ※200~300 ·	<b>※130</b> ⋅
		· C - 3 · C - 4		目地処理 ・行う (工法 )   壁     増張り ・行う (S-F1、SI-F1の場合)   改		・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2	2以上~0.3未満 ※ 50~100 ・	* 40 ·
		・M 3 D · D − 1 脱気装置 · 設ける		U		・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3	3以上~0.5未満 ※100~200 ・	* 70 ·
		・POD     ・D-2       改修用ドル・設ける	• 塗膜防水	[3. 6. 2、3] [表3. 1. 1] [表3. 6. 1~3] I		0.5	5以上~1.0未満 ※150~250 ・	<b>※130</b> ⋅
		・PODI     ・DI-1       ・M3DI     ・DI-2       厚さ・25mm     改修用ドルン・設ける		工法     種別     施工箇所     備考       ・POX     ※X-1     脱気装置・設ける		注入状況の確認方法 ※コア抜取り検査		. (
		・M 3 D I				注入状況の帷認方法 ※コア扱取り検査   ・ ( )		,
		脱気装置の種類及び設置数量 ※7ススファルトルーフィング類の製造所の指定による		· X – 1 H				
		・ (種類: 数量 個/㎡)		· X - 2 H		Uカットシール材充填工法		
		屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン周り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・ ( ) ・図示		· L 4 X   · X - 1   脱気装置 · 設ける   ル		シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分	↑形ポリウレタン系 ・ /	,
		\ / \ \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		* X - 2		ポリマーセメントモルタルの充填		′
		屋内防水 [3.3.2~3、5][表3.1.1][表3.3.10]		· X - 2 H		・可と文性エポキシ樹脂		
		工法 種別 施工箇所 備考		・P1Y ※Y-2     保護層・保護モルタル・()       上				
		・P1E     ・E-1 (工程3 ・行う)     保護層     ・設ける       ・P2E     ・E-2		・P2Y   ※Y-2   保護層・保護モルタル・( ) げげ 脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の指定による		・シールエ法 ・パテ状エポキシ樹脂		
		屋上排水溝 ・適用する		RR RR RR R R R R R R R R R R R R R R R		- ・ハテ状エハモン倒脂 - ・可とう性エポモシ樹脂		
			L	<u> </u>	£ 10 de 15			FA 4 47 FA 6 7 11 1
	改 質 アスファルト シート防 水	[3. 4. 2、3]	シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2、3、7、8]   ・シーリング充填工法 (・シーリング再充填工法	・欠損部改修工法	※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル		[4. 1. 4] [4. 3. 9、10]
	V UM VV			・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジエ法		·ポリマーセメントモルタル		
		工 法 種 別 施工箇所 備 考		シーリング材の種類、施工箇所				
		• M 4 A S • A S – T 1		下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。 施工箇所 シーリング材の種類(記号)		・モルタル塗替え工法		
		· A S - T 2 · A S - J 2		ルエ回門 シーリング州の種類(配号)		・現場調合材料 ・既調合材料		
		・M 3 A S · A S − T 3 脱気装置 ・設ける ・設けない				既製目地材 ・使用する(形状		
		・AS-T4 改修用ドレン ・設ける ・設けない				仕上げ厚又は全塗厚が 25mm を超え	る場合の処置 ※図示 ・ (	)
		• A S – J 1		シーリング面への仕上塗材仕上げ等 (・)行う ・行わない  ブリッジエ法 ボンドブレーカー張り ・適用する	・浮き部改修工法			[4. 1. 4] [4. 3. 11~16]
		・POAS     ・AS-T3     脱気装置     ・設ける     ・設けない       ・AS-T4     改修用ドレン     ・設ける     ・設けない		フリッン工法 ホントフレーカー張り ・適用する エッジング材張り ・適用する	・ 仔 ご 即 収 修 上 法	7\h-F°	ンの本数(本/㎡) 注入口の箇所数(箇所/㎡)	
		AS - J 1		接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験(部位 )		一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	部 指定部 一般部 指定部	(箇所/ml)
		· A S - J 3	l			・アンカーピンニング ※16	*25	<b>※ 25</b>
		・M3ASI     ・ASI-T1       ・M4ASI     ・設ける・設けない       ・M4ASI     改修用ドレン ・設ける ・設けない	・とい	といその他の材種       ・配管用鋼管       [3.8.2、3]         ・硬質ポリ塩化ビニル管 (※RF-VP G ・VP)       ・VP)		部分エポキシ樹脂注入工法 ・ ・アンカーピンニング ※13	×20 ×12 ×20	× 25
		・M 4 A S I		・使貝小り塩化ビール官 (※nr-vr [G] ・vr) ・ ( )		・アンカーヒンニング   ※13   全面エポキシ樹脂注入工法  ・		* 25
		Σ 17 'A V (N)		ルーフドレン		・アンカーピンニング ※13	<b>*20 *12 *20</b>	<b>※</b> 50
		改質アスファルトシートの種類及び厚さ		種類 材種 施工箇所		全面ポリマーセメントスラリー注入工法・		
		※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による・ ( )		・ろく屋根用 (・縦型 ・横型)         ・バルコニー用		・注入口付アンカーピンニング ※9  部分エポキシ樹脂注入工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	*16	<b>※ 25</b>
		脱気装置の種類及び設置数量   ※改質アスファルトシートの製造所の指定による ・種類 ( ) ・設置数量 ( ) 個		・バルコニー中継用		部分エホモン樹脂注入工法 ・ ・注入口付アンカーピンニング ※9	*16 *9 *16	* 25
		※成質アスファルトンートの製造所の指定による ・種類 ( ) ・設直数量 ( ) 値		防露材のホルムアルデヒド放散量		全面エポキシ樹脂注入工法・		
		断熱材 G (ASI-T1、ASI-J1の場合) 種類 ( ) 厚さ 25mm ( )		※「1(各章共通事項). 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策」による		・注入口付アンカーピンニング ※9	<b>*16 *9 *16</b>	<b>※</b> 50
		仕上塗料 ************************************		既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・ ( ) ・図示		全面ポリマーセメントスラリー注入工法・・ ・充填工法		
		種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定による ・ ( ) 使用量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定による ・ ( )	・アルミニウム製笠木	種類・オープン形式(・押出250形・押出300形・押出350形) [3.9.2、3]		・尤以上法・モルタル塗替え工法・		
		使用量 次改員アスファルトシートの表達所の指定による ・ ( ) 高日射反射率防水の適用 G ・適用する		・シール形式(板材折曲げ形)		アンカーピンの材質等		
				板材折曲げ形の場合 本体幅 ( mm) 板厚 (※2.0mm · )		※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mm	の丸棒で全ネジ切り加工したもの	. ( >
				役 物 ・適用する      表面処理 種別 ・AB-1種又はBB-1種 ・BB-2		\$10H7\+ U\\\\		
				着色 · 標準色 · 特注色		注入口付アンカーピンの材質等 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び外径6mm;	程度 • ( )	
				工法		, , , , , , , , , , , , , , , , , ,	/	
				既存笠木等の撤去・・行う(範囲・・図示)				
				下地補修の工法 ・ ( ) ・図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ ( ) ・図示	特記仕様書	(建築改修工事編) (2)	令和 4 年度版	高知県土木部建築課
				M   M   M   M   M   M   M   M   M   M				
			・防水保証期間	期間は( 10 )年とし、請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする。		令和 年 月	<b>■</b>	
				三建設計有限会社 登録高-6号				
				高知市知寄町 1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633	稲生ふれあい館ま	<b>⊧構造部材耐震化等工事(建築主体)</b>		A-02
				一級建築士第135971 安 並 和 文		令和 5 年 7 月改正	IE .	

	充填工法				・タイル張替え工法	5	<ul><li>○改修工法</li></ul>	[5.1.3]
		マーセメントモルタル ・ポリマーセメ:	ントスラリー		・ダイル張替え工法 張付け用材料の種類 ・張付けモルタル (・現場調合材)	料 ・既調合モルタル)		建具の種類 かぶせ工法 撤去工法 適用箇所
	モルタル塗替え工法				・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形	形変成シリコーン樹脂系 建		・アルミニウム製建具     ・ ※図示       ・樹脂製建具     - ※図示
	• 現場調合材料				伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	具		・鋼製建具 ・外部 ・ ・ ※図示 ・ ※図示 ・
	・既調合材料 既製目地材 ・使用する(デ	形状 ・図示 ・			位置 ※改修標準仕様書 表4.4.2による ・図示 ・	· ( ) 。		内部     ※図示       鋼製軽量建具     ※図示
		を超える場合の措置 ※図示・(	)		外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗	りの接着力試験 ・行う ・行わない 修		・ステンレス製建具     ・ ※図示       ・木製建具     ・ ※図示
					下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目	荒らし工法 ・ ( )		
					・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り	J J		新規に建具を設ける場合   壁部分の開口の開け方 ※図示 ・ ( )
4-3 ・既存タイル張り の撤去	・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲	囲 ・張付けモルタルまで ・タイルのみ			タイル張りの工法	事		新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 ・ ( )
外人		ייייטעטער די אַ אָרער אָרער אַרער אַרער אַנר אַנר			外装タイル ※密着張り ・改良圧着張り ユニットタイル マスク張り ・モザイクタイル引	張り	・防火戸	建具符号 ( ) [5.1.4]
壁 ・ひび割れ部  改  改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面・既存タイル撤去面(	・コンクリート面 ・モルタル面 )	[4.1.4][4.4.5、6]		・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り			防火戸、ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・適用する
修  \	※樹脂注入工法				シーリング材の種類		・見本の製作等	建具見本の製作 ・行う (建具符号: ) [5.1.5]   建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
工	種類	ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm)	注入量 (m l /m)		打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系			・納まり等がわかる程度
9	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下 ※200~300 ・	<b>※130</b> ⋅	・目地改修工法	・目地ひび割れ部改修工法	[4. 1. 4] [4. 4. 5、 16]		特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号: )
1	・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満 ※ 50~100 ・	* 40 ·		• 伸縮調整目地改修工法		• 防犯建物部品	※適用する ( [5.1.7]
ル	・機械式エホキン樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満 ※100~200 · 0.5以上~1.0以下 ※150~250 ·	* 70 · * 130 ·		伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示 ・ ( )	)	・アルミニウム製建具	性能値等 [5.2.2~5][表5.2.1、2]
9				・タイルの形状、	タイルの形状、寸法等 形状寸法再生材の吸水率による区分 うわぐすり	[4.4.5、8] 化 物 每 耐油宝料 耐湯		<ul> <li>・外部に面する建具の性能等級・A種 (S-4、A-3、W-4)(建具符号: )</li> <li>・B種 (S-5、A-3、W-4)(建具符号: )</li> </ul>
上		びその端数につき1個 ・ ( )		寸法等	施工箇所 (mm) 適用 G I 類 II 類 II 類 施ゆう無ゆうあ			・C種 (S-6、A-4、W-5)(建具符号:
げめ	抜取り部の補修方法 ※図示	• ( )						・屋内の建具の性能等級 ( ) 枠の見込み寸法 ・ ( )・図示
57	・リカットシール材充填工法(既存名	タイル張り撤去面)						・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号: ) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 ( ) (建具符号: )
	・シーリング材充填	形又は2成分形ポリウレタン系 ・(	)		標準的な曲がりの役物は一体成形とする			・ 断然トア・ 断然サツン [G] 断然性の 寺赦 ( ) (建具付考: )   材料
	ポリマーセメントモルタルの ・可と <b>3性エポキシ樹脂</b>	)充填 ・行う ・行わない			見本焼き ・行う(施工箇所: 試験張り ・行う(範囲、仕様等は図示	) ※行わない ) ※行わない		ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B
					AN 表別が 11 ) (単四、11 1米 寺は四小	) *11474.		表面処理
・欠損部改修工法	・タイル部分張替え工法 張付け用材料の種類 ・ポリマーヤ	セメントモルタル	[4. 1. 4] [4. 4. 5~8]					外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 ・ ( ) 着色 ※標準色 ・特注色 ( )
	- JIS A 555	i7に基づく一液反応硬化形変成シリコーン	樹脂系 4-	-4 ・既存塗膜等の除去 、下地処理及び	工法処理範囲	[4.5.4] 下地面の補修		屋内の建具 ※BC-1種 · BC-2種 · ( )
	・タイル張替え工法			下地調整	・サンダー工法 ※既存仕上げ面全体 ・図示	4-1~4-3による		着色 ※標準色 ・特注色 ( ) 結露水の処理方法 ・ ( ) ・図示
		ルタル(・現場調合材料 ・既調合モル i7に基づく一液反応硬化形変成シリコーン	l _	達 女	・高圧水洗工法 ※既存仕上げ面全体 ・図示・塗膜はく離剤工法 ※既存仕上げ面全体 ・図示			水切り板、ぜん板 ・( ) ・図示
	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目は		1	多 [	・水洗い工法 ※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜	莫はく離剤工法の	・網戸等	[5.2.3][5.3.3] 種 類 材 質 線 径 網 目
		1.4.2による ・図示 ・ ( )	 	<b>└</b>	処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・図示			・防虫網 ※合成樹脂製 ※0.25mm以上 ※16~18メッシュ
	外装タイル張り下地等の下地をルタ	マル及び下地調整塗材塗りの接着力試験	・行う・行わない	_ 十 ・下地調整塗材		[4. 5. 2]		<ul><li>・が 5ス繊維入り合成樹脂製</li><li>・ ステンレス (SUS316) 製</li></ul>
	下地モルタル塗りを行うコンクリー	ト素地面の処理 ・目荒らし工法	( )	E &	・ポリマーセメントモルタル			・防鳥網 ステンレス (SUS304) 線材 1.5mm 網目寸法 15mm
	・セメントモルタルによるタイル タイル張りの工法	(セラミックタイル) 張り ∖	1 22	€ I	新規仕上塗材の種類	[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]	・樹脂製建具	性能值等 [5.2.2][5.3.2~5][表5.3.1]
	外装タイル ※密着張り ユニットタイル ・マスク張り	・改良圧着張り		±  E	種 類 呼び名 防火材料 ・薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材 Si ・ ・砂壁	仕上げの形状 き状		<ul><li>・外部に面する建具の性能等級 ・A種 (S-4、A-4、W-4)(建具符号: )</li><li>・B種 (S-5、A-4、W-5)(建具符号: )</li></ul>
	・有機系接着剤によるタイル(セラ		(-	<b>ザ</b>	・可とう形外装薄塗材Si・・ゆず	ず肌状(・吹付け ・ローラー塗り)		• C種(S - 6、A - 4、W - 5)(建具符号: )
	シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目	地 ※ポリウレタン系 ・( )		<b>小</b>   達		ぎ波状 ・平たん状 凸状(・吹付け ・こて塗り)		・屋内の建具の性能等級 ( ) 枠の見込み寸法 ・ ( ) ・図示
	伸縮調整目地その他の目地	※変成シリコーン系 ・( )	4	<b>等</b>		色骨材砂壁状(・吹付け ・こて塗り) き状じゅらく ・京壁状じゅらく		・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) (建具符号: ) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8)
・浮き部改修工法	1		4. 1. 4] [4. 4. 5、9~15] 作	X   多	・厚付け仕上塗材 ・外装厚塗材C ・ ・吹放	女し ・凸部処理 ・平たん状		(建具符号:
	以修工法の種類 ――	カーーピンの本数(本/m²) 注入口の箇所数(箇所/m²) −般部 指定部 一般部 指定部	注入量 (箇所/ml)			3-状 ・ひき起こし ・かき落とし オ ・適用する ・適用しない		外部に面する建具の日射取得性の等級 ・ ( ) 材料
	・アンカーピンニング ※ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・	16 *25	<b>※</b> 25			ず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状 候性 ※耐候形3種 ・		ガラス ※複層ガラス ・ ( )
	・アンカーピンニング ※	13	<b>※</b> 25		・複層塗材Si - 上塗材	र्ज		表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ( )
		13	· ※50			媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系 脂 ※アクリル系		ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL・No.2B
	全面ポリマーセメントスラリー注入工法・注入口付アンカーピンニング ※	9 **16	× 25		・防水形複層塗材CE ・ 外 ・防水形複層塗材E ・	観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック	・鋼製建具	性能値等 [5.2.2][5.4.2~4][表5.4.2] 簡易気密型ドアセット (建具符号: )
	部分エポキシ樹脂注入工法 ・		•		・防水形複層塗材RE			外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6
	・注入口付アンカーピンニング       ※         全面エポキシ樹脂注入工法	9   *16   *9   *16	<b>※</b> 25			こん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 候性 ※耐候形3種 ・		防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号: ) 断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 ( ) (建具符号: )
	・注入口付アンカーピンニング ※ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法・	9 *16 *9 *16	<b>※</b> 50		・可とう形改修塗材CE ・ 上塗材 溶	オ 媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱水溶系		材料
	・注入口付アンカーピンニング ・	·	<b>※</b> 25		樹	脂 ※アクリル系		ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B
	エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・タイル部分張替え工法		•			観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック		鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書 (表5.4.2) による ・ ( ) 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・ ( )
	・タイル張替え工法	_			・ カビ落とし水洗いの上撥水材塗			
		mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・	( )					三 建 設 計 有 限 会 社 💮 🕏 🎼 🖰 🥱
	注入口付アンカーピンの材質等 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び外径60	mm程度 · ()			· 漆喰塗り			高知市知寄町 1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633 一級建築士第1 3 5 9 7 1 安 並 和 文
	・タイル部分張替え工法	· <del></del> · ·		・マスチック塗 材 塗 り	種 別 ・A種 ・B種	[4.1.5][4.6.2][表4.6.1]	特記仕様書	(建築改修工事編)(3) 令和4年度版 高知県土木部建築課
	・ダイル部分張督え工法 張付け用材料の種類 ・ポリマーも	セメントモルタル		・外壁用塗膜防水材		[4.1.5][4.7.2、3][表4.7.1]		
	- JIS A 555	7に基づく一液反応硬化形変成シリコーン	樹脂系	塗 り	仕上げの形状 ・凹凸状 ・凸部処理 ・ゆず肌状 耐候性 ※JIS A 6909 耐候形1種 ・ ( )	・さざ波状		令和 年 月
					下地挙動緩衝材 ・適用する   模様材の種類及び所要量 ・ ( ) ・図示		稲生ふれあい館ま	作構造部材耐震化等工事(建築主体) A-03
					快味杯の埋類及の所要量・・(	示		令和 5 年 7 月改正

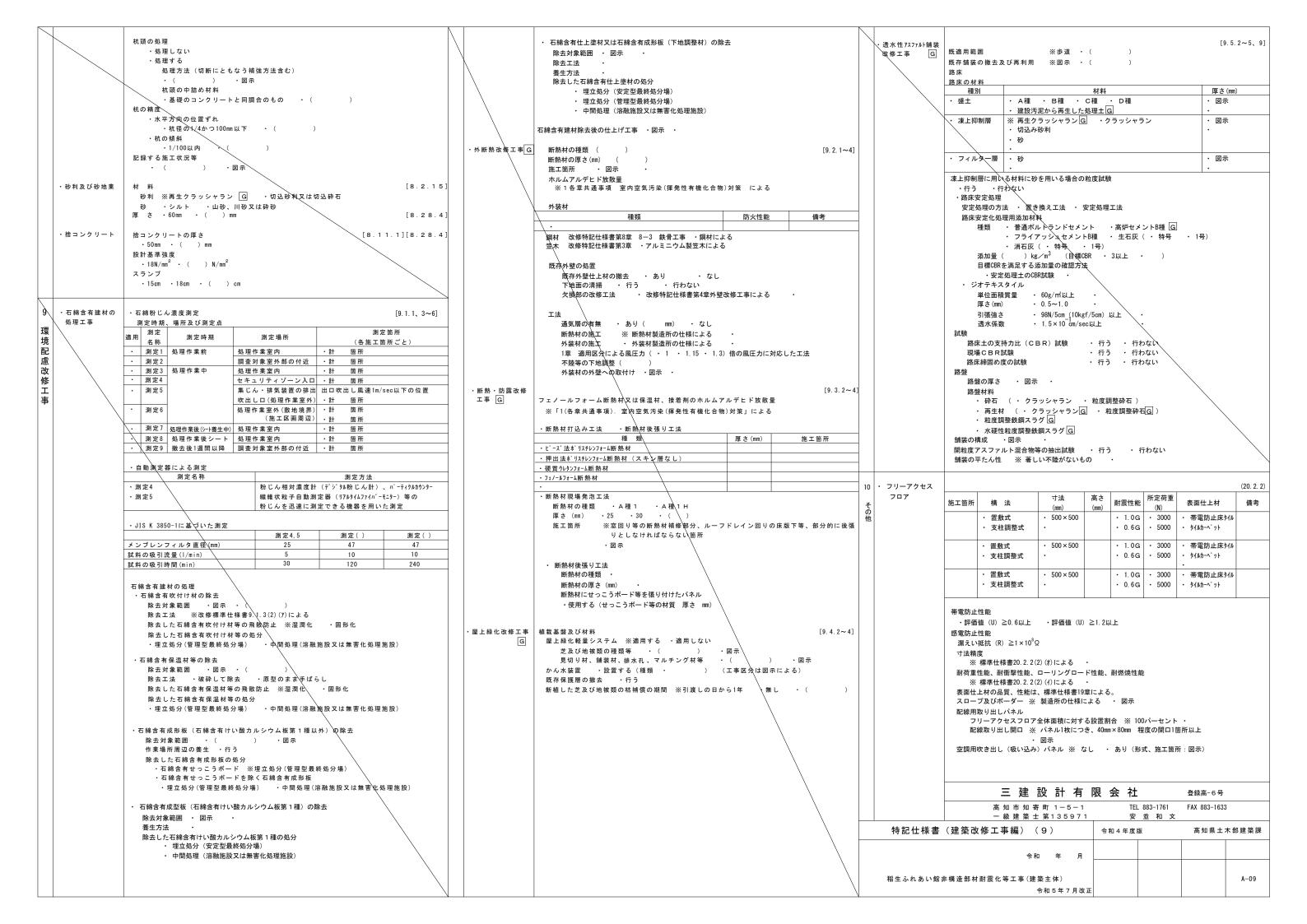
	T		T		T
・鋼製軽量建具	性能値等 [5.2.2][5.5.2~4] 簡易気密型ドアセット (建具符号: )	・軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式 (手動併用) [5.12.2~4] を耐風圧強度 ( ) pa	<ul><li>○改修範囲</li></ul>	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
	防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号: )		安全装置	4	WERECOV WITHER THE PORTE OF THE
	断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 ( ) (建具符号: )		電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ・( )		天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
	材料		*** *** *** *** *** *** *** *** *** *	₹	※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
	鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI		- JIS 6 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※ Z 06又は F 06 ・ ) - JIS 6 3322 (塗装溶融55%7ルミ=ウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※ A Z 90)	h	   既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示
	召合わせ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・ ( )		スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形		
	ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL・No.2B				ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも) [6.2.2]
	鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書 (表5.5.1) による ・( )	• オーハ゛ーヘット゛ト゛ア	[5.13.2、3] セクション材料による区分 開開方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 コ	下地補修	・下地モルタルとも(※図示の範囲・撤去範囲全て)
	標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・ ( )		セクション付料による区分   開闭方式による区分   収納形式による区分   カイトレールの付料   1		合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法   改修後の床の清掃節囲 ・ ( ) ・図示
・ステンレス製建具	性能值等 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]		・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板 国	E.	既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及び
	簡易気密型ドアセット(建具符号:		・ファイバーグラスタイプ ・電動式 ・ハイリフト形	<b>-</b>	エポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による
	外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号: )		・バーチカル形  風圧力による強さの区分 (・125 ・100 ・75 ・50 ) Pa	m + m o # + n **	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2]
	断熱ドア・断熱サッシ   G   断熱性の等級 ( ) (建具符号: )		安全装置	・成存壁の撤去及び	同任切監撤去に行う他の構造体の構修
	材料		電動式の場合の障害物感知装置 ※建具表による ・( )		(塗り厚 25mm を超える場合の処置 ※図示 ・ ( )
	ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI	01. = -			
	ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL・No.2B	⊕ガラス	[3.7] [5.14.2~4] [図5.14.1]	・施工一般	材料のホルムアルデヒド放散量 [6.5.2]
	表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・ ( ) ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ		特性による種類 ・ I 類 ・ II - 2類 ・ II 類	- 施工一般	※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による
<ul><li>木製建具</li></ul>	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・( ) [5.7.2~4]		○ 強化ガラス		
	建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項). 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策」による		特性による種類 · I類 · I類		
I	※ 「(音早大週争項)・至内至式方米 (拝先は有機化占物) 対象」による ・フラッシュ戸 表面材の合板の種類( )		・ 熱線吸収板ガラス		
	・かまち戸 かまち樹種 ( ) 見込み寸法 ( )		性能による種類 ・ 1種 ・ 2種	○木 材 G	本工事に使用する木材は、高知県内産材(高知県内の森林から生産された木材)を使用するもの
	・ふすま 種別(・I型 ・I型 )		・複層ガラス		とする。但し、これにより難いものは監督員の承認を得て使用すること。 日本農林規格JAS以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなって
	ふすま紙上張り(押入等の裏側以外) (・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度) 縁仕上げ(・塗り縁 ・生地縁(素地)・生地縁(ウレタンクリアー塗装))		断熱性による区分 · T1 · T2 · T3 · T4 · T5 · T6		日本農林規格JAN以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品資基準に準したものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること。
	・戸ぶすま		日射取得性、日射遮へい性による区分 ・ G ・ S		・代用樹種 ※使用できない・使用箇所()
	・紙張り障子		乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン		
	th T 1 1 / つず    の + 対				間伐材等の適用 ・使用する(使用箇所)
	枠及びくつずりの材料 ・ ( ) ・ 図示		・ 熟線反射ガラス 日射熱遮へい性 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種		木材の含水率 ※ A種 ・B種 (以降の表に記載のある場合はその数値を優先する)
・建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 [5.8.1~3][表5.8.1~5]				
	※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による		耐久性 · A 種 · B 種	·製 材 G	- JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 [6.5.2] ************************************
	金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.2による 掛胎制 建則に使用する丁巻の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.2による		・ガラスの留め材及び溝の大きさ		施工箇所     寸法(mm)     等級     形状     含水率     保存処理     間伐材等の適用       ※2級     ※A種・B種
	樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.4による		建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ (mm)		A NTE UTE
	木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書表5.8.5による		アルミニウム製 ※シーリング材		
	握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※建具表による・・()		・ガスケット ※建具の製造所の仕様による ※グレイジングチャンネル形 ・図示		. IAC 1002 2 制 +
	錠前類、クローザ類の材質等 ※改修標準仕様書表5.8.1による				・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材       施工箇所     寸法(mm)     等級     形状     含水率     保存処理     間伐材等の適用
· 鍵	マスターキー ・製作する ・製作しない [5.8.4]				見え掛り面
	・既存のマスターキーに合わせる		ステンレス製 ※シーリング材		見え掛り面以外 ※小節以上 ※A種 · B種
	その他の鍵		・		
	円 <sup>*</sup> 和AA IP 284		個個要   ・シーリング材   ・ガスケット		- JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材
・自動ド7開閉装置	[5. 9. 2、3]		※グレイジングチャンネル形		施工箇所 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理 間伐材等の適用
1	駆動装置 検出装置 検出装置の種類 凍結防止装置				※1等 ※10%以下
1	1年 双 の値 別 別 の性能値 20世紀	・ ガラスプロック積 <i>み</i>	[5.14.5]		· A種 · B種
	・熟線センサー・行う	" /X/ =//19ev/	表面		· JAS 1083 (製材) 以外の製材
	引き戸用 ※改修標準 ・適用する ※改修標準 ・音波センサー (適用箇所は		形状   呼び寸法   厚 さ   カリア   乳白   平積み   曲面積み   伸縮調整目地 (mm)   性能		施工箇所 寸法(mm) 材面の品質 防虫処理 防腐・防蟻処理 含水率 間伐材等の適用
	駆動装置 仕様書 ・適用しない 仕様書 ・光電センサー 建具表による) - ************************************		・125×125     80     ・ ・ ・ ・ ※8~15     外側     ※6m以下ごとに ※無し       ・160×160     ・95・125     ・ ・ 15~25     ※15以下     幅10~25     ・ 有り		造作材の場合 ※A種
	表5.9.1   表5.9.3   ・電波センサー   ・行わない   による   による   ・タッチスイッチ		正方形     ・160×160     ・95・125     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	による「こまる」「たまる」「アプラスイッチ」		- 320×320 95 - 内側 -	造作用集成材 G	・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2]
	車椅子使用者用 ※改修標準 車椅子使用者用便房		長方形 - 250×125 80 · · ※6以上		施工箇所 品名 樹種 寸法 見付け材面 見付け材面 間伐材等の適用
	使房出入口   仕様書  ・適用する   スイッチ   3.6戸用   表5.0.2  ・適用しない		- 320 × 160   95   ·   ·		ルニロが 間は (mm) たけいが出 の品質
	引き戸用 表5.9.2 ・適用しない 駆動装置 による		曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ※図示 ・( )		※1等 · 2等
	1 3 - 05 - 50 1		化粧目地モルタルの色 ( )		
・自閉式上吊り	性能 ※改修標準仕様書表5.10.1による ・ ( ) [5.10.3]		シーリングの種類 ( )		・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材
引戸装置			金属製化粧カパー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製		施工箇所 品名 化粧薄板 芯材の 寸法 化粧薄板の 見付け材面 間伐材等 の樹種 樹種 (mm) 厚さ (mm) の品質 の適用
・重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度 ( )pa [5.11.2、3]		寸 法 · 図示 · ( )		(m) // C (m)
, , , ,	・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 ( ) pa		112 1Λ <u>ΙΔΙ</u> /Λ · ( )		※1等 · 2等
	・屋内用防火シャッター	・ 建築窓ガラス用	種類 記号 その他の性能値等		
	・防煙シャッター 開閉機能方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式	フィルム	内張り用   外張り用   「		・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
	開閉機能方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式   安全装置		- N 日 手 W W N N N N N N N T N N N T N N N N T N		施工箇所   樹種   寸法   見付け材面の品質   含水率   間伐材等   の適用
	マエ表		品質 JIS A5759による		
	電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ・( )				※15%以下
	屋内用防火シャッター、防煙シャッターの危害防止装置 ※建具表による ・( )				
	管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない   スラット及びシャッターケース用鋼板				三 建 設 計 有 限 会 社 登錄高-6号
	スラット及びシャッターゲース用調板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)				高知市知寄町 1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633
	・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)				一級建築士第135971 安 並 和 文
	めっきの付着量 ※ Z 12 又 は F 12 ・ ( )			特記仕様書	(建築改修工事編) (4) 令和4年度版 高知県土木部建築課
	ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及びカバー、スイッチボックス類のふたの材質				
	ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI				令和 年 月
				稲生ふれあい館	非構造部材耐震化等工事(建築主体) A-04
					令和 5 年 7 月改正

	・「集成材の日本 施工箇所	上農林規格」 │ 化粧薄板		造作用集成材			· 内部間仕切軸組	99711	LT1 ## 40 1 − 100 1 × 7											
	施工箇所		∴芯材の│☆	法化粧薄板の	見付け材面	魚北坂 間伐材等	及び床組			る木材の樹種名(製	製材を用いる場	<b></b> 合)		[6. 5. 6]	・カーペット敷き G	・織じゅうたん 織り方	パイル形状	色柄等 パイル系の		2、3][表6.9機能 備:
		の樹種	樹種 (mn		の品質	含水率の適用	及び水温		又は松・・	O樹種名(製材を用	田ハス坦今)					・ウィルトンカーへ゜ット・フ	カットパイル	・無地 ・A種	※帯電防	
<del> </del>			1			※15%以下			に用いる不例り 又は松 ・	/倒悝石(殺例で用	刊いる場合)					1	レープパイル カット、ループ伊	・柄物 ・B種 ・用 (標準品) ・C種	•	
									<b>Λ</b> 161Δ							接合方法 ※ヒートボン		<u>  所   (操 平 m /   0 種</u> づり縫い		
・造作用単板積層材	・JAS 0701に基づ	『く造作用単析				[6.5.2]	・窓、出入口その他	・窓、と	出入口その他に	こ用いる木材の樹科	種名 (製材を用	引いる場合)		[6. 5. 7]		下敷き材 ※反毛フェル	► (JIS L 3204)	) の第2種2号 呼び厚さ 8mm	• (	)
G	施工箇所	品 名	寸 法 (mm)	表面0	の品質	防虫処理の適用		※吊力	元枠、水掛りの	)下枠及び敷居 で	ひのき その他	松又は杉				・タフテッドカーペット				
				・塗装加工・		<ul><li>する</li></ul>										パイル形状	パイル長さ(mm		特殊機能	備考
-				・加工しない(・	1等・2等・3	等)  ・しない	<ul><li>床板張り</li></ul>	・縁甲村	板及び上がりか	いまちに用いる木材	材の樹種名(製	U材を用いる場合	)	[6. 5. 8]			<u>*5~7 ·</u> *4~6 ·	・全面接着工法 ※ ・グリッパー工法 ・	带電防止	
-	・JAS 0701以外の	D 造作用単板:	<b>長層材</b>					×00	のき・							・カット、ループ併用				
	施工箇所	寸 法 (mm)	含水率	表面 0	の品質	防虫処理	75 T 46 T 11 T 11	D* 155 (	43 mm 43 mm 1A	FF 42 T 44 T 4 1 - T	T		7 18 4 \	50 5 03		下敷き材 (グリッパーエ ※反毛フェルト (JIS		≨2号 呼び厚さ 8mm ・ (	)	
		(11111)	※14%以下	・塗装加工 ・	天然木加工	・する	・ 壁及び天井下地			野縁及び吊木に用	<b>判いる木材の</b> 極	村種名 (製材を用	いる場合)	[6. 5. 9]		XX-03 177 (010	L 0204) 07 35 213	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	,	
-			:	・加工しない(・	1等・2等・3	等) ・しない		※杉2	又は松・							・タイルカーペット	TIE DU L		40 E 1 ( )	
<ul><li>CLT(直交集成板)</li></ul>	・JAS 3079に基づ	「く直交集成村	į			[6.5.2]	· 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種	類 屋	外 • 19形	※25形			[6.6.2~4]			種 別	<u>も工箇所 寸法 (mm)</u> ※500×500	総厚さ(mm) ※ 6.5	備考
G	施工箇所	品名	曲げ強度 (強度等級)	種 別 接着性		寸 法 間伐材等		= +	屋		・25形						三種			
			(強及等級)	() () () () ()	(現)	(mm) の適用		・屋外の軒   工法	F天井、ピロテ	- イ大开等						・カットパイル ・カット、ループ併用				
								1章				・1.3) 倍の原	1.圧力に対応したエ	法		タイルカーペットの敷き		易 ※市松敷き 模様流		
合板等 G	・「合板の日本農	林規格」に。	:る普通合板			[6.5.2]			、吊りボルト Bの端からの間	·及びインサート I隔	の間隔 ・図	示 • (	)				階段音	『分 ※模様流し ・市松敷	すき	
_	施工箇所	厚さ	接着の単板	1 45	面の品質	防虫 処理 間伐材等		野縁の	間隔		· 🗵	示 (	)			見切り、押え金物・	適用する (材質	質、種類、形状等 ※図示		)
		(mm) ※5.5	程度 樹種 ※1類	2名	1等 ※2等以	の適用			込みインサート プンカーの引拢	・ (・)使用する i き試験 ・行	・使用しな				· 合成樹脂塗床					[6. 10.
			・2類		C-D以上			0,000	~ 12 V/ 31 10	- = µ-r-sA 11		場合、当該階に	おいて3箇所		- 7 图加土外	種別	施工箇所		士上げの種類	
	・「合板の日本農	林規格工厂	: る權诰田仝坂									)箇所				・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床		※平滑仕上げ ・防滑・	仕上げ ・つや	⋾消し仕上
	施工箇所	厚さ接		単板の振声が	の 旦 無 一 性 止	処理 強度等級 間伐材等					確認強度 ※吊りボ		00mm以下、かつ天ま	井面構成部材		・厚膜型塗床材			(※平滑 · 防	
	<u>—</u> <u>—</u> 1/1	(mm) 程		<b>樹理名</b>	の品員   防虫	の適用					等の単位 400N程度		t量が20kg/m <sup>*</sup> 以内の	の天井の場合		エポキシ樹脂塗床		・厚膜流しのベエ法・樹脂モルタルエ法	(※平滑 · 防	
		1 1	類 ※2級以上			ない					* (					・薄膜型塗床材		※平滑仕上げ	(//( ////	7787
	・「合板の日本農	++ 坦 枚 」 /-	- スル蚧げり掛	<b>生田会长</b>				O= 11 15 11			iわない		,			ユリア樹脂等を用いた				
-	施工を		厚さ(mm)	連用ロ板 接着の程度	単板の樹種	名 防虫処理 間伐材等		l 🌣		00mmを超える場合 m以上3m以下の場		法 ※図示	・ ( ) 株書6.6.4(8)によっ	る・図示		※「合早共週事項 至	内空気汚栄(押弁	性有機化合物)対策 による		
				44.40		の適用		・天井のふ	、ところが3mを	超える場合	補強方法		• ( )	0 1217	・フローリング張り	単層フローリング G				[6. 11.
			.	特類・1類		・する・しない		①天井下地 	材における耐	震性を考慮した	補強 補強箇所		• ( )			種類	樹 種 厚さ(m	m) 大きさ(mm) エ 法	仕上塗:	間伐 装 の適
	5.4.1					'	O				1111 324 73 7			FC 7 0 43		・フローリングボード	※なら ※15		工法 ※塗装品	l l
-	・「合板の日本農 施工箇所		こる天然木化粧 [さ(mm) 接着 0		に使用する単	板の樹種名 防虫処理	<ul><li>●軽量鉄骨壁下地</li></ul>			! 7.1 によるスタ	ッドの高さに	よる区分に応じ		[6.7.3, 4]		1 等	• 12	長さ ( ) (根太張・釘留めこ		.品
			• 1類			・する			高さが 5 m			• (	)	,				(直張り		
-			・2類	<u>i</u>		・しない		出入口及び	これに準ずる	開口部の補強	※改修標準仕	様書表6.7.4(5	による・(	)		・フローリングブロック	* t 5 * 15	・接着工法 ※303×303 ・接着工法	去 ※塗装品	, .
	・「合板の日本農					1	・L° ニル床シート G						_	[6.8.2, 3]		1 等			·無塗装	
-	施工箇所		接着の程度 ・1類	化粧加工の方法	法単	板の樹種名 防虫処理・する		種類の ※FS	記号	施工箇所		色柄 無地	_	厚さ(mm) ※2.0		複合フローリング G				
			- 2類			・しない					~	・マーブル柄	○抗ウイルス性			種類	樹種種類	別 厚さ(mm) エ 法	仕上塗	間伐
	・パーティクルボ	:- ۴ G						•				・柄物	<ul><li>防滑性</li><li>防汚抗菌</li></ul>			・天然木化粧複合	※なら・A種		※塗装品	0) <u>1</u>
	施工箇所 厚さ	(mm) 表裏面	)状態による区	分 曲げ強さによ				工法 ※熱	溶接工法・	目地処理工法	• (	)				フローリング	• B種	・12 (根太張り)	・無塗装	
	<b>※</b> 1	5		※13タイプ	ЖР:	又はM		帯電防止		性能評価値(JIS 積電気抵抗値(J							※C種	・ 釘留め工法 (直張り)		
	l l	I							人は中	很电机场机值 ()	013 A 1434)	1 1 1 1 - 1 1 1 0 32	往及					・接着工法		
-	・JAS 0360に基づ 施工箇所	「く構造用パネ	ドル 厚さ(mm)		品	<i>5</i>	・ビニル床タイル G	種類の記号	2. t/c 7	<b>.</b> 筒所	色柄	寸法 (mm)	特殊機能	[6.8.2] 厚さ(mm)		ホルムアルデヒド放散		発性有機化合物)対策 による		
	#5 <del></del> EI //		., _ (,,,,,,		пп	ш		性類の配方 ・FT	, ne i		・無地	· 300 × 300	・帯電防止	※2.0				光性有機化合物/対象 による 対脂発泡シート ・( )		
								L =			柄物	• 450 × 450	・防滑性		・畳敷き	   種 別 · A 種 · B	T# - 0 IF	○ 括 / 黑庄 · ·		[6.
	・ミディアムデン	<u>・シテ</u> ィーフラ	イバーボード	(MDF) G				•кт			・無地 ・柄物	- 300 × 300 - 450 × 450	・帯電防止 ・防滑性	<b>※</b> 2.0	・宣 湫 さ	棟 別 ・A 棟 ・B   下地の種類 ・改修標				LO.
	施工管	· 新所		裏面の状態 曲げ		剤 難燃性 間伐材等		·FOA			・無地・柄物	• 500 × 500	・帯電防止	•		1		末下地(ノンフロン G )		
			(mm) IC	よの区分 によ	る区分	の適用					・無地	- 500 × 500	・防滑性 ・帯電防止			ホルムアルデヒド放散 ※1各章共通事項		発性有機化合物)対策 による	<b>ర</b>	
# ^ B **	Mr. 11										- 柄物		・防滑性			畳表及び畳床はVOC含有				
・接合具等	造作材の化粧面 ※隠し釘打ち		・つぶし頭 <sup>・</sup>	釘打ち ・釘頭瑪	₹L	[6.5.3]		帯電防止		性能評価値(JIS 積電気抵抗値(J						     胃表 高知県十佐禺惠蜍	査協会の合格品(	吏用(3種表の2等以上) ※i	商用する ・	適用した
	諸金物								22 10 PM	U 244 PER ( 0	,					量床の防虫処理は防虫加				,,,, 0 .4
	※かすがい、 (改修標準仕			の市販品 表8.20	0.1のF種程度	)			※軟質・ ※60・					[6.8.2]		(・) 畳上敷き				
	•				<u> </u>				※60 · ※1.5以上		)									
	(形状:	寸法:	材質:	)			・ゴム床タイル	<b>番類 . 単</b>	層品 ・積層					[6.8.2]						
接着剤	ホルムアルデヒ	ドの放散量		[	[6.5.3, 4][6	. 8. 2] [6. 9. 2] [6. 11. 4、 5]	・コム床ダイル	色柄(	) ・フラ	ット ・凹凸				[3. 0. 2]						
	※1各章共通	事項 室内空	ā汚染 (揮発性	生有機化合物) 対	策 による。				3.0	4.5 • 6.0 •	9.0									
防腐、防蟻処理	• 防腐、防蟻処理	里を省略でき	る樹種による製	<b>製材 適用部位(</b>	)	[6.5.5]		リ法(MM)	( )							三 建	設計有	限 会 社	登録高-6号	<del>1</del>
	・薬剤の加圧注 <i>]</i>	人による防腐				<b>北</b> マム											寄町 1-5-		FAX 883-163	33
Г	通月	用部位		· K 2 · K 3	保存処理性 ※K4	形 凸 分									ᄔ ᅼ ᄷᇷᄺᆇ		士 第13597			+ + ===================================
	-	こよる防腐・欧	5蟻処理												符記 仕 禄 書	(建築改修工事編)	(5)	令和 4 年度版	高知県土	土木部建第
	・ 薬剤の塗布等に	-0.0103104 10		処理の方法	1		1											i I	1	1
	・ 薬剤の塗布等に 適用部材															4	合和 年 E			
	適用部材	※ 改修標・	準仕様書6.5.5(	(1) (b) ②による	₩ JIS K	1571に適合又は同等品										4	令和 年 月	1		
	適用部材	※ 改修標・	準仕様書6.5.5( る防腐・防蟻処			1571に適合又は同等品									稲生ふれあい館:	非構造部材耐震化等工事(		1		A-05

<ul><li>せっこうボード、</li><li>その他ボード及</li></ul>	[6.13.2、3] 7 種 類 JIS記号 厚さ (mm)、規格等	○材 料	屋内で使用する塗料のホルムアルラ		[7. 1. 3] 8	適用範囲		ては、新営特記仕様書を適用とし別途記載	を行う。		
び合板張り	種類     JIS記号     厚さ (mm)、規格等       ・硬質木毛セメント板 G     HW     ・15 ・20 ・25 ・		※1各章共通事項 室内空気汚染( 防火材料 ※屋内の壁、天井(	(理発性有機化台物)対策 による 士上げは防火材料とする。	一		工事内容 ・現場打ち鉄筋コンク	Jート辟の増設丁事			
	・中質木毛セメント板 G MW ・15 ・20 ・25 ・	-		防火材料とする (箇所			・鉄骨ブレースの増設:				
	・普通木毛セメント板     G     NW     ・15     ・20     ・25     ・	[ _					・柱補強工事(溶接金組	関巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)			
	・硬質木片セメント板 G HF ・12 ・15 ・18 ・21 ・	<ul><li>○下地調整</li></ul>	塗替えRB種の場合の既存塗膜の除っ	去範囲	[7.2.1~7] 修	`		き工法又は帯板巻き付け工法)			
	・普通木片セメント板     G     NF     ・30       ・けい酸カルシウム板     0.8 FK     タイプ2 (無石綿) ・6 ・8	Ţ	※塗替え面積の30%・図示	(= 5 ( M==0)	工		・連続繊維補強工事・耐震スリット新設工	<del>-</del>			
	1.0 FK   1		既存錆止め塗料の鉛含有量調査	・行う( 箇所) ・行わない	<b>事</b>		・削震スリット新設工・・免震改修工事	<del>P</del>			
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		下地調整				・制振改修工事				
	(不燃)	-	下地面の種類	下地調整の種別	ひび割れ部の補修 通	,	・土工事及び地業工事				
	・ロックウール吸音ボード1号 RW-B ※25 ・ ・グラスウール吸音ボード32 K GW-B ※25 (ガラスクロス包) ・		木部		事	・既存部分の処理等	既存構造体の撤去	[8 21 2~3][8	2 2 . 2 ~ 3][8 . 2 3 . 2 ~ 3]		
	- ・	+	鉄鋼面	※RB種 ・		- 成存部分の処理寺	放任博造体の旅云 撤去範囲・(	) ・図示	[8.24.4][8.25.2]		
	・不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用)		亜鉛めっき鋼面	※RB種 ·			はつりだした鉄筋及び釘				
	・化粧有(トラバーチン模様)			※RB種 ·			既存構造体コンクリート。				
	(・)シージングせっこうボード     GB−S     12.5 (・不燃 (・準不燃 )       ・強化せっこうボード     GB−F     ・12.5 (不燃 )     ・15 (不燃 )		モルタル面、プラスター面 コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面	※RB種 ・ ※RB種 ・	・行う		・既存柱、梁面 打継ぎ				
	・せっこうラスボード GB-L 9.5		コンクリート面(DP以 タト)、ALGハ 不ル面 コンクリート面(DP)	· RB種 · RC種	・行う ・行う		<ul> <li>既存壁 打継者</li> <li>( )</li> </ul>	『面の10~15%程度			
	・化粧せっこうボード(木目)     GB-D     12.5 (不燃) 幅 440mm 程度		押出成形セメント板面	· RA種 · RB種 · RC種	·行う		既存構造体コンクリート配	iの目荒らしの範囲			
	(W) 模様(※柾目 ・板目) 専用下地材有り		せっこうボード面、その他ボード面	※RB種				と大7mm)程度の凹面を、全体にわたって	つける。		
	<td colspan="2" colspan<="" style="block" td=""><td>・錆止め塗料塗り</td><td>錆止め塗料塗りの種別</td><td></td><td>[7.4.2, 3]</td><td></td><td>• ( )</td><td></td><td></td></td>	<td>・錆止め塗料塗り</td> <td>錆止め塗料塗りの種別</td> <td></td> <td>[7.4.2, 3]</td> <td></td> <td>• ( )</td> <td></td> <td></td>		・錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種別		[7.4.2, 3]		• ( )		
	・音通音板 [G] ・生地、遊明塗料塗り(フワン音板程度) ・不透明塗料塗り(しな合板程度)	・朝正の室科室り	素地面 塗装の種類	<b>参料の種別</b>	工程の種別		既存杭の撤去等		[8.28.2]		
	· 天然木化粧合板 G			替え A種 ※C種			撤去範囲及び方法・	. — -	\		
	・特殊加工化粧合板 G ・オーバーレイ ・プリント ・塗装		(工程の種別は表7.4.3)	規見え掛り A種 ※A種			杭頭部の処理・				
	・メラミン樹脂化粧板 JISK 6903 による 厚さ1.2		新	規見え隠れ A種 ※B種			既存杭の補強・	( ) ・図示 る試験 ・行う(方法:・図示 ・	・行わない		
	・ポリエステル樹脂化粧板       ・ミディアムデンシティアァイバーボード G       G - M D F       ・3 ・7 ・9 ・12 ・無研磨 ・研磨		Lr-u +r	替え     ※B種     ・A種     ※C種       規見え掛り     ※B種     ・A種     ※A種			以 1+ fl U 1度 王 性 を 傩 認 す	Ә в 鉄 ・1」フ(カム:・凶ホ ・	)・行わない		
	・単板張りパーラィクルポード G ・無研磨板 ・研磨板		4年総 南   (土 柱 の)	規見え隠れ							
	• 10 • 12 • 15 • 18 •		涂	************************************	(下地調整RB種) 8-	1 ・鉄筋	鉄筋の種類等		[8.2.1][表8.2.1]		
	・化粧パーティクルボード G ・単板オーバーレイ・グラスチックオーバーレイ・塗装・10 (難燃)・12 (難燃)・		DP	による。 ・C種	(下地調整RC種)		種類の記号 ・)SD295	呼び径(mm) D10	備考		
	・ハードボード (素地) G HB ・無研磨板 (・スタンダード・テンパード)		(工程の種別は表7.4.4) 新	規 7.4.2(1)(f)(a) ・A種 による。	節		· SD345	010			
	・研磨板 (・スタンダード・テンパード)		200	替え ※A種 ・B種 ※C種							
	・ハードボード(化粧) G ・内装用 ・外装用			鋼製建具等 ※A種 ·B種 ※A種			•				
	・2.5 ・3.5 ・5 ・7       ・インシュレーションオート G     A ー I B     A 級		規	その他 ※B種 ※B種		· 溶接金網	形状等		[8.2.2]		
	T - I B 9 · 12 · 15 · 18		型却   EP-G   —	替え     C種     * ※C種       鋼製建具等     C種     * ※A種		· 冷按並嗣	種類 種類(	つ記号 網目の形状、寸法、鉄線の			
	・火山性ガラス質複層板 化粧加工K2 密度 A I ・6 ・9 ・12		-   ~ / ~   (工程の種別は表 / 4 5)   ""	- 調袋建具等 0代章 ・			·溶接金網 WF		床		
	せっこうボード等の下地 ※図示		377111	替え B種 · -			・鉄筋格子				
	遮音シール材 ・適用する (・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) 合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量		(工程の種別は表7.4.6) 新			・鉄筋の継手	継手方法等		[8.3.4][8.4.2、3]		
	一日		(工程的程列形成7.1.0) 利	D/里 ·		BOX 100 ON HEE 1	部 位	継手方法	呼び径 (mm)		
	合板類の張付け ・A種 ※B種	● 塗装			[7.5.2~7.12.2]			※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	※D19以上		
	せっこうボードの目地工法 ・仕上表による ・ ( )		塗装の種類	塗装面 塗装面	工程			※重ね継手	D10		
・壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 [6.14.2、3]		・合成樹脂調合ペイント塗り(		<u> </u>		主筋及び耐力壁の重ね継手	※重ね継手 の長さ	[8.3.4]		
<u>→</u> ₩ 1K 9	※ 1 各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物)対策 による		ロの間間は・「フーエ)		種 ・ ※B種 ・		• 構造関係共通図(配筋		[5.5.1]		
	施工箇所 壁紙の種類 防火性能 備 考		塗料の種類 ※1種 ・2種		種 ・ ・A種 ※B種			かわらず、40d(軽量コンクリートの場合は	, - ,		
					種 · ※B種 ·		構造関係共通図(配筋: ・図示	票準図)3.1(a) 表3.1の重ね継手長さの <sup>3</sup>	うち大きい値とする		
	掲示用ピニルクロス ・ ・ ・ ※不燃・準不燃		・クリアラッカー塗り (		性 ·		継手位置図				
	モルタル・プラスター面の下地調整 ※B種 ・A種			NAD) 屋内のコンクリート面、モルタル面 ※BR	種 · ※B種 ·		• 構造関係共通図(配筋	票準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による			
	コンクリート面の下地調整 ※B種・A種		・耐候性塗料塗り (	DP) 鉄鋼面 上塗り ・	_		• 図 示				
	せっこうボード面の下地調整 ※B種・A種			・1級 ・2級 ・3級 亜鉛めっき鋼面 上塗り ・		・鉄筋の定着長さ	• 構造関係共通図(配筋	悪後 図 ) 2 1/ト ) ! ー ト ス	[8.3.4]		
・モルタル塗り	モルタル · 既調合材料 ・ 既調合材料 [6.15.3、5、6]			・1級 ・2級 ・3級		政制の足指及と	• 図示	宗午囚 / 0.1(D)による	[0.0.4]		
	既製目地材 ・使用する(施工箇所: 形状: ※図示 )			コンクリート面及び・	• A-1種						
	床の目地 ・設ける (工法 ※押し目地 ・ )			押出成形セメント板面	• B-1種		最小かぶり厚さ(目地底から		[8.3.5]		
	目地割り ※2㎡程度(最大目地間隔3m程度) ・( )		・つや有り合成樹脂	コンクリート面等 ※Bi	・C-1種 種 ・ ・A種 ・B種	及び間隔 (溶接金網含む)	・構造関係共通図(配筋 ・図示	標準凶)表4.11〜よる			
	壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ※図示		エマルションペイント塗り (EP		種 ・ ※ A種 ・	(1218 7 161 151 161 17)	柱及び梁の主筋にD29以上の	り使用の有無			
・タイル張り	伸縮調整目地の位置 ・ ( ) ・図示 [6.16.2~4]			屋内の鉄鋼面 ※B	種 · · A種 ※B種		・無し				
	見本焼き ・行う ・行わない		A = 141 015		種 · · · A種 · B種		・有り 適用箇所(	)			
	試験張り ・行う ・行わない		<ul><li>・)合成樹脂エマルションペイント当</li><li>・)ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</li></ul>		種 ・ ・A種 ・B種 種 ※B種 ・A種 ※B種		最小かぶり厚さ ・鉄筋径の1.5倍以	J F			
	(・)セメントモルタルによるタイル張り				グメントステイン塗り		• ( )	~ _			
	タイルの形状、寸法等		・ステイン塗り	l l	イルステイン塗り (OS)		軽量コンクリートで土に接	する部分			
	施工箇所 形状寸法 再生材の吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性 耐滑 備 考		・木材保護塗料塗り(WP)		種 ※B種 ・A種 ※B種		・無し				
	(mm)   適用   G   I 類   II類   III   IIII   I		一つや有り合成樹脂エマルションペイ せっこうボード面、その他ボード配	イント塗り(コンクリート面、モルタノ E X の冷井 3 の根へのしなより	ル面、ブラスター面、		・有り 適用箇所( ・構造関係共通図	) (配筋標準図)表4.1に加える厚さ (	) mm		
				ョ/の坐音での場合のじみ止め )下塗りをしみ止めシーラーとする ・	( )		· ( )	(出加州中国) 致礼 门口加州 切开	/ IIIII		
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする		合成樹脂エマルションペイント塗り					<b>手を受けるおそれのある部分等</b> )			
	壁タイル張りの工法 内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り			の下塗りをしみ止めシーラーとする	• ( )		・無し ・有り 適用筒所(	,			
	内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り		高日射反射率塗料塗り G	- DATE WIDDE - DOTE				) (配筋標準図)表4.1に加える厚さ (	) mm		
	・有機系接着剤によるタイル張り		下地調整(改修標準仕様書7.2.2)	・RA種 ※RB種 ・RU種 塗料その他	塗付け量		• ( )	、	,		
	タイルの形状、寸法等			規格名称 種類 等級	(kg/m²)		鉄筋相互のあき(特殊な鉄)		[8.3.5][図8.3.5]		
	施工箇所 形状寸法 再生材の 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性 耐滑 適用 図 I類 II類 II類 III類 III類 III類 III類 III類			用高日射 1種	<b>会判制生ごふりせ</b> つして		• 構造関係共通図(配筋	標準図)4.1による			
	(mm) 適用 [G]   1 類   1 数   1		塗料塗り JIS K5675 反射		塗料製造所の仕様による	4+=-11 14 3-	· 図示	(0)			
			クリアラッカー塗りA種の工程2 ・	 適用する(着色材:・溶剤系 ・油性	上染料) ・適用しない	符記仕様書	(建築改修工事編)	(6) 令和 4 年度版	高知県土木部建築課		
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする		ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の	適用 ・適用する ・適用しない							
	内装壁タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量		オイルステイン塗りの工程等・ (				令?	50年月			
・セルフレヘ゛リンク゛材 塗 り	※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による   塗 厚 ( )mm [6.17.2、3]		三 建 設 記	十 有 限 会 社	登録高-6号	terior services	Like of An II will are an in the	100			
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		高知市知寄町1	= - TEL 000 1701	EAV 000 1000	稲玍ふれあい館ま	₣構 造 部 材 耐 震 化 等 工 事 (	栄 土 怀)	A-06		
· 吸音材	※グラスウール (7) 50充填 密度 24kg/m3		一級建築士第13		FAX 883-1633		^	和5年7月改正			

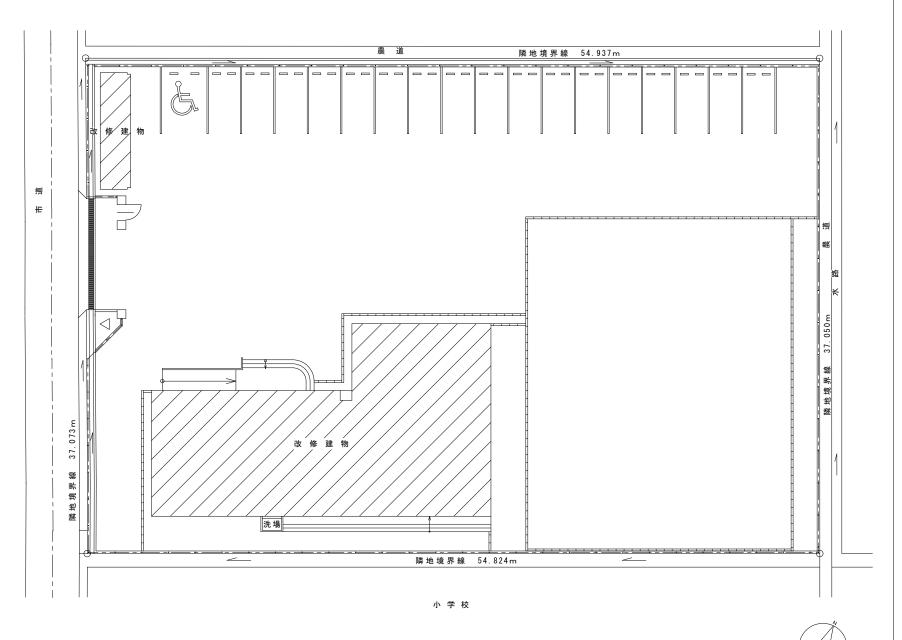
	・圧接完了後の試験	外観試験 ※行う (全数) [8.3.8] 全数試験 ・行う ※超音波探傷試験 適用箇所 ・図示 ( )	・コンクリートの打込み 工法等	部位等のコンクリートの打設工法の指定		アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 (7.2.4)(表7.2.3) ・JSS II 13-2004 「(社) 日本銅構造協会規格/建築構造用転造ねじアンカーボルト ナット・座金のセット」 適用箇所 ・ ( ) ・図示
	・割裂補強筋	仕様・( )・図示 [8.21.6][8.22.7]		・性補強工事 (溶接金網巻き及         ・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)         ・全ての増設壁 ・全ての増設壁 ・空示による()		・標準仕様書 表 7. 2. 3による 適用箇所 ・ ( ) ・図示
	・コンクリートの 気 乾 単位 容積質量による 種類及び強度	普通コンクリートの設計基準強度     [8.1.3~4][表8.1.2]       設計基準強度 (N/mm²)     スランプ     適用箇所       ① 21     ① 15     閉塞部		び溶接閉鎖7-7 ・		形状、寸法 構造用 · ( ) · 図示 建方用
ンクリ				・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)		• ( ) • 図示
ートエ事		軽量コンクリートの設計基準強度     [8.1.3~4][8.9.2]       設計基準強度 (N/mm²)     スランプ     適用箇所       ・     ・       ・     ・		鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フーブ巻き工法での型枠等 [8.23.6] 柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ・発泡ブラスチック保温材等を埋込む ・ ( ) ・ ( ) 柱頭柱脚の隙間寸法 ・ ( ) ・ 図示 既存柱外周部あと打ちコンクリート又はモルタルの厚さ ・ ( ) ・ 図示	・溶接材料	溶接材料 [8.2.10] ・ 改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による。 ・ 改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・ ( ) ・ 図示
	・コンクリートの 類 別	類 別 ※ I 類 - I 類 [8.1.3][表 8.1.1]	・補強工事後の	・( ) ・図示 [8.21.10][8.23.7]	・ターンバックル	
	⊙セメント	種 類 [8.2.5][表 8.2.3]  ● 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位( )  普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352 J/g 以下、かつ28日目で 402 J/g 以下のものとする。 ・高炉セメントB種 ⑤ 使用部位( ) ・フライアッシュセメントB種 ⑥ 使用部位( )	・鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として指定を受けた(株)日本 鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の		建築用ターンバックル胴 ・割 枠式 建築用ターンバックルボルト ・羽 子 板ボルト ねじの呼び ・(7.2.6)
	○骨材	・ ( ) <b>骨</b> アルカリシリカ反応性による区分 [8.2.5]		性能評価基準」に定める( )グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は 同等以上の能力のある工場 ・監督職員の承諾する工場(標準仕様書 7.1.1 以外の適用範囲に限る)	・床構造用のデッキ	- 材質、形状及び寸法 (7.2.7) 適用箇所 材質・形状・寸法 備 考
	·混和材料	※A · B · 再生骨材H  ○混和剤  [8.2.5][8.9.1] 事	・施工管理技術者	・ 直自 順 貝 の 外 店 す る 工 場 ( 標 学 社 稼 音		・構造床 ・合成スラブ ・床型枠用
	) IE 11 19 14	種類 ・ 改修標準仕様書8.2.5(4)(a)による ・ ( ) ・ 混和材 種 類 ・ 改修標準仕様書8.2.5(4)(b)による ・ ( )	- 鋼材	種類等     [8.2.8][表8.2.7]       種類の記号     適用箇所 (主要な部分)     規格       ・JIS規格による		・
	・軽量コンクリート			- UIS規格による - JIS規格による - JIS規格による - JIS規格による		<ul><li>鉄</li></ul>
		適用箇所 ・ ( ) ・図示 [8.9.1]		- JIS規格による - JIS規格による		・有り 耐火時間(・ ・ 図示) ・無し
	・構造体用モルタル			有効細長比(圧縮材に限る) ・ ( ) ・ 図示	・スタッド	材質、形状及び寸法 [8.2.1.1]   ※頭付きスタッド JIS B 1198
	・無筋コンクリート	・標準仕様書 6.14.1(4)による箇所 ・標準仕様書 6.14.1(4)以外の箇所 ・図示による( ) 設計基準強度 ・18 (N/mm²) ・ ( ) スランプ ・15cm ・18cm ・ ( )	・高力ポルト	高カボルトの区分 [8.2.9][8.1 4.2] ・トルシア形高カボルト セットの種類 ・2種(S10T) ・ ( ) ・JIS形高カボルト セットの種類 ・2種(F10T) ・ ( ) 高カボルトの径 ・		呼び名等
		目地寸法 ・標準仕様書 9.7.3による ・ ( ) (6.6.4)(9.7.3) 間隔・位置・形状 ・ ( ) ・図示 (6.8.1)		・構造関係共通図(鉄管標準図) 1-1 緑端距離及びボルト間隔 による [8.13.2] ・ ( すべり係数試験 ※行わない ・ 行う		※無収縮モルタル ・ ( ) 無収縮モルタルの材料及び調合 [8.2.12] 材料、調合等
	・コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ	・普通ボルト	試験方法等 ・ (		・改修標準仕様書 8.2.12による ・ ( 品質及び試験方法 ・改修標準仕様書 表8.2.10による ・ ( 工法の種別 ・標準仕様書 表7.10.2 (※A種 [モルタル厚さ50] ・ B種 [モルタル厚さ30] ) による
	・打増し厚さ (打放し仕上げ部)	・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)       [8.7.8]         ・20mm       ・()         ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2] ・構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔 による ・ ( )	・仮組・溶接接合	・実施する       ・実施しない         開先の形状       [8.15.4]         ・図示
	· 型枠	・10mm ・20mm ・ ( ) せき板の材料 G 及び厚さ [8.2.7]	・溶融亜鉛めっき 高カボルト	・1種 (F8T相当) ・ ( ) ・ 図示 [8.2.9]		・構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2による ・ ( ) スカラップの形状 [8.15.7]
		・合板(・12mm ・15mm ) ・ ( ) 断熱材の兼用 ・行わない ・行う (6.8.2) MCR工法用シート ・用いる (6.8.2)		溶融亜鉛めっき高カボルトのボルト孔の径		・図示 ・構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4による ・( )
		打増し厚さ ・20mm ・ ( ) 打増し範囲 ・ ( ) ・図示 スリーブの材種 [8.2.7][表8.2.6] ・改修標準仕様書 8.2.7(7)(4)及び改修標準仕様書 表8.2.6による ・ ( )		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2] ・構造関係共通図(鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔 による ・( 摩擦面の処理 [8.20.5]		エンドタブの切除する部分
	・コンクリートの単位水量	加工及び組立 [8.7.8] ・シアコネクターをセパレーターとして使用(使用箇所: )		・ ブラスト処理 (表面粗度 50 μ m R z 以上) ・ りん酸塩処理 ・ ( )		・ ( ) ・図示 ・ 切除する部分なし 溶接部の余盛り高さ ※(社)日本建築学会「JASS6鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」付表3[溶接]による
	測定	・構造関係共通図(構造関係共通事項) 構-4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの 単位水量測定による ・ ( )	・アンカーボルト	適 用 ・構造用アンカーボルト 材質 ・ABR400 ・ABR490 適用筒所・ ( ) ・図示		・ ( ) エンドタブ・裏あて金 ※鋼材の鋼種はSN-Bとし、引張強さによる区分は母材と同等とする
				- 週 H 回 M · (	特記仕様書	(建築改修工事編) (7) 令和4年度版 高知県土木部建築課
	j	三 建 設 計 有 限 会 社 登錄高-6号		週用		令和 年 月
		高知市知寄町 1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633		. ( )	稲生ふれあい館	非構造部材耐震化等工事(建築主体) 令和 5 年 7 月改正
		一 級 建 築 士 第135971 安 並 和 文	l	1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

\		√		.	
・入熱、パス間温の溶接条件	1度 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示 ・構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4による	· 軽量形鋼構造	接合部(ボルト接合の場合) (7.11.2) ・ 普通ボルト接合 ・ ( )		ひび割れ部改修 [8.24.6][4.1.4] ・行わない
Orbert	適用箇所				・行う
	・図示 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部	・溶融亜鉛めっき			範囲
・溶接部の試験	- 浸透探傷試験	(基礎、主要構造部及びその作構造耐力上主要な部分に限る	亜鉛めっきの種別 材料 A種 最小板厚 6.0mm 以上の形綱、鋼板		・ ( ) ・ 図示 種 類
12/22/11/20	・磁粉探傷試験		B種 最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形綱、鋼板		・改修標準仕様書 4.1.4(1),(2)による
	適用部位		音通ボルト・ナット類、アンカーボルト類		連続繊維補強材の引張強度試験 [8.24.6]
	※割れの疑いのある表面欠陥 ・完全溶込み部の超音波探傷試験		最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形綱、鋼板 素地ごしらえは、JIS H 8641 による		・行わない・行う
	・行わない		適用箇所		引張強度試験
	· 行う		· ( ) · 図示		※JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による
	・工場溶接の場合 AOQL (%)	・鉄骨プレース設置後	. ( ) ・図示 [8.22.9]		試験数量 ・ ( ) ・図示
\	· 4.0 · 2.5	の仕上げ	10.22.3		連続繊維補強材の付着強度試験 [8.24.6]
	節 ・全て ・ ・ ・				・行わない
	検査水準 ・第6水準 ・ ・ ・ ・ ・ 8-	 4  ○あと施エアンカ-	++ 101 (45		・行う 付着強度試験
	・全数	4 ・めと他エアフガー	↑ 14 4 7		※JIS A 6909 (建築用仕上塗材) による
	適用箇所 ・図示による ( )	5	せん断耐力 ・ ( ) KN ・図示		試験数量
	√・工事現場溶接の場合	<u>:</u>	セット方式 ※本体打込み式改良型 ・ ( )		• ( ) • 図示
	・全数	<u>t</u>	接合筋の種類、径、長さ ・ ( ) ・図示性能確認試験 ・実施する	  ・連続繊維補強後の	り・( )・図示 8.24.7
	H12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等	7	試験方法及び試験数・( )・図示	仕上げ	
	独立行政法人建築研究所監修「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による	,	・接着系アンカー 引張耐力 ・( )kN ・図示		
	・抜き取り検査① ※抜き取り検査②	ו	せん断耐力・()KN・図示	7 スリットの方式	・完全 ・部分 [8.25.2]
	X	-	セット方式 ※カブセル方式の回転・打撃式 ・ ( ) 8- 接着剤の品質 ・有機系 ・無機系	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	・元王 ・
	JASS 10.4 (受入検査) e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部 国	- -	アンカー筋の径及び埋込み長さ ・ ( )・図示		· ( ) · 図示
	の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観検査の不合格箇所は、		アンカー筋の種類 ・改修標準仕様書 表8.2.1の異形棒鋼 ・金ねじボルト 漂		耐震スリット部詳細
	すべて標準仕様署7.6.13による補修を行い、再試験する。		アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ ( )・図示性能確認試験 ・実施する J		· ( ) · 図示
・錆止め塗装	塗料の種別		は験方法及び試験数・( )・図示		既存撤去部の埋込み配管等の探査
	・鉄鋼面の鋳止め塗料				・鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
	屋外 ・改修標準仕様書 表7.3.1 A種	・穿孔前の埋込み 配管等の探査	***   ***	·	鉄筋探査機の探査方式 ・電磁波レーダー法(3D表示対応型)
	・ 以珍標 学 仕	配官寺の休宜	・あと施エアンカー施工部分全て		・電磁波レーダー法文は電磁誘導法
	屋内		探查方法 [8.12.4] ]		・はつり出しによる
	· 改修標準仕様書 表7.3.1 ( ) 種		・鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う		スリットの幅及び深さ [8.25.2]
	・()・亜鉛めっき銅面の錆止め塗料		鉄筋探査機の探査方式 ・電磁波レーダー法 (3D表示対応型)		• ( ) • 図示
	・改修標準仕様書 表 7.3.2 (( ) 種		・電磁波レーダー法又は電磁誘導法	・スリット充填材	耐火材 [8.25.2]
	• ( )		・はつり出しによる		・使用しない
	鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリープの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る) ・改修標準仕様書 7.3.2 表7.3.1 入種		• ( )		・使用する 使用箇所及び仕様
	・ ( ) A/性	・施工確認試験	試験の適用 [8.12.7]		・( )・図示
	耐火被覆材の接着する面への塗装		・実施しない		遮音材 [8.25.2]
	・行わない		・実施する		・使用しない
	・行う 適用箇所		試験方法 ・引張試験機による引張試験		・使用する 使用箇所及び仕様
	・図示による( )		• ( )		· ( ) · 図示
	塗料の種別		確認強度		
	・ 改修標準仕様書 表7.3.1 ( ) 種 ・ 改修標準仕様書 表7.3.2 ( ) 種		· ( ) · 図示 8-	8 . # 更   及び成+	│ 材料及び工法 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G
				- FROMOMIT	C種の場合の受入量、発生場所は現場説明書(施工条件明示)による。 [8.28.3]
・耐火被覆	種 別 [8.18.2~8] 8-	5 ・グラウト村	グラウト材 [8.2.12] 土		D種の場合の六価クロム溶出試験は、現場説明書(施工条件明示)による。 [表 8 . 2 8 . 1
	種別 材料・工法 適用箇所(部位・部分) ・乾式吹付けロックウール ク	,	・無収縮グラウト材(セメント、混和剤、砂は無収縮モルタルに準ずる) 無収縮グラウトの品質及び試験方法		■ ■ ※構外搬出 [8.28.3
	・半乾式吹付けロックウール		ブリーシング 練り混ぜ 2 時間後のブルーディング率 : 2.0%以下		処理場所()
	・耐火材吹付け・湿式ロックウール	,	無収縮性 材齢 7日 収縮しない		所在地 ( ) 距 離 ( ) km
	·		日本語   日本		その他 建設発生土の搬出先は上記を予定している。 搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。
	・維維浸入けい酸カルシウム板		対齢 2 8 日 40N/mm²以上   業  塩化物量		MX411/11/2/文文と は心物口は、 設計 文文U 対象とり る。
	耐火板張り		試験方法 1)日本道路公団規格 (JHS) 3+2-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」 事	<b>[</b>	・構内指定場所に敷き均し・構内指定場所に堆積
	・耐火材巻付け・高断熱ロックウール		による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックス形のみとする。	・山留めの撤去	1100 K REMOTE (2)
	・ラス張りモルタル塗り		クスルのみとりる。 2)塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクサート中の水の塩化	山田のの旅云	山留め壁等の存置 ・行う ・行わない [8.28.3
	・耐火塗料		物イオン濃度試験方法」による。	・騒音振動の防止	低騒音型 低振動型建設機械指定に基づき指定された建設機械を使用する。
	材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。			・杭地業	士柱址船の片架及ガ土版 (甘味 ハハの牛場片架 本外)
	性能 8-	6 適用範囲	連続繊維補強工法	1711.地采	支持地盤の位置及び土質(基礎ぐいの先端位置含む) [8.2.14][8.28.4](4.3.7 ・ ( ) ・図示
	性能 適用箇所(部位・部分)		・連続シートを柱に巻き付けて補強する工法		杭の材料、工法、寸法、施工方法等
	- 3 0 分耐火		• ( )		· ( ) · 図示
	· 1 時間耐火	[     ・連続繊維シート	連続繊維の材料 [8.2.13]		・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法・・( ・図示
	- 3 時間耐火 維		· 炭素繊維		・杭の継手の箇所数、材料、工法等
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		・アラミド繊維		· ( ) · 図示
・建方精度	※(社)日本建築学会「JASS6鉄骨工事」付則6 [鉄骨精度検査基準]付表[工事現場]による   引 (7、10.2) エ		・())		・杭の溶接継手 技能資格者の技量 ・( ) ・図示
	( / .\\ 1 0 . 2 ) <u>1</u>	:	見る。日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、		技能具符目の技量 ・ ( ) ・ 図示   ・ 図示
・アンカーホ゛ルトの 保			· ( ) N/mm²		
及び埋込み工	法 ・ ( ) ・ 図示 (表 7 . 1 0 . \ 1 ) (表 7 . 1 0 . \ 1 )		ヤング係数 (含浸硬化後) ・ ( ) N/mm <sup>2</sup>	特記仕様書	(建築改修工事編) (8) 令和4年度版 高知県土木部建築課
	建万用アンカーホルトの保存及の埋込み上法   種別   (数 / . 1 0 . \		工 法		
	· A 種 · B 種		※(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法		令和 年 月
	三 建 設 計 有 限 会 社 登錄高-6号		• ( )		
	高知市知寄町 1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633			稲生ふれあい館	非構造部材耐震化等工事(建築主体) A-08
	一級建築士第135971 安並和文				令和 5 年 7 月改正



○ トイレブース								(20. 2. 5)	① 天井点検口							-1						
		パネル表面材	の種類	脚部			Lッジ Lッジ			材種		寸法	形式		外枠 内枠	・ 外壁改修フロー	及び数量					
	(・) メラミ	ン樹脂系化粧	 E板	形状 揺木タイプ	_	形状 ①	<u>材質</u> アルミニウ <i>』</i>	ム製		※ アルミニウム製	· I	50 × 450 00 × 600			額縁タイプ ・ 額縁タイプ 目地タイプ ・ 目地タイプ		ノート打放し仕上	.げ外壁の場合				
	・ポリエ	ステル樹脂系	化粧板		· R		ステンレス 表面材と同れ				•		• 気密形			<b>没</b> 修		外 壁	調査(施	工数量調査	<b>Š</b> )	
	パネル	材料のホルムフ	アルデヒド放散	量			<b>双曲りこ</b> 同1	4	・床点検口							エ 旧仕上げの	撤去 · 全面 シ	※ 図示				
	<b>※</b> 「1	(各章共通事	項). 7(室内空	2気汚染(揮発性?	機化合物	)対策)」によ	る		-	<u>材種</u> ・ アルミニウム		寸法 50×450	形3 · 一般形	式 ・ 屋内外用	- 備考 ・ 鍵付き	<b>\$</b>			6 IB +n			L*=1.45
• 視覚障害者用		_ 1						2) (19. 2. 2)		<ul><li>ステンレス製</li></ul>			・密閉形	<ul> <li>屋内用</li> </ul>	2017	~	ひび割れ部改修		欠損部	改修	<u>9-93</u>	ング改修 
床タイル	施工箇月	Ť	Ā	種類		寸法(mm)	再生材料 月 D適用 G	厚さ(mm)		・ 鋼製 密閉形とは、ホ	ー <u>ー・</u> ドルト、ナ <sup>ッ</sup>	ット等メカ	ニカル構造にパ	 ッキンを装着し <i>†</i> :		外 樹脂注入 壁	Uカットシール材	シール工法	充填工法	錆鉄筋部	シーリング	     再充填工法
	屋内	<ul><li>塩化ビ</li></ul>				00×300 ·		7.0 •								<b>汝</b> │	充填工法			補修工法		
		<ul><li>磁器質</li><li>レジン</li></ul>		・ せっ器質ター 製 ・ コンクリー					・ 耐震スリット	方 向	幅 (mm)		タイプ	耐火性能	防水性能 備考	修 A) 2.18 m フ B) m			100 × 300 ×	幅100mm	mm×	mm ×
	屋外	<ul> <li>磁器質</li> </ul>		・ せっ器質タ						・ 垂直方向 ・ 水平方向	• 25	※ 完全	(全貫通型)	<ul><li>耐火型</li><li>非耐火型</li></ul>	・ 有り ・ 無し	C) m	m	m	30mm程度	程度	mm	mm
	※ 黄色	•		製 ・ コンクリー	ト製  ・ 3	00 × 300 ·				目地	·			- 非删入室	· #C	】			ヶ所	m	m	m
	ブロックノ	パターンは JI	S T 9251 による	る						目地			内壁		外壁	υ <u> </u>						
• 規覚障害者誘導標示	トアエス	コートガイト	ř.							目地材		・ シーリ: ・	ング材(見え掛か		ーリング材(見え掛かりのみ)	数 量	下地調整材	オ・全面	※ 図示			
○ 手すり	<ul><li>屋外用=</li></ul>	≦摺 ステンⅠ	レス手摺磨き##	400 38 φ · H=80	0 ベース:	プレート型		(20. 2. 6)		目地寸法(mm)		※スリット	幅×深さ10		Jット幅×深さ10 ・		仕上塗材化	土上・全面	※ 図示			
0 + 9 9	<u> </u>	材種	777,11,11,11,11,11,11	表面仕上げ		直径(mm)	取付箇所			目地材の材質は標	準仕様書表	₹9. 7. 1によ	る			(注1) 7.1パ割れ血	原(mm)が Δ)(	) 2以 F 1 0未落	B) 0 2 U F 0 3	表帯 C) 0.3以	F 0 5 表 滞 「	)) 0.5以上1.0未満を示す
	※ 集成材			<b>'</b> ラッカー ・	• 35	5 • 45 •			○ 流し台ユニット								動式低圧エポキシ			· 八周、 0 / 0.0以	工0.0水凋、1	7 0.0以上1.0水洞と水す
_	<u>・ ステン</u> ・ 鋼製パ	<u>レスパイプ</u> イプ	• HL	-G · SOP ·						材種	W	寸法(n D	m) H	$\dashv$	備考				注入工法、機械式	エポキシ樹脂注力	人工法を示す	
	・ビニル	製ハンドレー	・ル・							・ 流し台	- 1200	• 550		市販品								
⊙ 表示	衝突防止							(20. 2. 11)			• 1500 • 1800	• 600 • 650		トラップ付き								
		†法(・30φ (・ステ)	・ ) ンレス製 ・	)						・ 埋込コンロ	- 600	- 500	- 800	市販品								
				《消防法に適合する																		
			- 案内板等の形 号はJIS Z 82101	状、寸法、材質、 による。	色、書体、	印刷等の種別	、取付け形式	式等 		・ つり戸棚	- 1200 - 900	- 450	- 500 - 700	市販品								
・ブラインド								(20. 2. 14)														
	₩ #	操作方法	種類	スラット	のお話	スラット幅 ボック		†法・		・ 水切り	- 1200 - 900	_	-	市販品	įĮ							
		· 手動 ※		※ アルミニ		(mm) の ※ 25 ※ 鋼		付箇所 図示			- 600			• 1段式								
	/N /JW/1/		<ul><li>コード式</li></ul>	合金製		. 20 1		四水		品質・性能 JIS 形状 ※ B		•										
		· 電動	・ 操作棒式 一	•					- 7-1-7	- \ - off#T	. * -			_								
	<ul><li>縱形</li></ul>	<ul><li>手動 &gt;</li></ul>	※ 2本操作コード			<ul><li>80 アルミニウ</li></ul>	ム合金製・	図示	・フェンス	フェンスの種類			キスパンドフェン vュフェンス	ノス								
		・電動	• 1 本操作コード _	* <u>式</u> ・ クロスス	・フット	- 100						プェンス レミフェンス	t.									
			け塗装仕上げ はで定める時本	性能の表示がある	生体体积的	пт				高さ ・図示		, , , , , ,	•									
			スで足める的炎 ※建具寸法		1寸7个1到 加口川	# <b>-</b>			・ 洗面カウンター	材 種	・メラミン	レ樹脂化粧材	反張り (心材:負	長成材) ・ 人	、工大理石							
	ポリエス	テル繊維又は村	植物を原料とす	る合成繊維を使用	した製品し	G				奥行き(mm)												
・ロールスクリーン					년 후 <del>7</del>			(20. 2. 15)	• 路面標示用塗料	JIS K 5665 (路	1											
	材料	<b></b>	操作方式	遮光性	幅・高さ (mm)	取付箇	所	備考		種類 • 1種 G	施工常温		適用		冨(mm) 塗布厚さ(mm) 50 ・ 1.0							
	・ガラス繊		電動式 スプリング式		図示	• 図示				・ 2種 G	加熱		·									
	・木製		チェーン式	・3級						※ 3種1号	1 - 1 - 1 - 1 - 1	粉体 粉体	状 G									
	巻取りパ	 イプ、ウェイ	トバー、操作コ	<u> </u>  一ド又は操作チェ	一ンその州	 也の材料は製造	所の仕様に	よる。		121+701T.H			<u>.</u>									
				る合成繊維を使用					・ 床用防じん塗料塗り				料(※ 標準色		)							
・ 遮熱カーテン								(20. 2. 16)		仕上種別 塗布量				kg/m2以上とする	5							
		形式	開閉操作	ひだの種	頁	きれ地の種別品質、特殊加工	削、 取付箇所	備考		<u> </u>		C O C NO E	中主180. 20	118/1112/212/16								
		ル・片引き		・フランスひた		加良、17/7/加工	※ 図示	1.5 ф	・)ピクチャーレール吊下フック	ピクチャーレール	用吊下フッ	ク・カラビ	ナ式(透明ワイ*	7—)								
	・ダブル	① 引分け		<b>●</b> ○ 箱ひだ、つま ・ プレーンひた			•															
			・手引き	・フランスひた			※ 図示		⊙サイクルポート	LIXIL ネスカ F	= = =	等品										
	・タフル	・引分け		・ 箱ひだ、つま ・ プレーンひた			•		4.4					(13	. 2 . 2 ~ 3)							
				る合成繊維を使用		G			1 1 長尺金属板葺	施工箇所			は属板の種類	厚	厚さ(mm) 屋根葺形式							
	暗幕カー	「ンの両端、_	上部及び召合せ	の重なり ※ 300	mm以上 ·				根	○ 屋根			ミニウム-亜鉛台 帯 (CGLCCR-20		※0.4 ・ 立平葺 ・ あり掛葺							
・カーテンレール	林业1-	- トスマ公 ×	6 アルミーウム	、又はアルミニウ <i>L</i>	今全の畑!	ᄔᄠᄴᄽ	・ステンレ		改 修			独亜鉛めっ !−20−Z25)	き鋼板及び鋼帯	<b>†</b>	・芯木なし瓦棒葺・横葺							
	強さに	よる区分	<b>※</b> 10−90		. ㅁ 亚፡፡/ 기주 ㅁ	山灰王初	- 1100		19 エ		• ( 0000K	-20-225)			• (快) 年							
	仕上け 形状	·	<ul><li>※ アルマイ</li><li>※ 角形</li></ul>	· ·				;	事		スファルト ムアスファ		ング 940 フィング下葺ゎ		3.2.2)(表13.2.2)							
・ブラインド		<b>源</b> ナ /		• 120×80 • 12	10 ~ 150	• 150×80	. m=			_												
・ フラインド ボックス及び		深さ (mm) ・ 集成材		- 12U×8U • 12	)	- 100 × 80	- 凶不			建築基準法に基づる として提出する	き定まる風	圧力及び	責雪荷重に対応	した工法を施工	二計画書計画書(10.2.3)	44 = 7 11 144	<b>事 / 7本 /** = *</b>	- 佐 - 吉 /= 、	(10)			= 60 III 1 -1 -10 -10 -10 -10 -10
カーテンボックス		・アルミニ	ニウム製 押出	し型材(市販品) よる表面処理の種	딘					建築基準法に基づ	づき定めら	れた区分		速 Vo=(	) m/s	符記仕様	書(建築改	16 工事編)	(10)	令和 4 年度片	iby T	高知県土木部建築課
		• B	BC-1	<b>ふ</b> る衣山処理の種	נימ										(・I ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ) 5 示第1455号 別表( )				令和 年 月			
		• B	3C-2							Ξ	建設	計有	限会	 社	登録高-6号							
			· 標準色 ·	・特注色							市知 寄 町			TEL 883-1761	FAX 883-1633	稲生ふれあし	<b>ヽ</b> 館非構造部材	耐震化等工事				A-10
		<ul><li>鋼製(f</li></ul>	仕上げ:		)					一級 3	建築士第	13597	1	安 並 和 文					令和 5 年 7 月改	TE .		





附近見取図

配置図 S = 1 / 2 0 0

工事概要	
1. 工事場所	高知県南国市稲生542番地
2. 敷地面積	2,033.65㎡ (市街化調整区域)
3. 構 造·規 模	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造 2 階
4. 延床面積	370.295㎡ (自転車置場 16.41㎡)
5. 建築面積	289.38 m²
6. 主要用途	公 会 堂 ▼ は 集 会 場

備考 A2→A3(71%に縮小)			三建設計有限:	<u></u>		図面名称	付近見取図	- 和墨网	
※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする				<del>⊼</del> 11	登録高-6号		刊业兄权区	- 肥固因	
	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体)	設計図	高 知 市 知 寄 町 1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:200		NO.	۸ 11
			一級建築士第135971	安 並 和 文		年 月 日 担	当製図		A — 11

## 外 部 仕 上

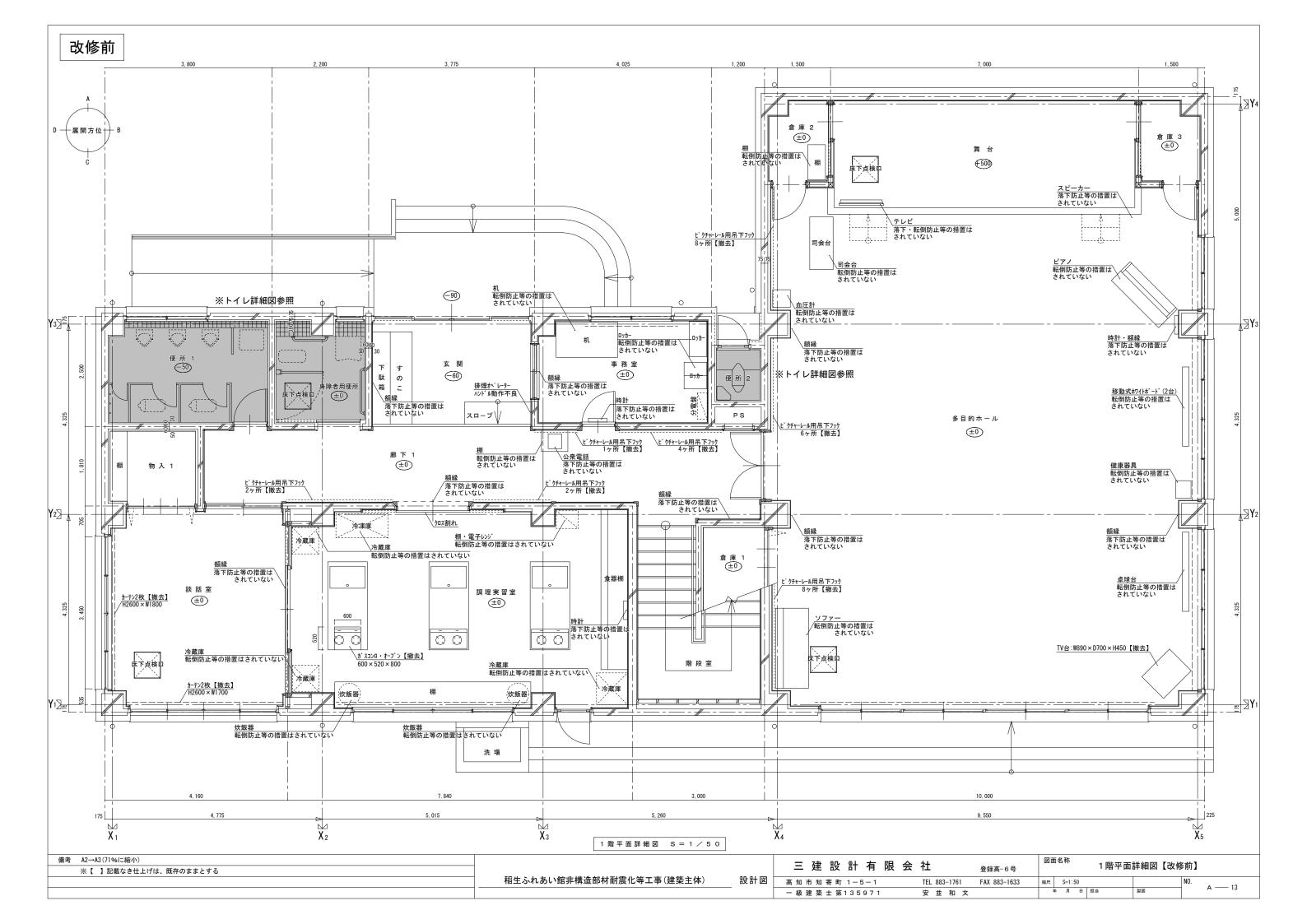
	改修前	改修後		改修前	改修後
1)屋根	日本瓦葺: アスファルトルーフィング22kg品 スカイモルタル 7 40 (瓦桟木45×18檜 防腐処理材)	既存のまま	6)ポーチ	豆砂利洗い出し仕上	【新設】誘導標示
	軒先・軒裏:コンクリート打放し仕上(樹脂型枠)		7) スロープ	豆砂利洗い出し仕上	既存のまま
			8) 庇	FRP樹脂防水着色仕上げ 軒裏及び軒先:打ちっ放し	既存のまま
2)竪 樋	銅板 100∮ T=0.4 掴金物共	既存のまま	9)外部階段	モルタル金ゴテ押エ	既存のまま
			10) ガラリ	東妻面 アルミガラリ	【新設】水返し金物取付
3) 軒 樋	銅板 150角 T=0.4 受金物共	既存のまま	1 1 )掲示板	独立掲示板	既存のまま
			12)外部舗装	アスファルト舗装	【新設】誘導標示
4)床下換気口	塩ビ 150∮ (ステンレスネット付)	既存のまま			【新設】駐車誘導白線引き
			13)自転車置場	屋根:着色石綿スレート葺	【新設】GLカラー鋼板縦ハゼ葺 t=0.4 【新設】ゴムアスファルトルーフィング t=1.0
5)外壁	石灰石割肌乱積み・しっくい	【新設】カビ落とし水洗いの上撥水材塗 (西面・東面)			【新設】木材保護塗料塗
		【新設】漆喰塗り(小庇の部分のみ)	14)外部渡り廊下		【新設】サイクルポート

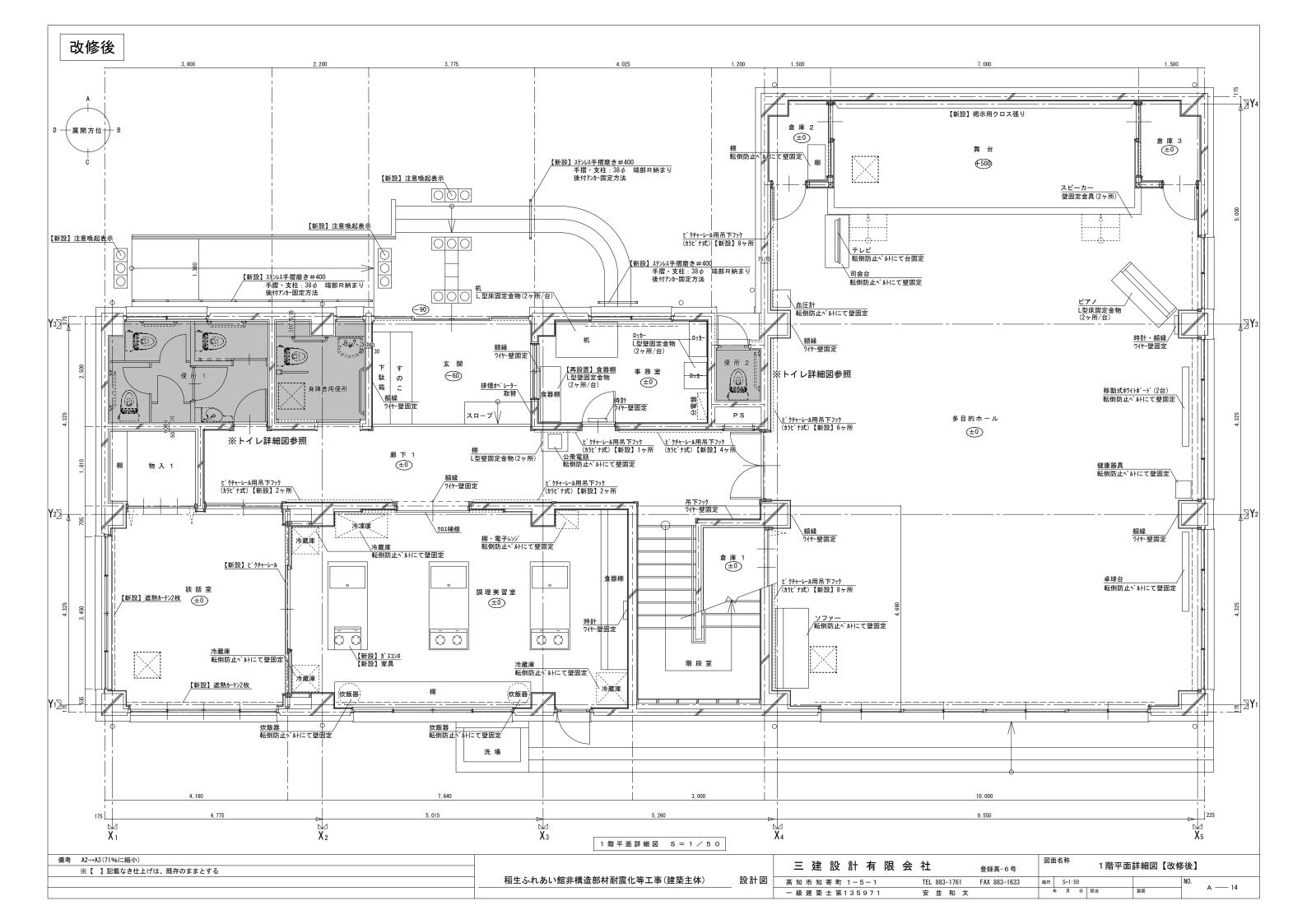
## 内 部 仕 上

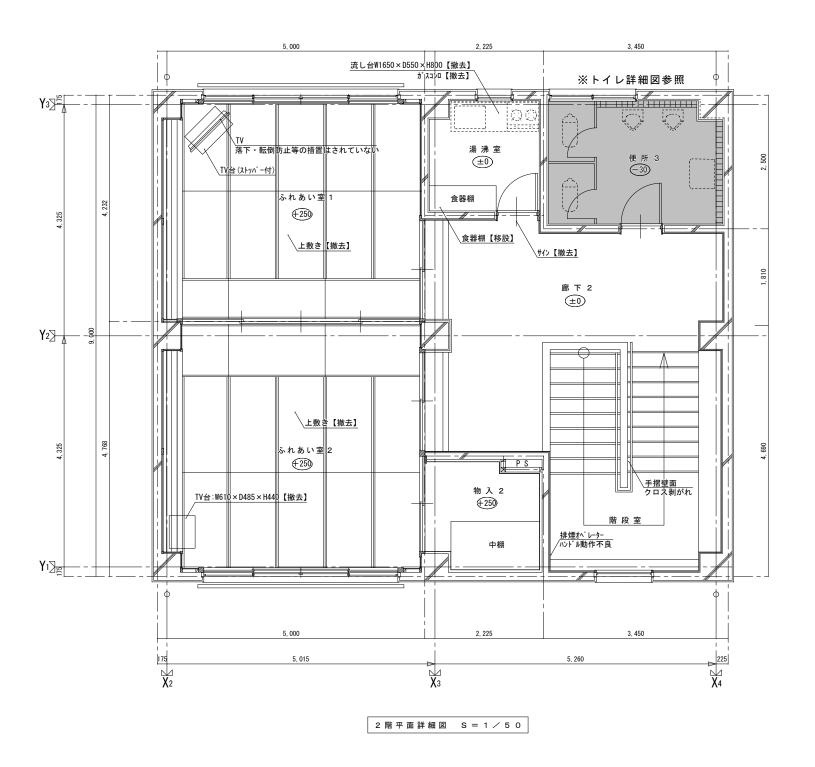
nr-r-	<b>—</b> 7		<b>床</b>	k th	<b>†</b>	腰壁		壁		天	井			
階	室 名	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	廻 縁	天 井 高	備考
	+	100角磁器タイル貼り	既存のまま	100角磁器タイル貼り	既存のまま	桧 7 15 小巾板 (縦張)	既存のまま	しっくい塗り	既存のまま	クロス張り	ビニールクロス張り	桧	2, 660	
	玄関			木製巾木H-75 WF	既存のまま					(プラスターボード 7 9.5捨張り下地)				
	A D # 4	カパ桜大型積層型床材 7 27	既存のまま	木製巾木H-75 WF	既存のまま	桧 7 15 小巾板 (縦張)	既存のまま	ビニールクロス貼り	既存のまま	ロックウール 7 12.0張り (プラスターボード 7 9.5捨張り下地)	ロックウール t 12.0張り 石膏ボード t 9.5捨張り下地	桧	3, 500	【新設】天井点検口
	多目的ホール	ポリウレタン塗り						(プラスターボード 7 12.5下地)		ビニールクロス貼り (プラスターボード 7 9.5捨張り下地)			2, 650	※化学物質測定
	dur. />	カパ桜大型積層型床材 7 27	既存のまま	木製巾木H-75 WF	既存のまま			ビニールクロス貼り	掲示用クロス一部張替	ロックウール 7 12.0張り	既存のまま	桧	2, 650	【新設】天井点検口
	舞 台	ポリウレタン塗り						(プラスターボード 7 12.5下地)		(プラスターボード 7 9.5捨張り下地)				
	-m rm cb 77 cb	長尺塩ビシート 7 2.0貼り	既存のまま	木製巾木H-75 WF	既存のまま			ビニールクロス貼り	ビニールクロスー部張替	ケイカル板 7 6.0 AEP塗	既存のまま	桧	2, 600	ガスコンロ【撤去】
	調理実習室	(モルタル下地)						(プラスターボード 7 12.5下地)						【新設】ガスコンロ・棚
		かが 桜大型積層型床材 7 18	既存のまま	木製巾木H-75 WF	既存のまま	桧 7 15 小巾板 (縦張)	既存のまま	ビニールクロス貼り	既存のまま	ロックウール 7 12.0張り	既存のまま	桧	2, 600	カーテン【一部撤去】 【一部新設】遮熱カーテン
	談話室	ポリウレタン塗り						(プラスターボード 7 12.5下地)		(プラスターボード 7 9.5捨張り下地)				【新設】天井点検口
'	事 務 室	長尺塩ビシート 7 2.0貼り	既存のまま	木製巾木H-75 WF	既存のまま			ビニールクロス貼り	既存のまま	ロックウール 7 12.0張り	ロックウール t 12.0張り 石膏ボードt 9.5捨張り下地	桧	2, 600	【再設置】食器棚
		(モルタル下地)						(プラスターボード 7 12.5下地)		(プラスターボード 7 9.5捨張り下地)				
	便所 2 (外部)	50角磁器タイル貼り	超防汚性ピニル床シート張り t 2.0		床仕上げ 巻上げ H=300			100角カラー磁器質タイル貼り		ケイカル板 7 6.0 AEP塗	化粧石膏ボード張り t 9.5	塩ビ	2, 750	
		(モルタル下地)	コンクリート(7)160 直押え											
	身障者用便所	50角磁器タイル貼り	超防汚性ピニル床シート張り t 2.0		床仕上げ 巻上げ H=100			100角カラー磁器質タイル貼り	化粧けい酸カルシウム板直張り t 6	ケイカル板 7 6.0 AEP塗	既存のまま	塩ビ	2, 450	
		(モルタル下地)	下地調整の上樹脂モルタル塗											
	倉庫 1	加 桜大型積層型床材 7 18	既存のまま	木製巾木H-75 WF	既存のまま			しな合板 7 5.5張り	既存のまま	コンクリート打放シ(樹脂型枠)	既存のまま		1,630~	
		ポリウレタン塗り											2, 600	
	倉庫 2 . 3	か 桜大型積層型床材 7 27	既存のまま	木製巾木H-75 WF	既存のまま			ビニールクロス貼り	既存のまま	ケイカル板 7 6.0AEP塗り	既存のまま	桧	2, 600	
	后件 2 , 5	ポリウレタン塗り						(プラスターボード 7 12.5下地)						
	階段室	長尺塩ビシート 7 2.0貼り		木製巾木H-75 WF	既存のまま			ビニールクロス貼り	ビニールクロス張り	ロックウール 7 12.0張り	既存のまま	桧	2, 600	
	相权主	(モルタル下地)	既存のまま					(プラスターボード 7 12.5下地)		(プラスターボード 7 9.5捨張り下地)				
		長尺塩ビシート 7 2.0貼り	既存のまま	木製巾木H-75 WF	既存のまま	桧 7 15 小巾板 (縦張)	既存のまま	しっくい塗り	既存のまま	クロス張り (廊下1)	ビニールクロス張り	桧	2, 600	【新設】天井点検口 (廊下2)
	廊下1, 2	(モルタル下地)								(プラスターボード 7 9.5捨張り下地)				
1, 2	,, _							ビニールクロス貼り		ロックウール 7 120張り (廊下2)	既存のまま			
共通								(プラスターボード 7 12.5下地)		(プラスターボード 7 9.5捨張り下地)				
	便所 1 , 3	50角磁器タイル貼り	超防汚性ピニル床シート張り t 2.0		床仕上げ 巻上げ H=100			100角カラー磁器質タイル貼り	化粧けい酸カルシウム板直張り t 6	ケイカル板 7 6.0AEP塗り	化粧石膏ボード張り t 9.5	塩ビ <sup>2</sup>	, 450→2, 400 (1F) , 450→2, 420 (2F)	
	<i></i>	(モルタル下地)	モルタル下地(7)50 (1階) モルタル下地(7)30 (2階)						(1階のみ)		(1階のみ)			
	物入1,2	長尺塩ビシート 7 2.0貼り (モルタル下地)	既存のまま	木製巾木H-75 WF	既存のまま			しな合板 7 5.5張り	既存のまま	ケイカル板 7 6.0AEP塗り	既存のまま	桧	2, 600	
		ラワン合板 7 15												
	   ふれあい室 1, 2	タタミH-55敷込み	上敷きのみ張替	タタミ寄せ	既存のまま			ビニールクロス貼り	既存のまま	化粧石膏ボード 7 9.0 (鋼製下地)	石膏ボード t 9.5	桧	2, 600	【新設】天井点検口
2		(ラワン合板 7 15下地)			f toar =n.1			(プラスターボード 7 12.5下地)		(底目地)	ビニールクロス張り			※化学物質測定
	湯沸室→物入	長尺塩ビシート 7 2.0貼り	既存のまま	木製巾木H-75 WF	【一部新設】 木製巾木H75			モルタル 7 25金ゴテVP塗り	モルタル金コテ EP塗	ケイカル板 7 6.0 AEP塗	既存のまま	塩ビ	2, 450	流し台・ガスコンロ【撤去】
		(モルタル下地)						100角カラー磁器質タイル貼り						食器棚【一時撤去】

: 既存のままを示す

備考 A2→A3 (71%に縮小)			三 建 設 計 有 限 会 社		│ 図面名称	:上表【改修前・後	<b>41</b>
※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする				登録高-6号	11工农【以修削"投】		
	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体) 設	計図	高知市知寄町 1-5-1 TEL 883-176	FAX 883-1633	縮尺 S=1:100		NO.
			一級建築士第135971 安並和	文	年 月 日 担当	製図	] ~ == 12

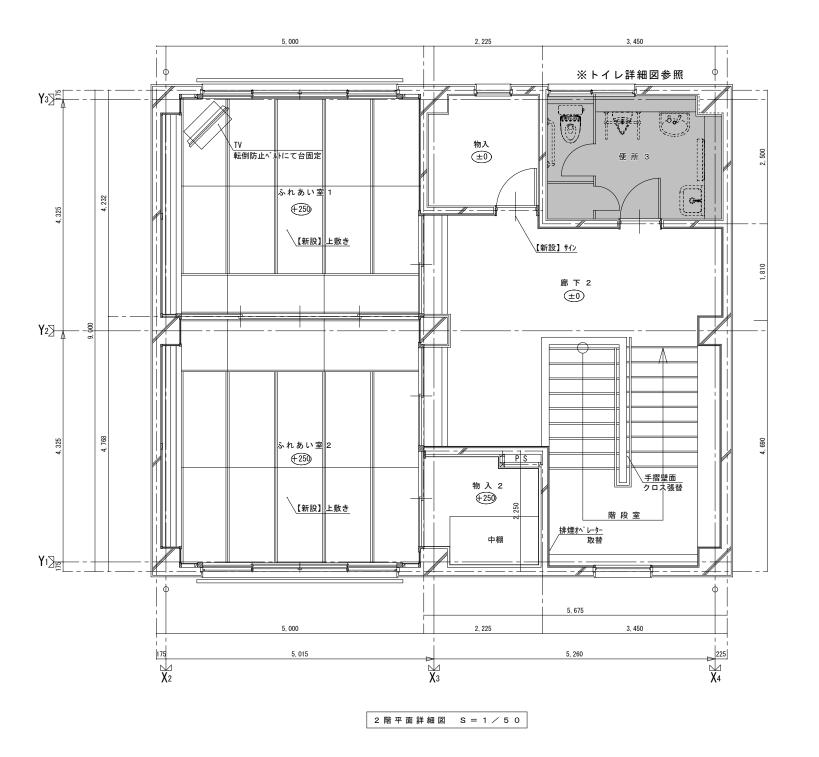


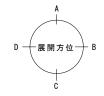




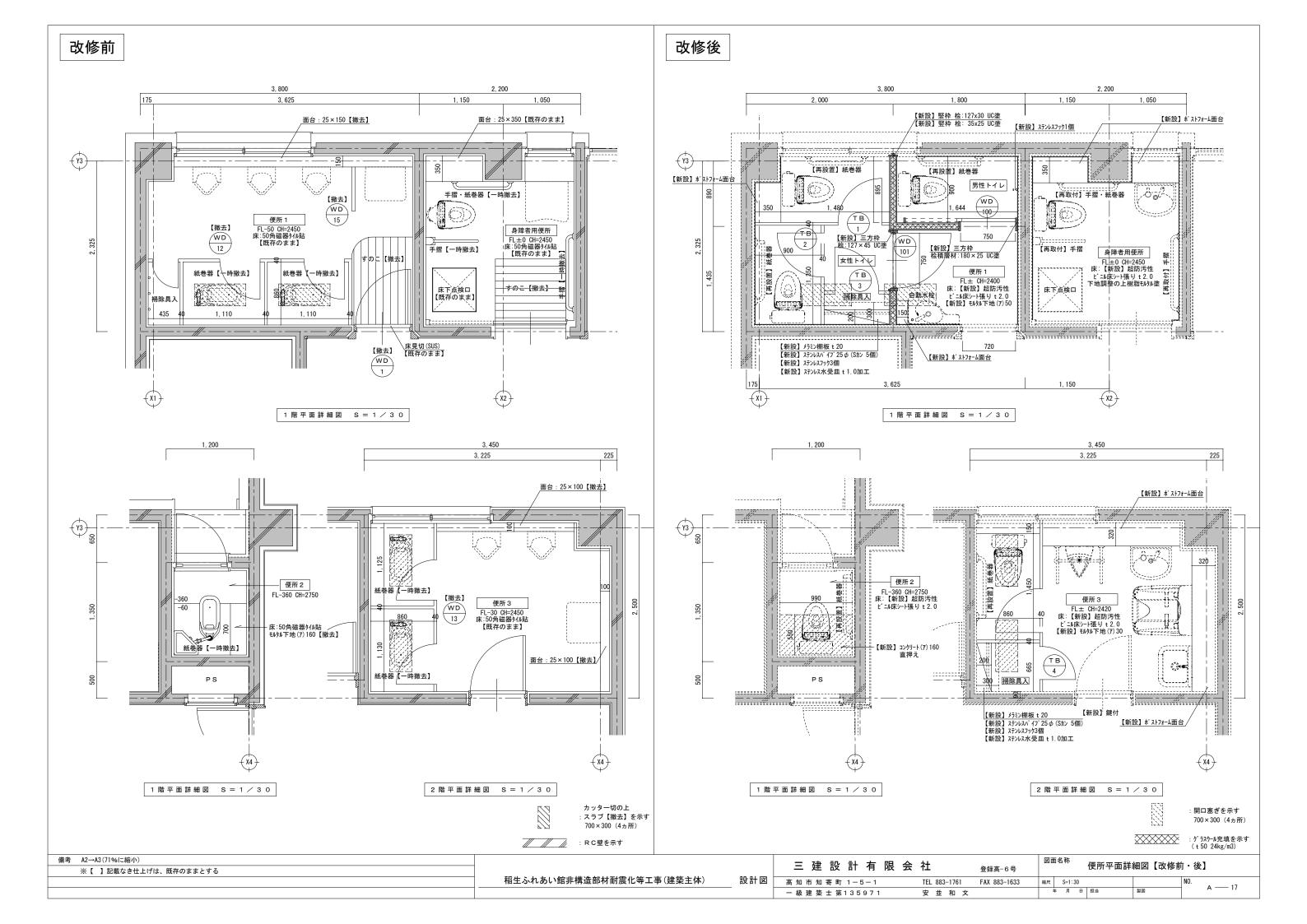


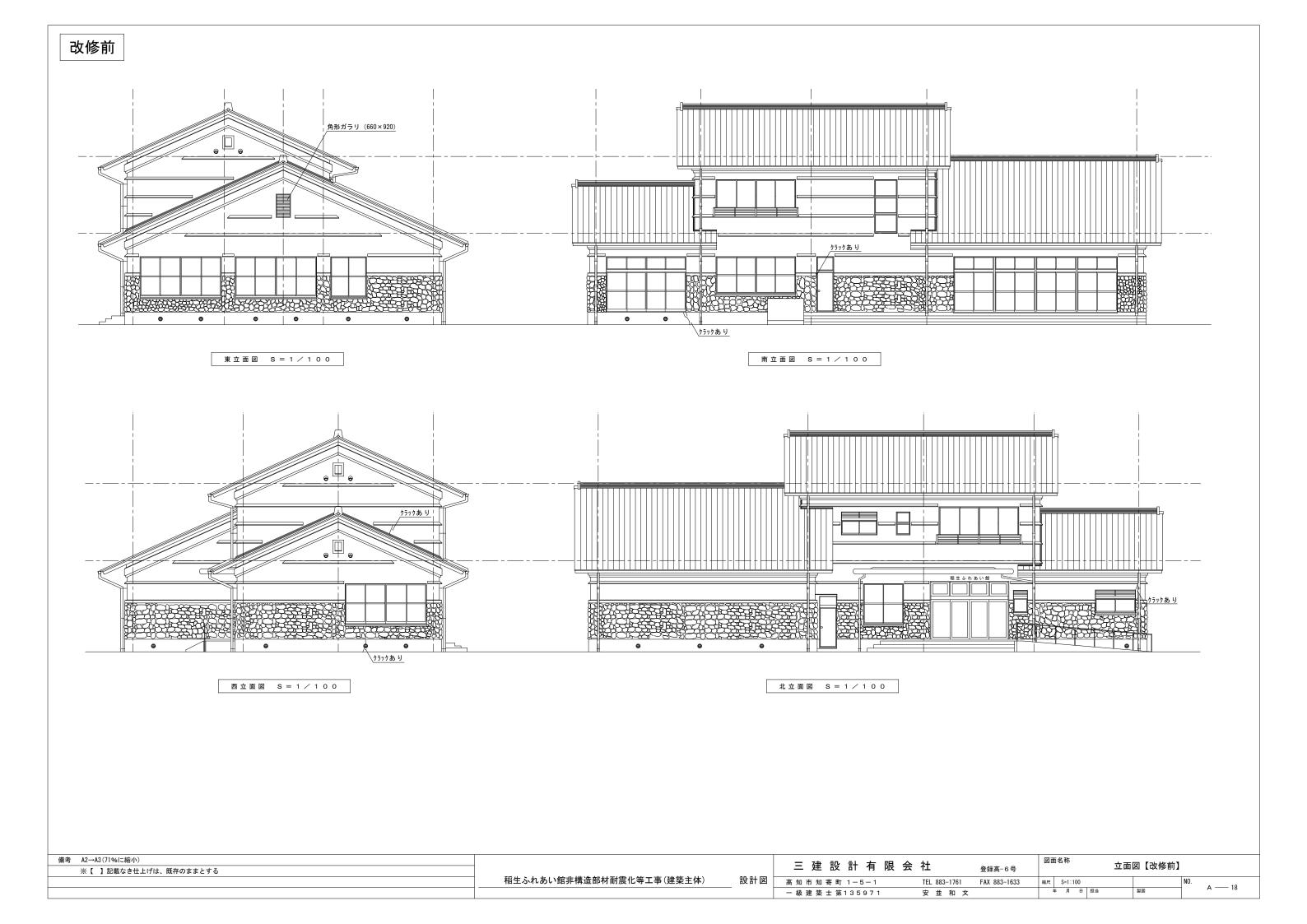
備考 A2→A3 (71%に縮小)			二净凯针方阳合针		図面名称	階平面詳細図【改修前】	
※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする			三建設計有限会社	登録高-6号	4	有十四杆和四【以修制】	
	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体) 設計	図	高知市知寄町 1-5-1 TEL	. 883-1761 FAX 883-1633	縮尺 S=1:50	NO. Δ — 15	
			一級建築士第135971 安	並 和 文	年 月 日 担当	製図 A —— 15	

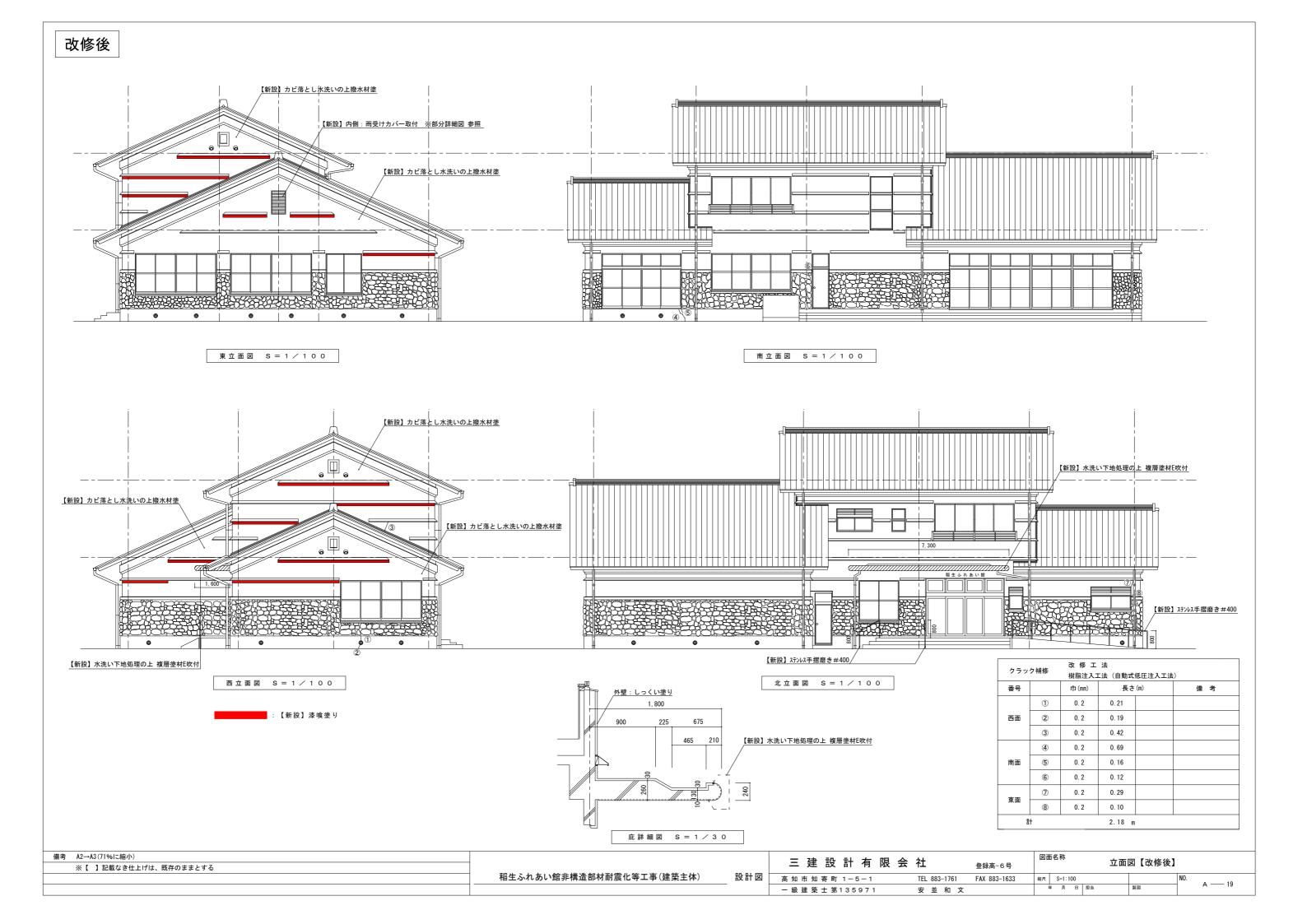


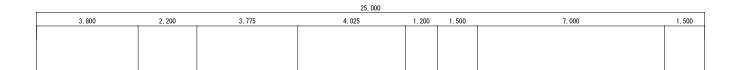


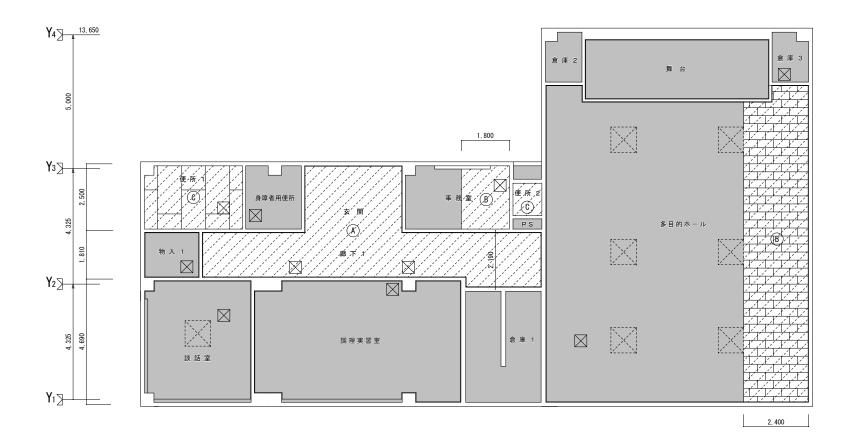
備考 A2→A3(71%に縮小)		三建設計有限会社		<sup>図面名称</sup> 2階平面詳細図【改修後】
※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする			登録高-6号	2 陷于闽訐和凶【以修妆】
	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体) 設計図	高知市知寄町 1-5-1 TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:50 NO.
		一級建築士第135971 安並和文		年月日担当 製図 A――10

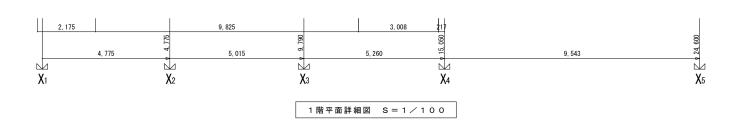


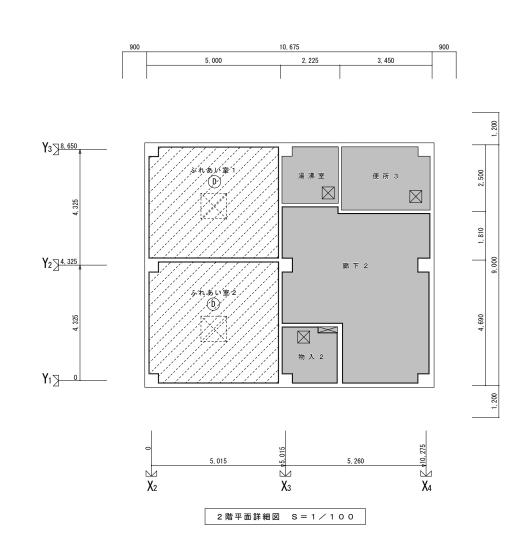












記号	仕 上	廻縁
A	วนวน ย (プラスターポード⑦ 9.5㎜下地【既存のまま】)	檜
В	ロックウール ⑦ 12mm 張 り (プラスターポード ⑦ 9.5mm 捨 張 り 下 地)	檜
C	ケイカル板 ⑦ 6mm 目透シ張りAEP塗り	塩ビ
D	化粧石膏ボード ⑦9.0 (鋼製下地【既存のまま】)	檜

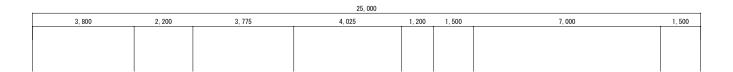
: 天井点検口 450角(アルミ枠付)

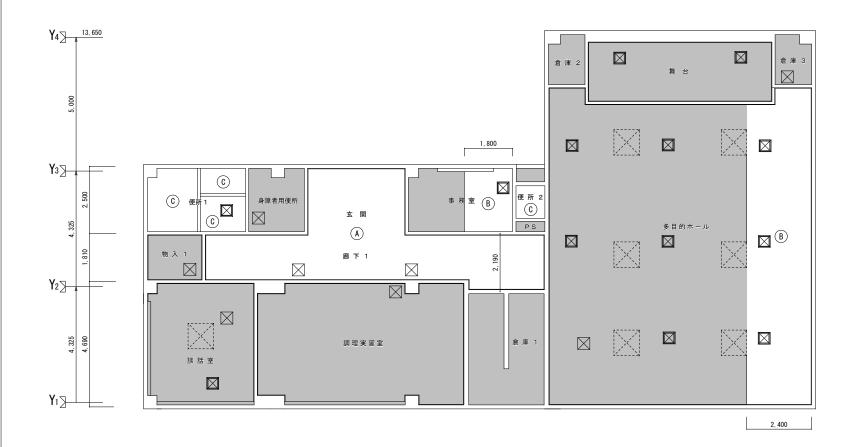
× :エアコン位置を示す 9ヶ所

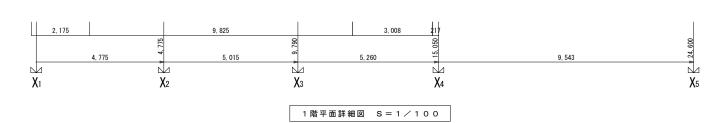
: 撤去を示す

: 既存のままを示す

備考 A2→A3(71%に縮小)			一油凯盐专阳合为	· <b>+</b>		図面名称	天井伏図【改修前	,
※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする			三建設計有限会社	Ή.	登録高-6号		大开队凶【以修削	1
	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体)	設計図	高知市知寄町 1-5-1 T	EL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:100		NO. a 20
		_	一級建築士第135971	安 並 和 文		年 月 日 担当	製図	A 20







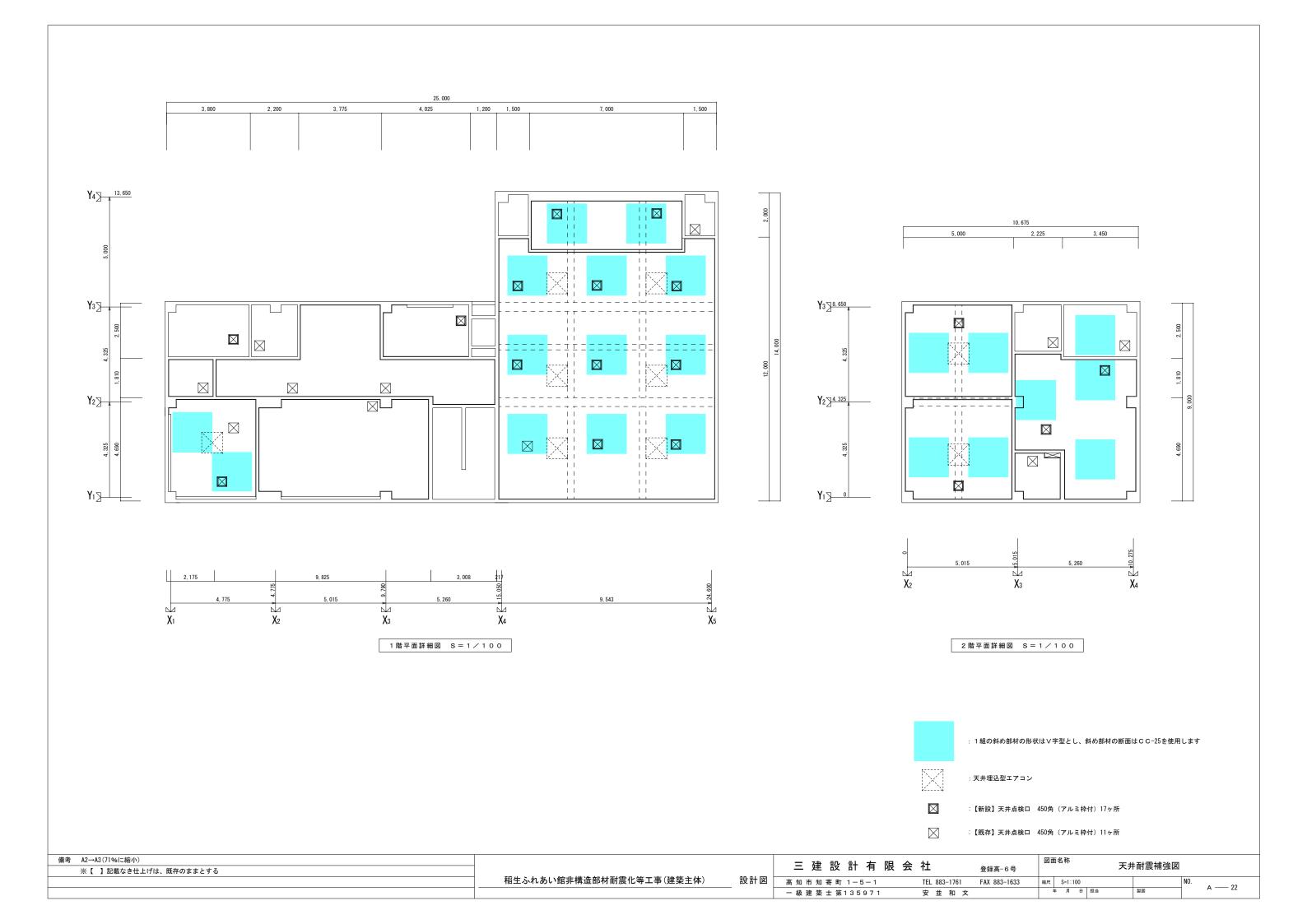
		10, 675		
	5, 000	2, 225	3, 450	
	1		'	
Y3 38, 650				
		湯沸室	便 所 3	2, 500
				2
4, 325				-
	ふれあい室 1			1, 810
V = 4 205	A			
Y <sub>2</sub> 325		廊。	F 2	- 8
	ふれあい室 2			
4, 325	(A)			06
4,3				4, 690
		物 入 2		
Y1 3 0	<b> </b>	4		
	5, 015	5. : X <sub>3</sub>	260 <u>\$\frac{177}{272}}{\textbf{X}}</u>	
	X <sub>2</sub>	V	V	
	Λ2	<b>X</b> 3	λ4	
	2 階平面記	詳細図 S = 1 ∕ 1 0 0		

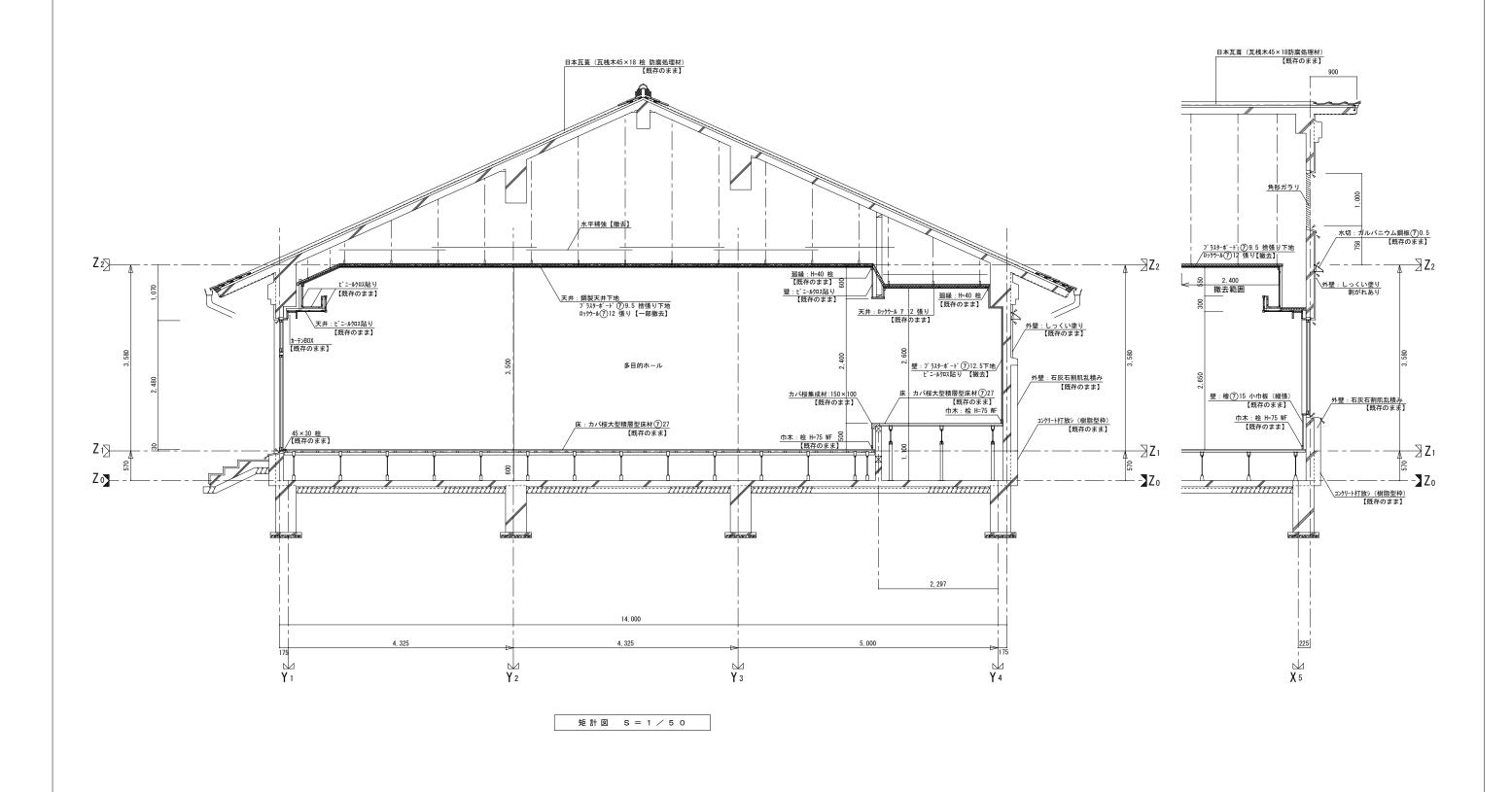
記号	仕 上	廻 縁
A	ビニールクロス張り	桧
B	ロックウール張り(7)12 石膏ポート゚t9.5捨張り下地	桧
C	LGS天井下地組 化粧石膏ボード張り(7)9.5	塩 ビ

◯ :【新設】天井点検口 450角(アルミ枠付)17ヶ所(取付位置は現場決定とする)

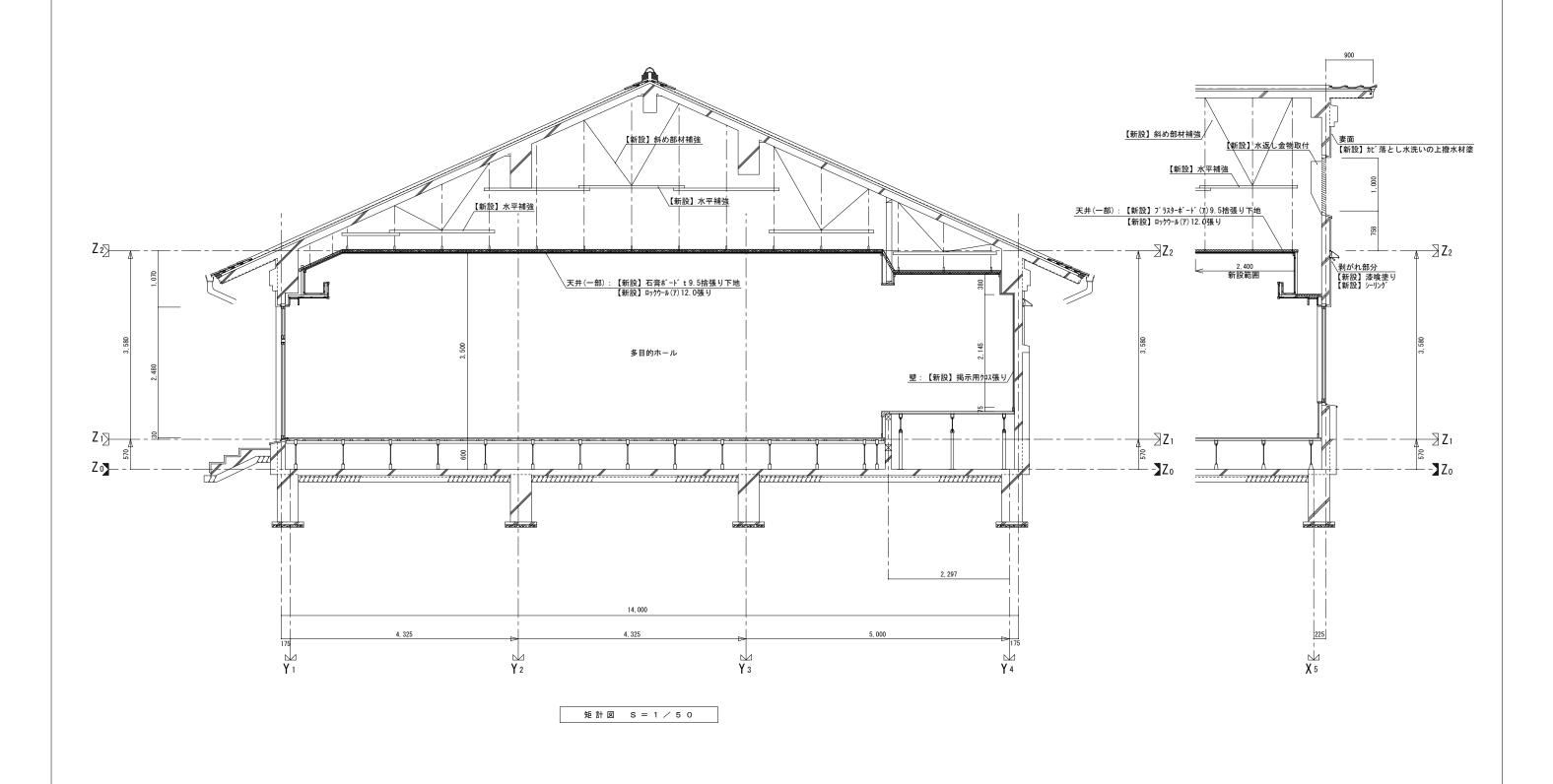
: 既存 天井点検口 450角(アルミ枠付)

備考 A2→A3(71%に縮小) ※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする			三建設計有限	会 社	登録高-6号	図面名称	天井伏図【改修後】	l
	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体	設計図	高 知 市 知 寄 町 1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:100		NO. A —— 21
			一級建築士第135971	安並和文		年 月 日 担当	製図	A — 21

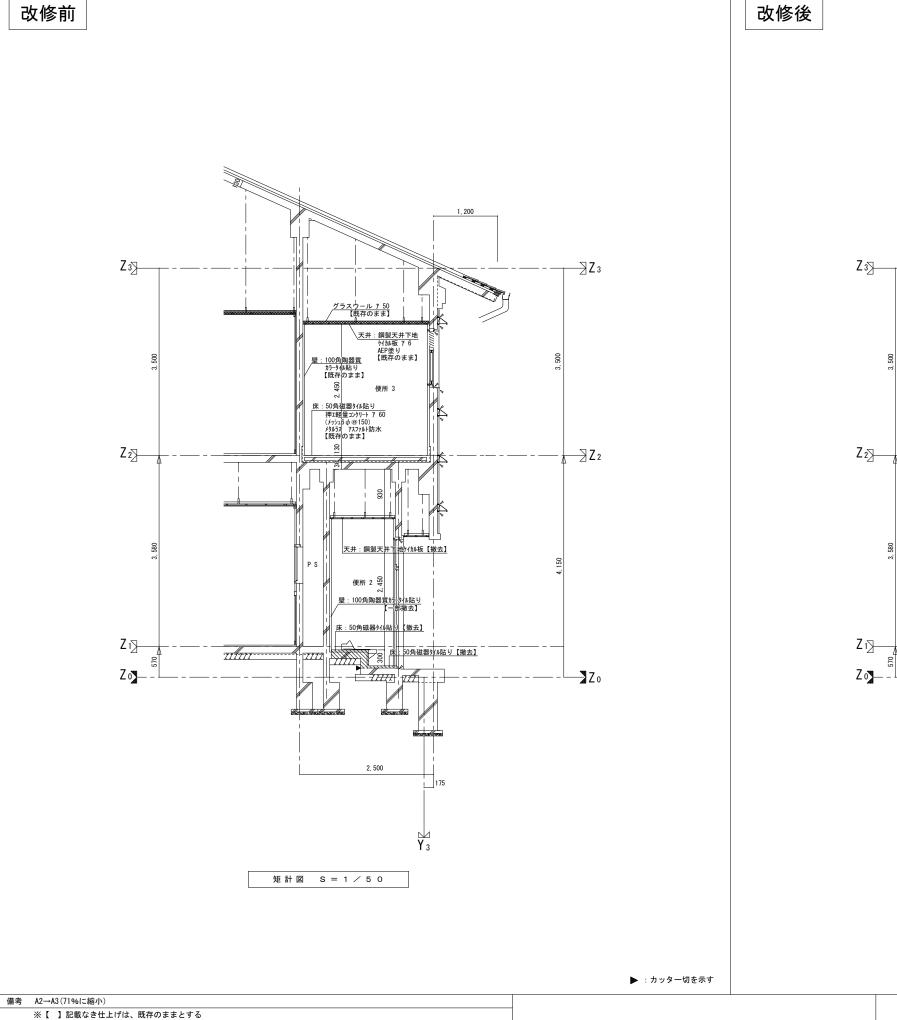




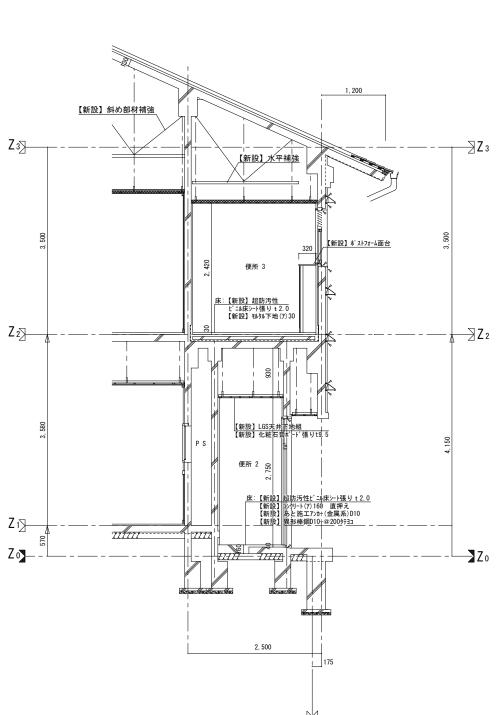
備考 A2→A3(71%に縮小) ※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする			三建設計有限会	社	登録高-6号	図面名称	矩計図(1)【改修	前】
	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体)	設計図	高知市知寄町 1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:50		NO.
			一級建築士第135971	安並和文		年 月 日 担主	当 製図	A 23



備考 A2→A3(71%に縮小)			三建設計有限会社		図面名称	矩計図(1)【改修後】
※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする				登録高-6号		矩計図(1)【改修後】
	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体)	設計図	高知市知寄町 1-5-1 TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:50	NO. A 24
		_	一級建築士第135971 安並和	文	年 月 日 担当	製図 A — 24



稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体)

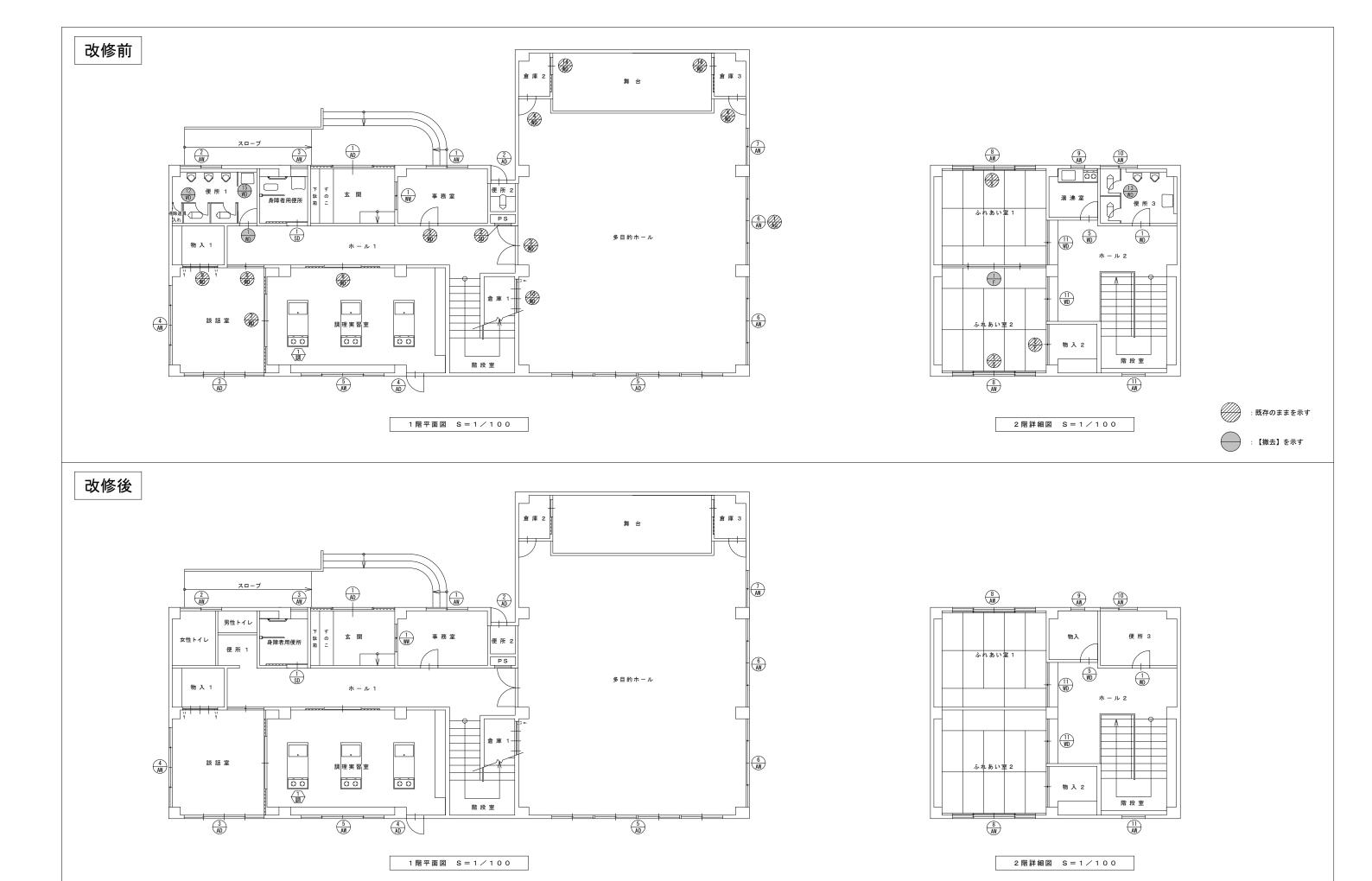


矩計図 S = 1 / 5 0

 三建設計有限会社
 図面名称
 矩計図(2)【改修前・後】

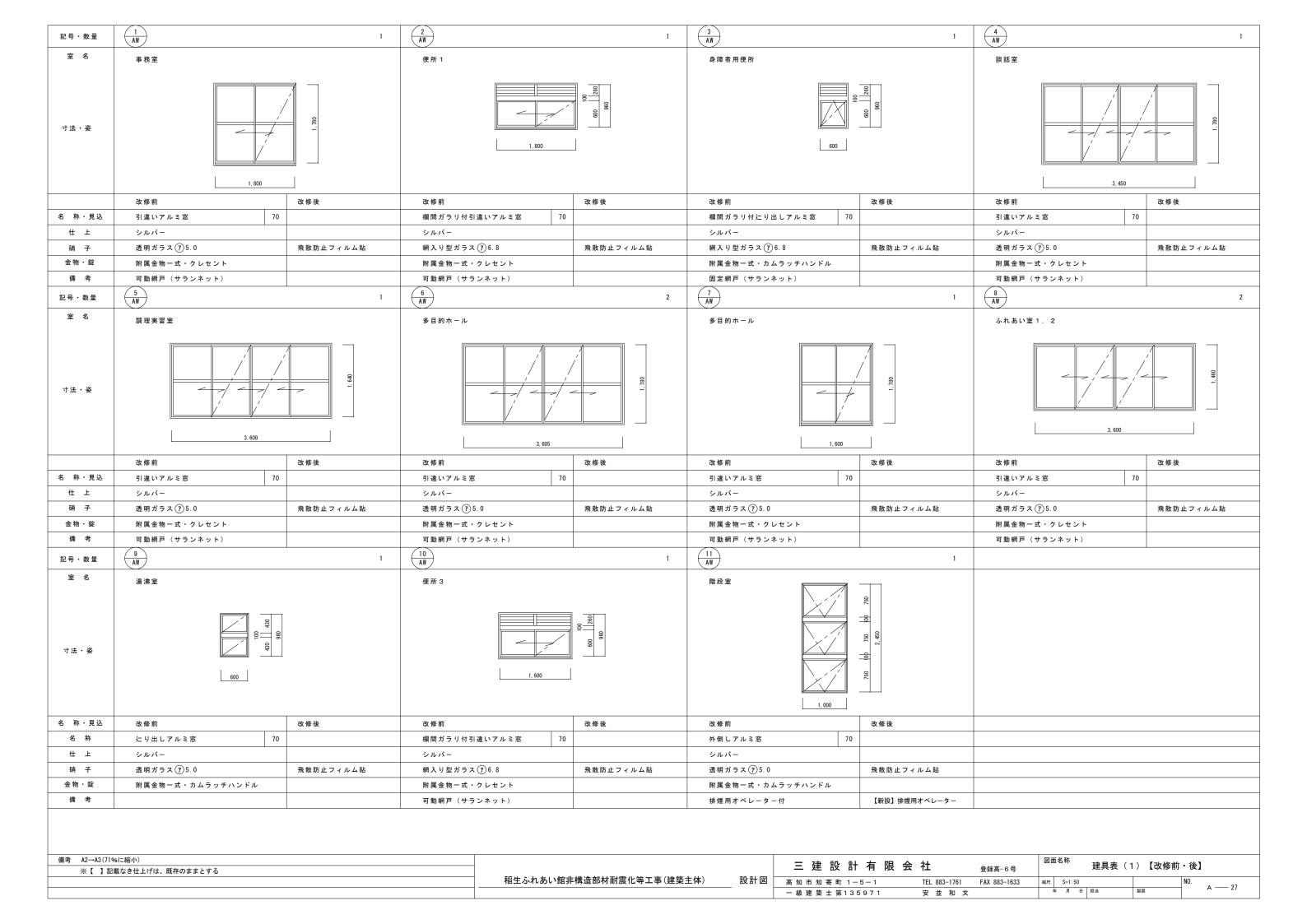
 設計図
 高知市知寄町1-5-1
 TEL 883-1761
 FAX 883-1633
 編尺 S=1:50
 NO. A — 25

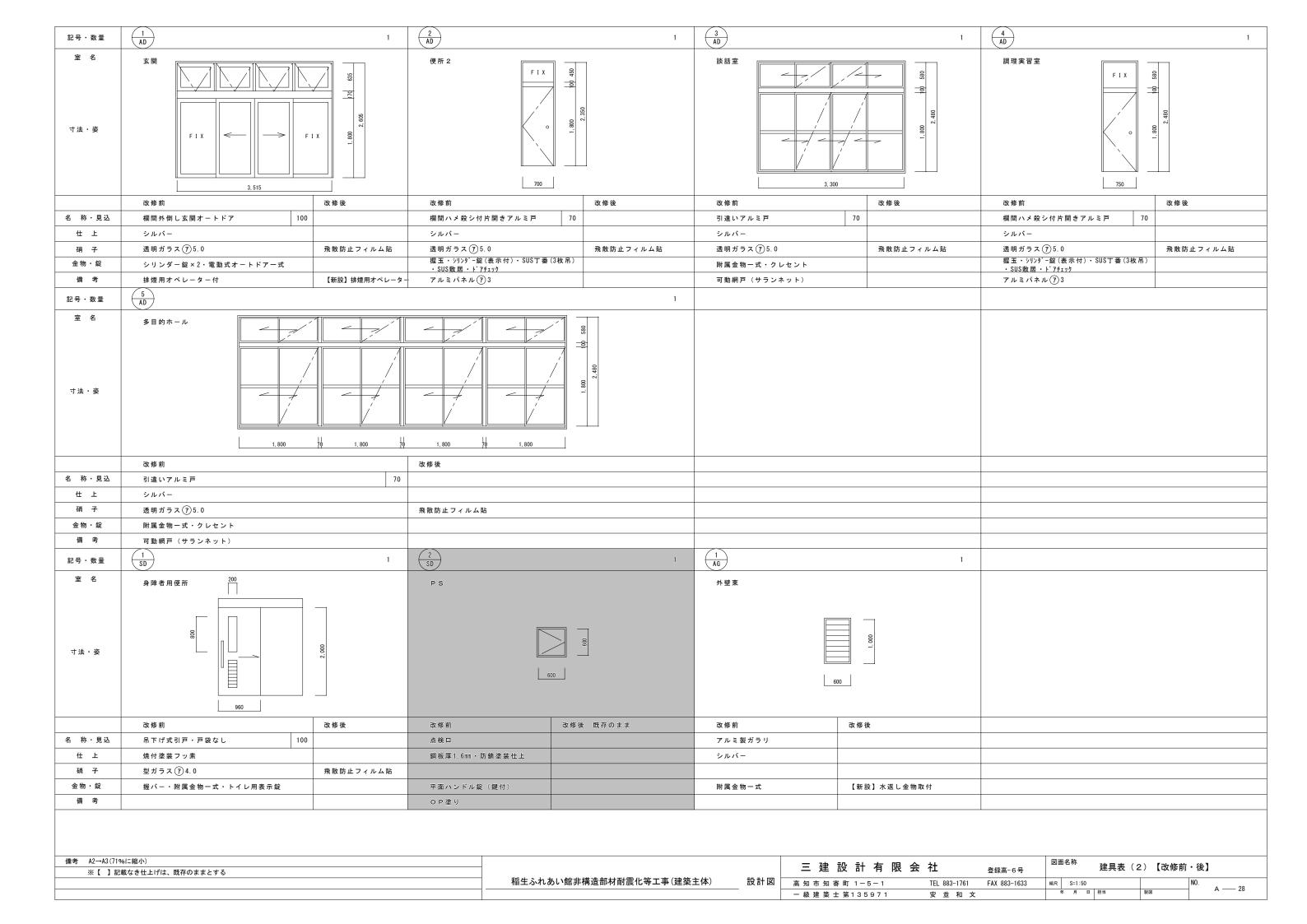
 一級建築士第135971
 安並和文
 年月日間当
 報恩

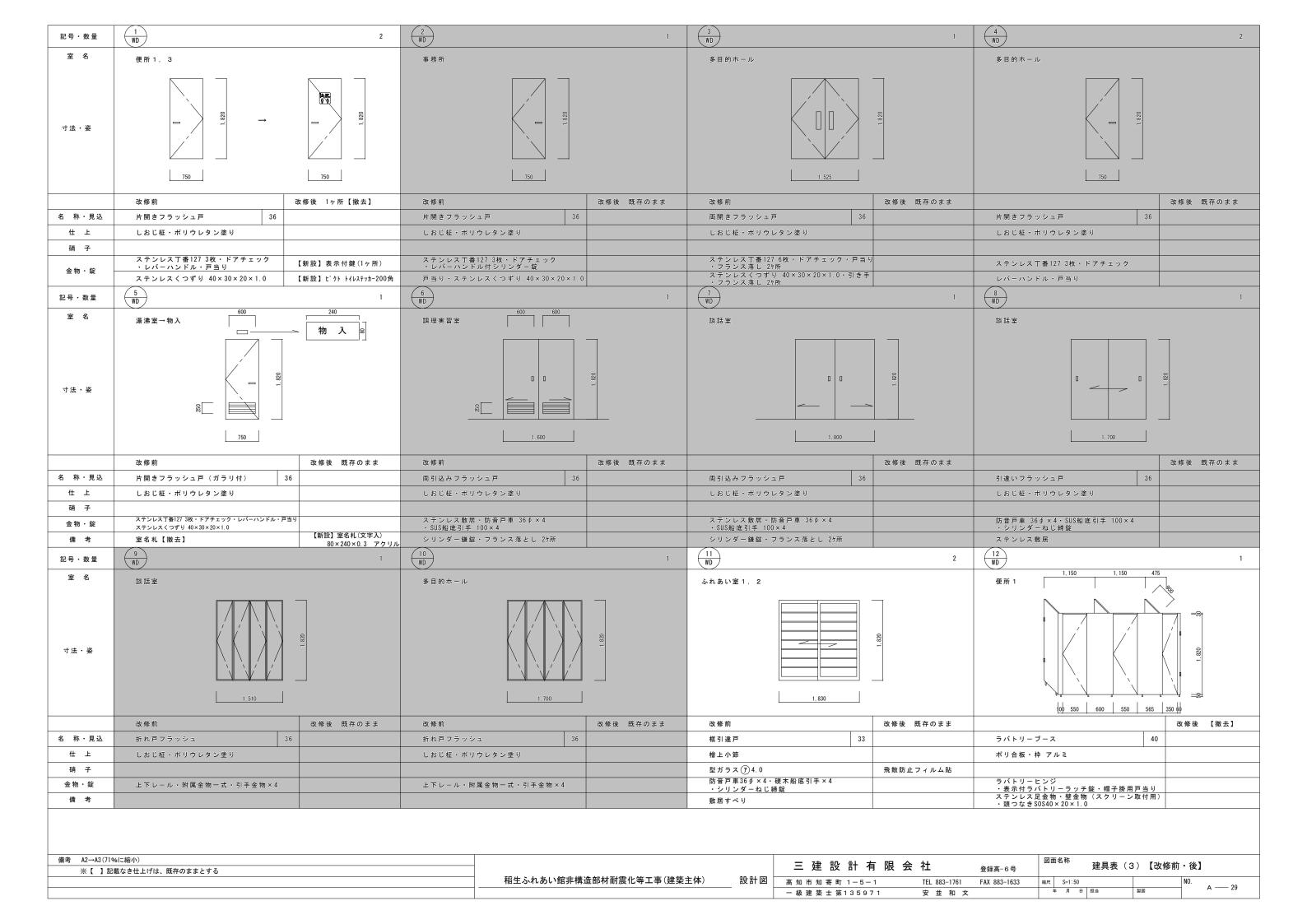


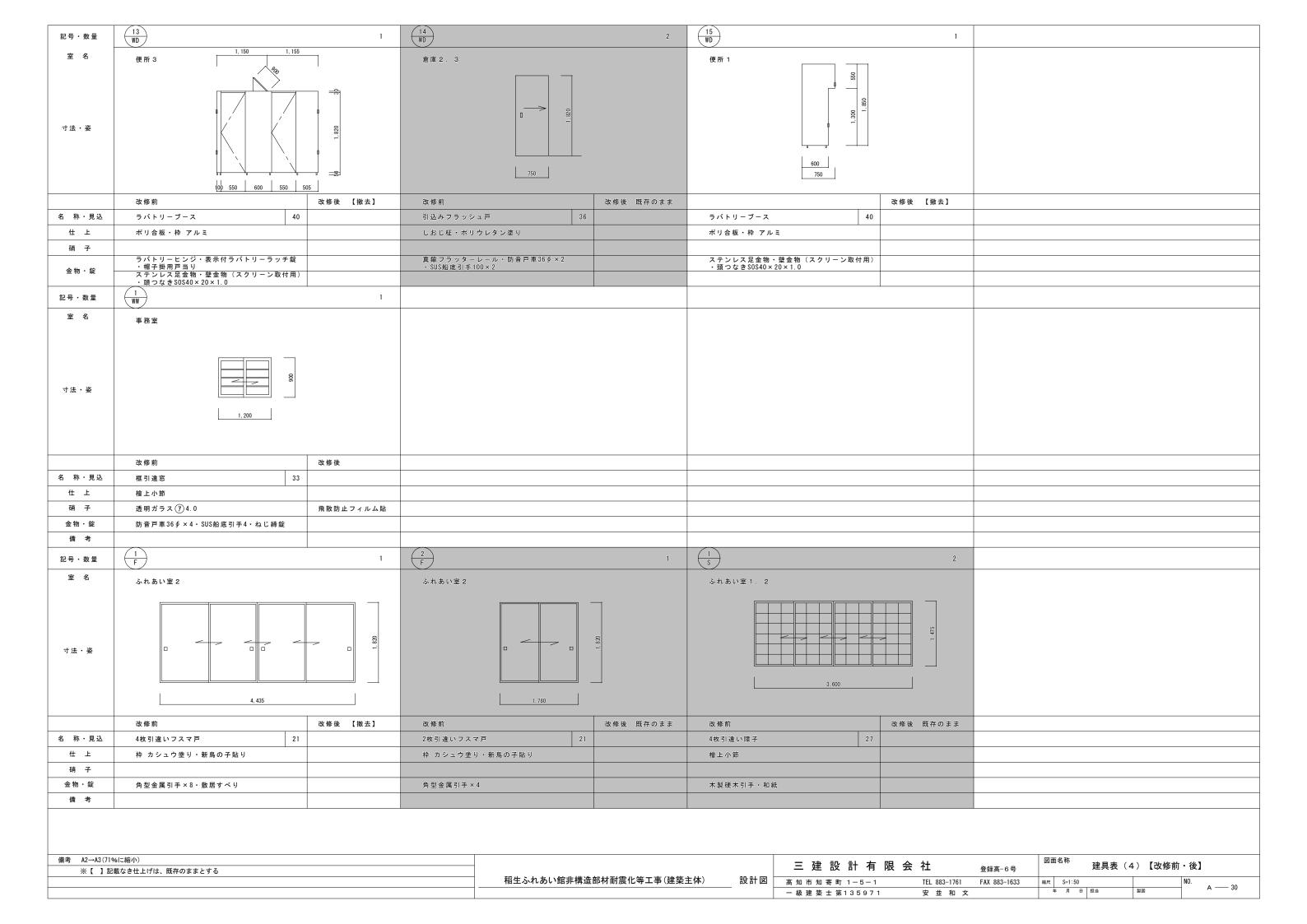
備考 A2→A3 (7196に縮小)
※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする

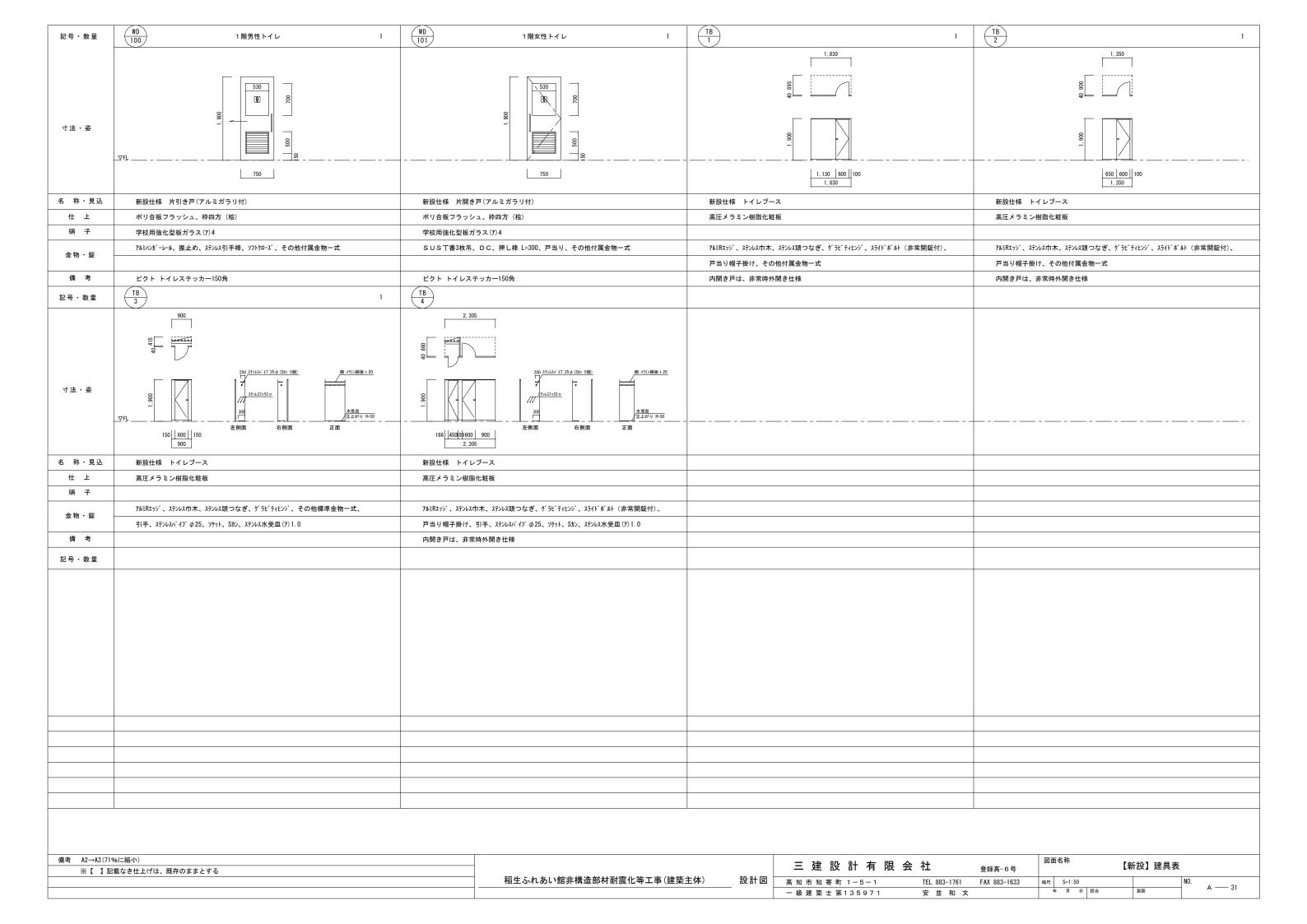
- 福生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体)
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1
- 一級 建築 士 第 1 3 5 9 7 1

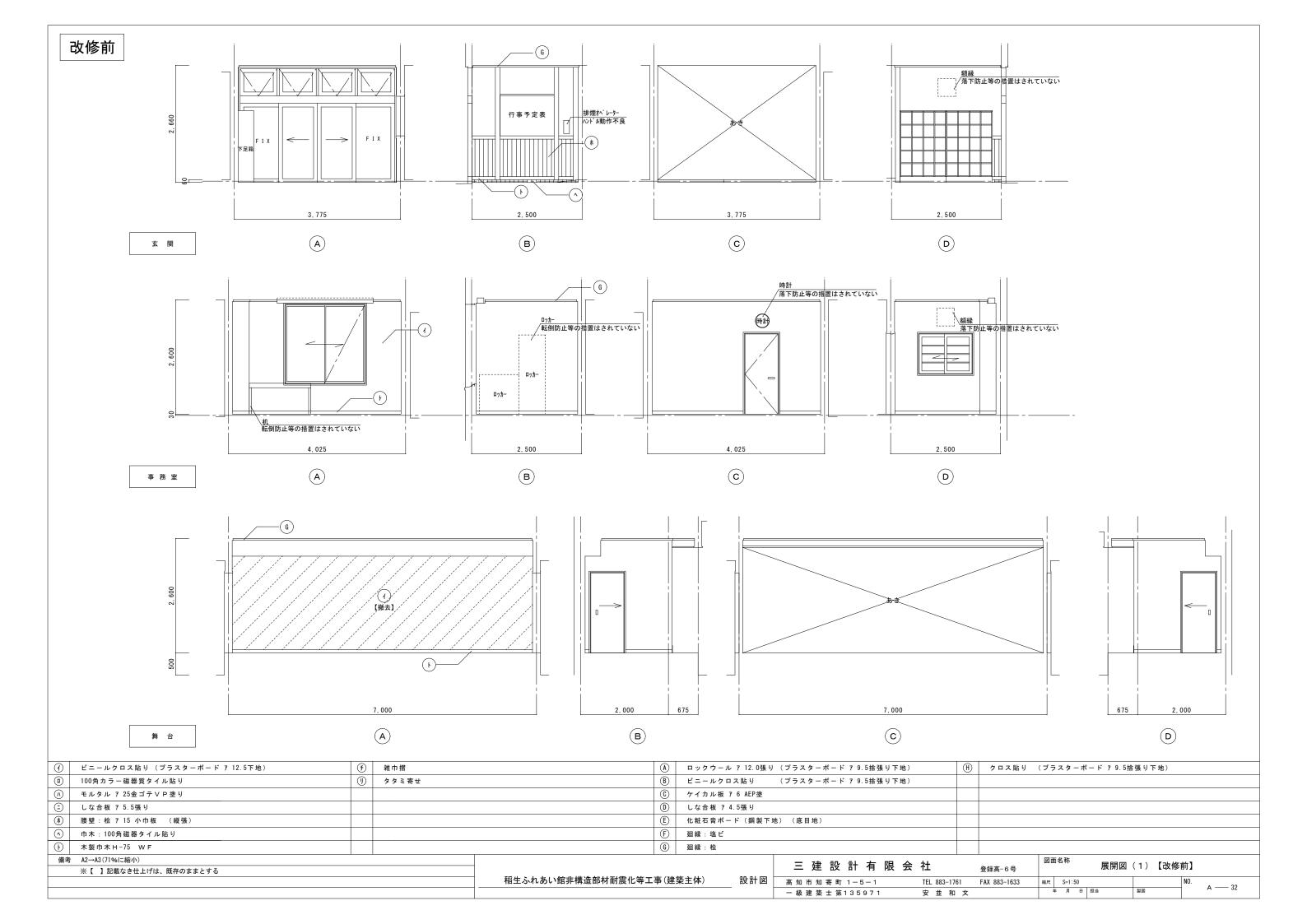


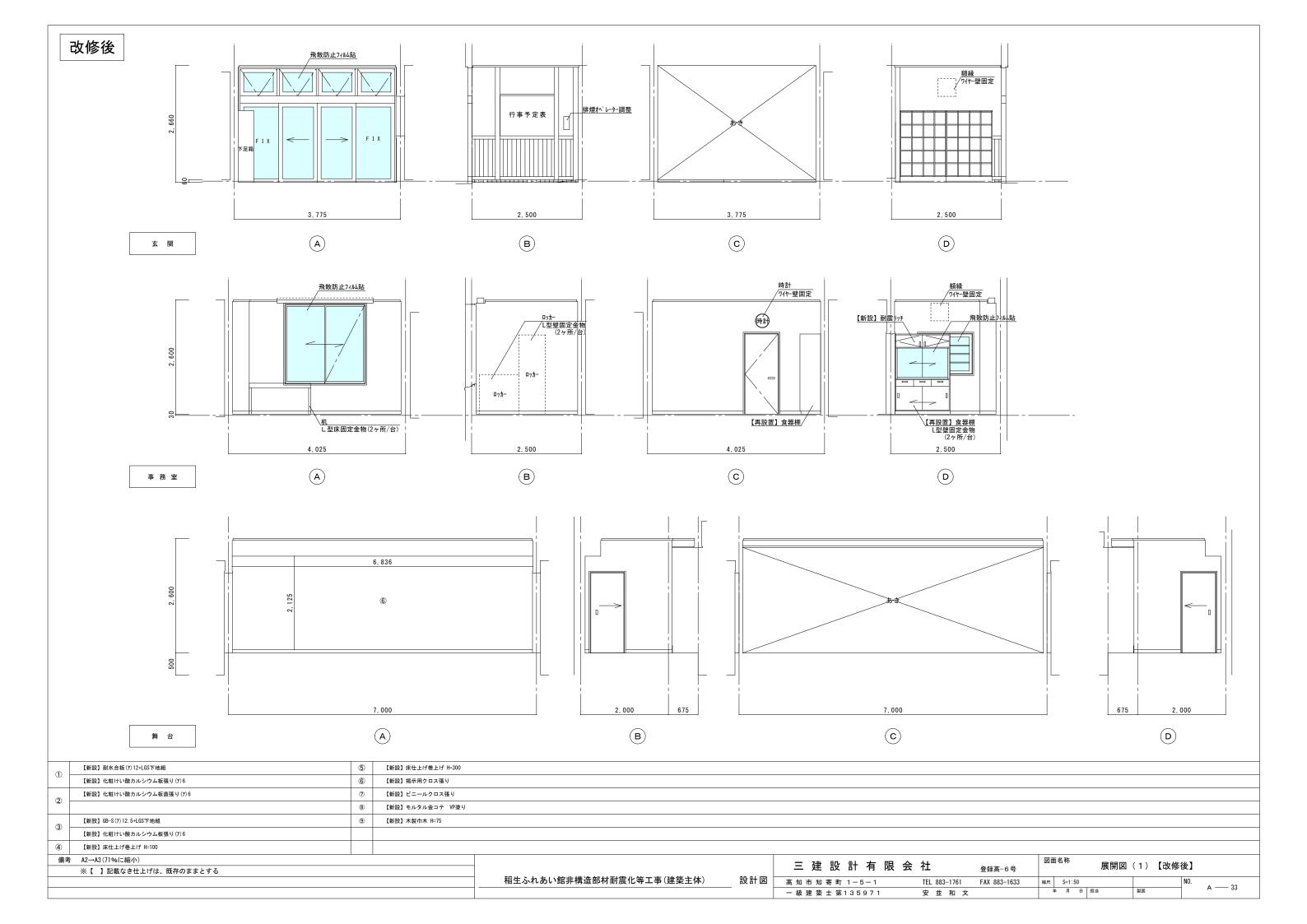




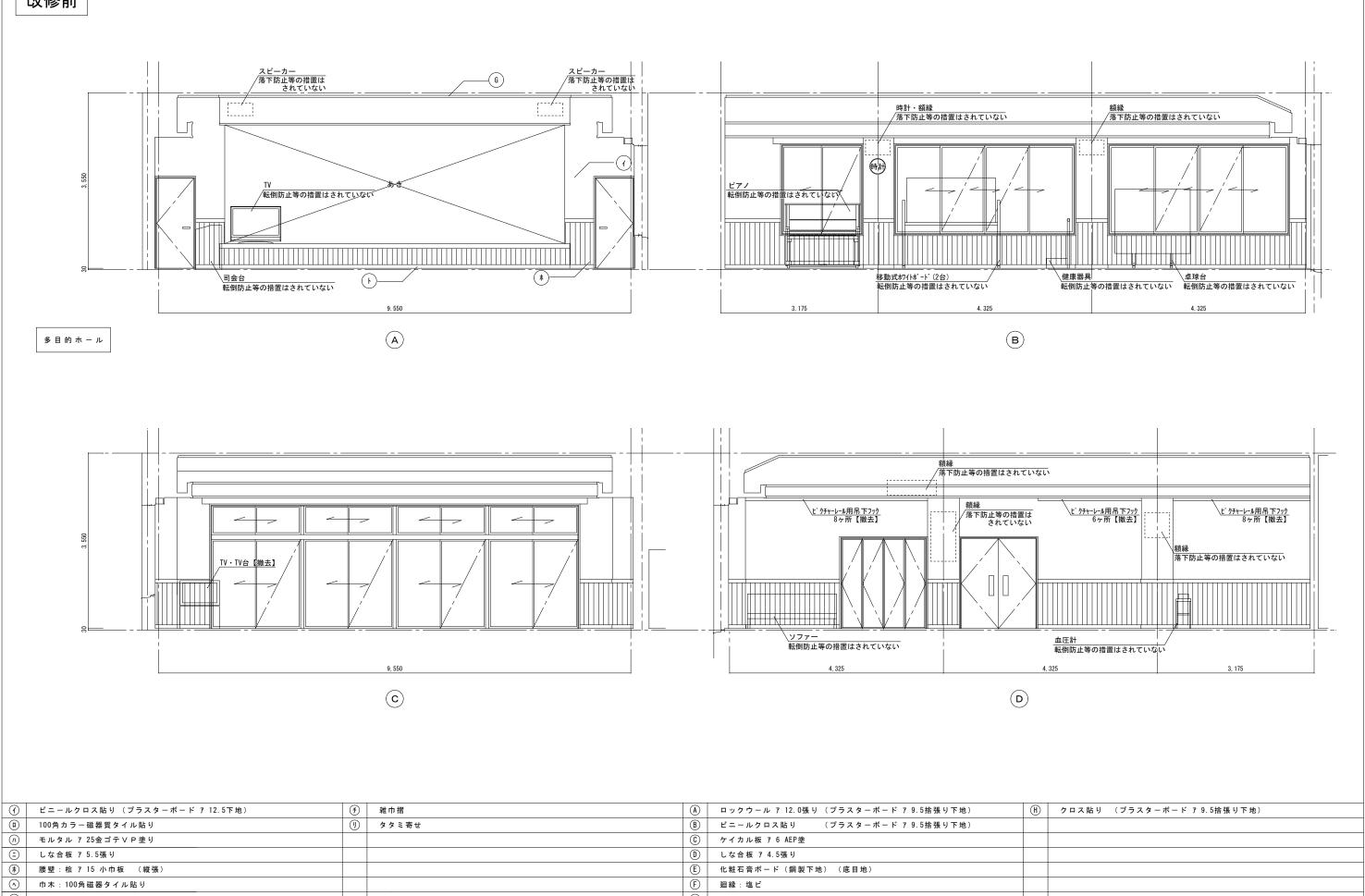






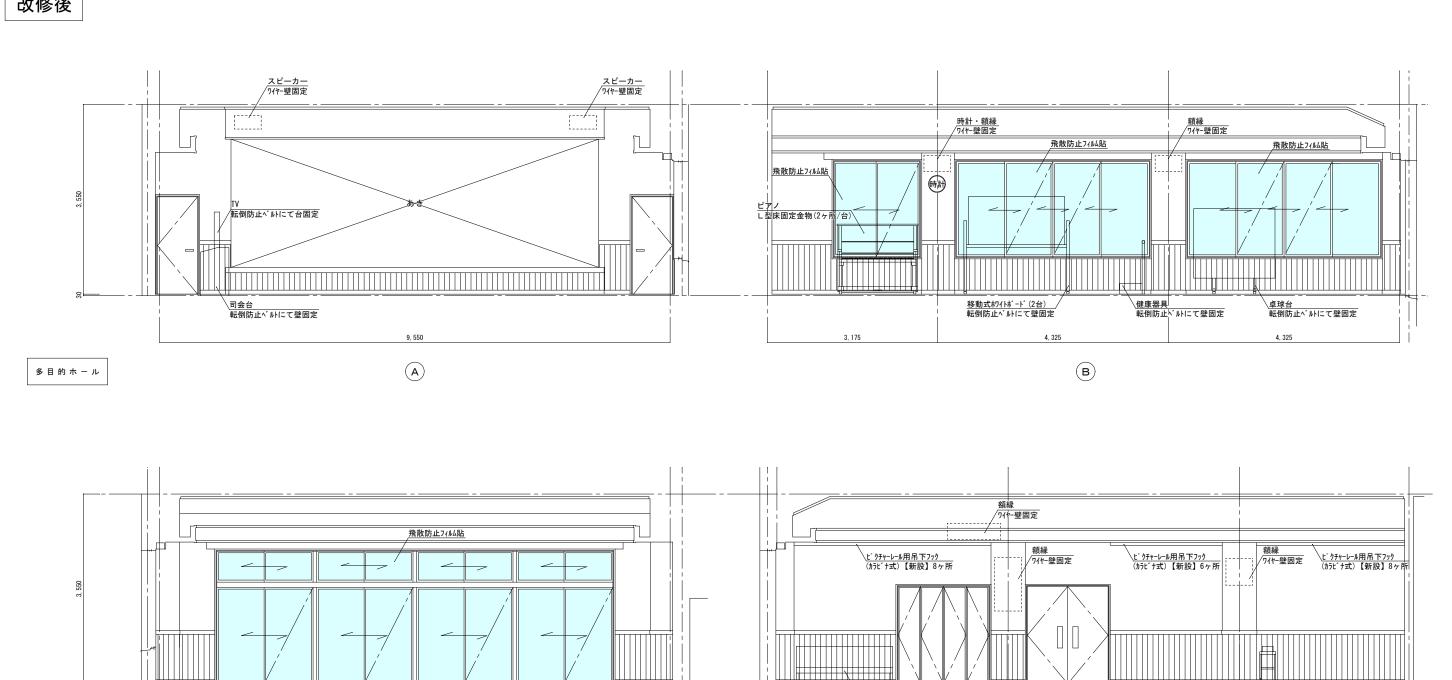






	⑥				
備考 A2→A3 (71%に縮小)		三建設計有限会社		図面名称 展 目 図	(2)【改修前】
※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする			登録高-6号	成刑囚	
	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体) 設計図	高知市知寄町 1-5-1 TEL 883-17	61 FAX 883-1633	縮尺 S=1:50	NO. A 34
		一級建築士第135971 安並和	文	年 月 日 担当	製図





	【新設】耐水合板(7)12+LGS下地組	【新設】床仕上げ巻上げ H=300								
	【新設】化粧けい酸カルシウム板張り(7)6	【新設】掲示用クロス張り								
	【新設】化粧けい酸カルシウム板直張り(7)6	【新設】ビニールクロス張り								
	8	【新設】モルタル金コテ VP塗り	J							
	【新設】GB-S(7)12.5+LGS下地組	【新設】木製巾木 H=75								
	【新設】化粧けい酸カルシウム板張り(7)6									
4	【新設】床仕上げ巻上げ H=100									
/####	. AO . AO /710 / I = (中山 )	'						m= 2.16		

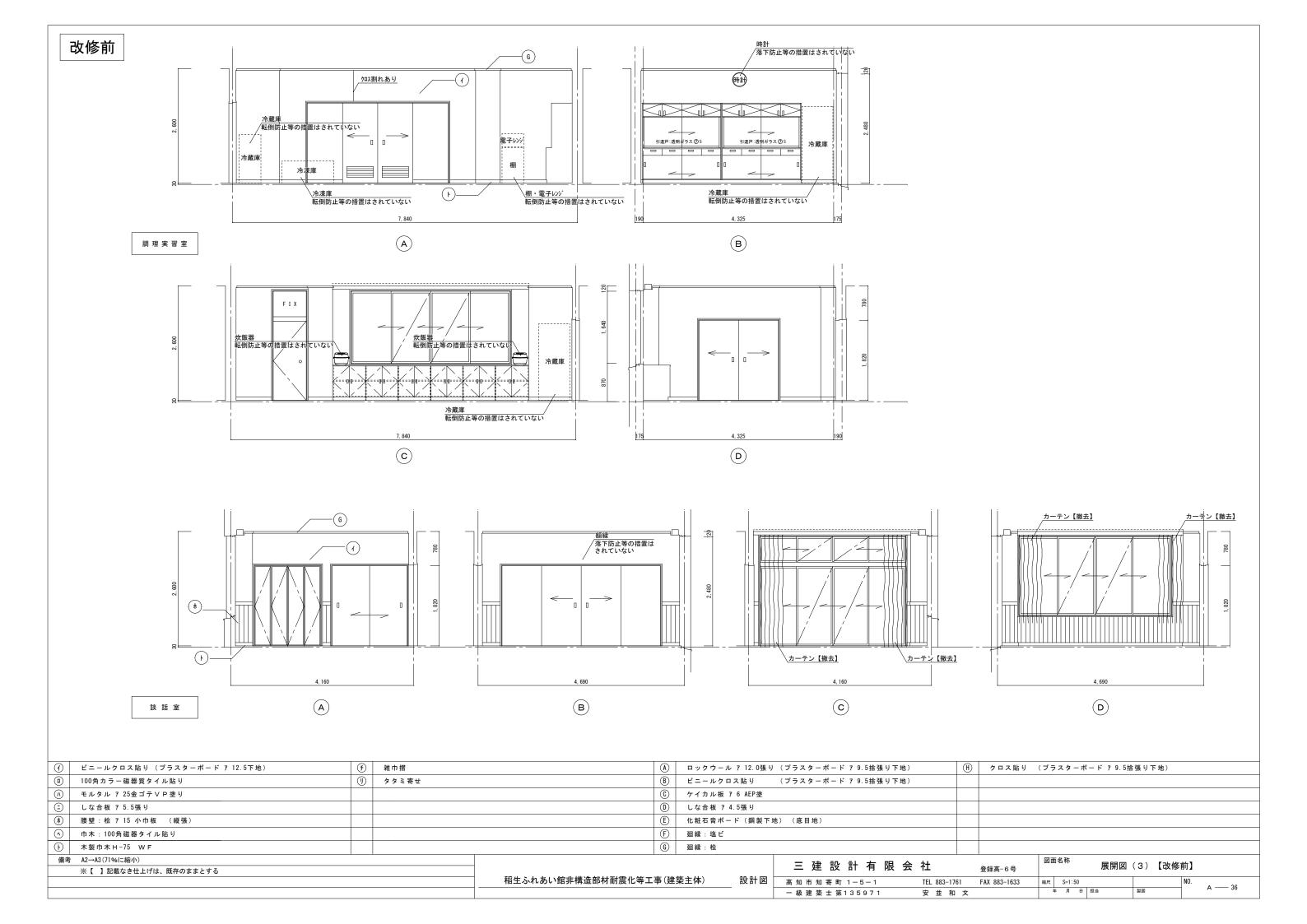
 $\bigcirc$ 

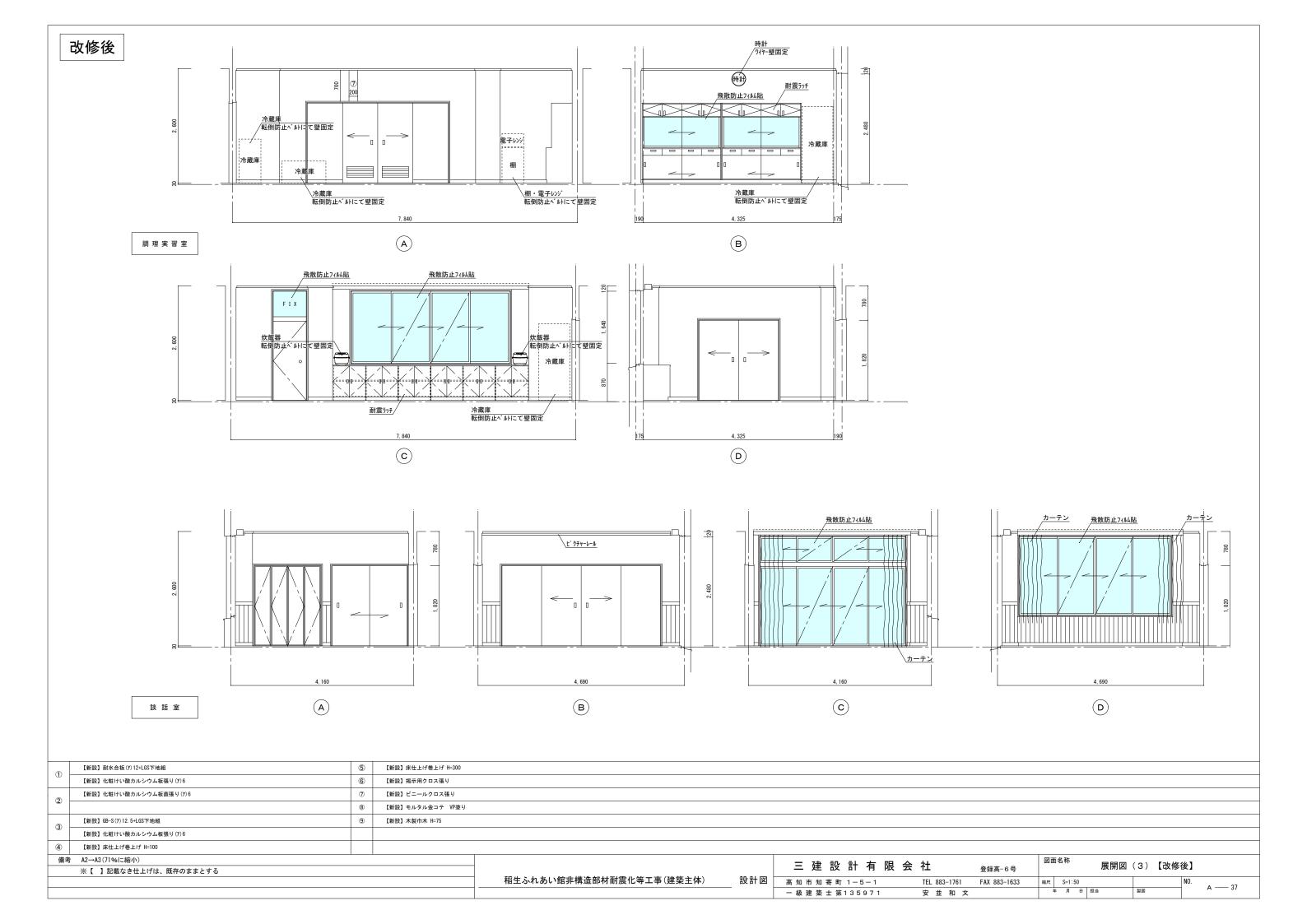
ソファー 転倒防止ベルトにて壁固定

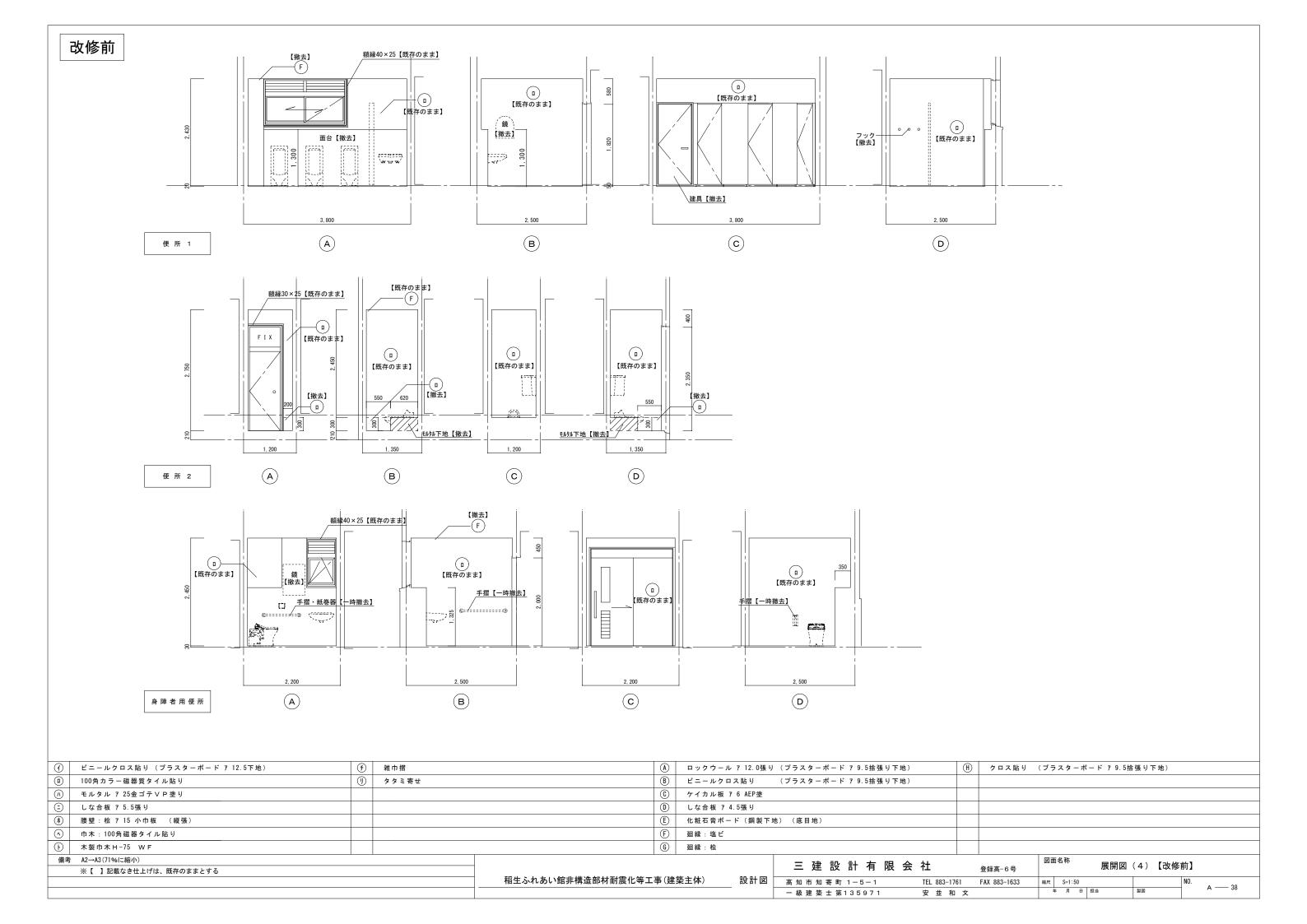
血圧計 転倒防止ベルトにて壁固定

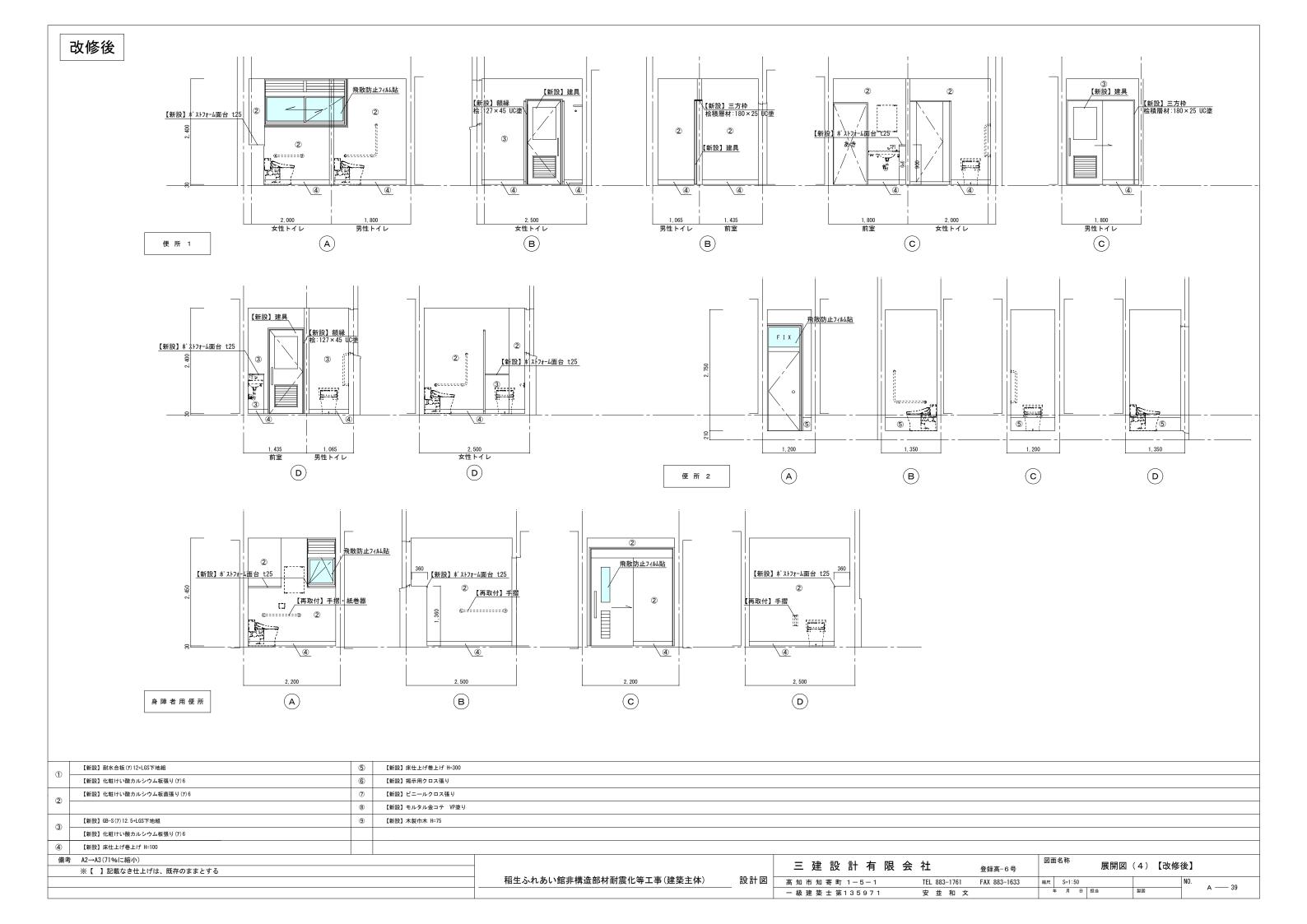
**D** 

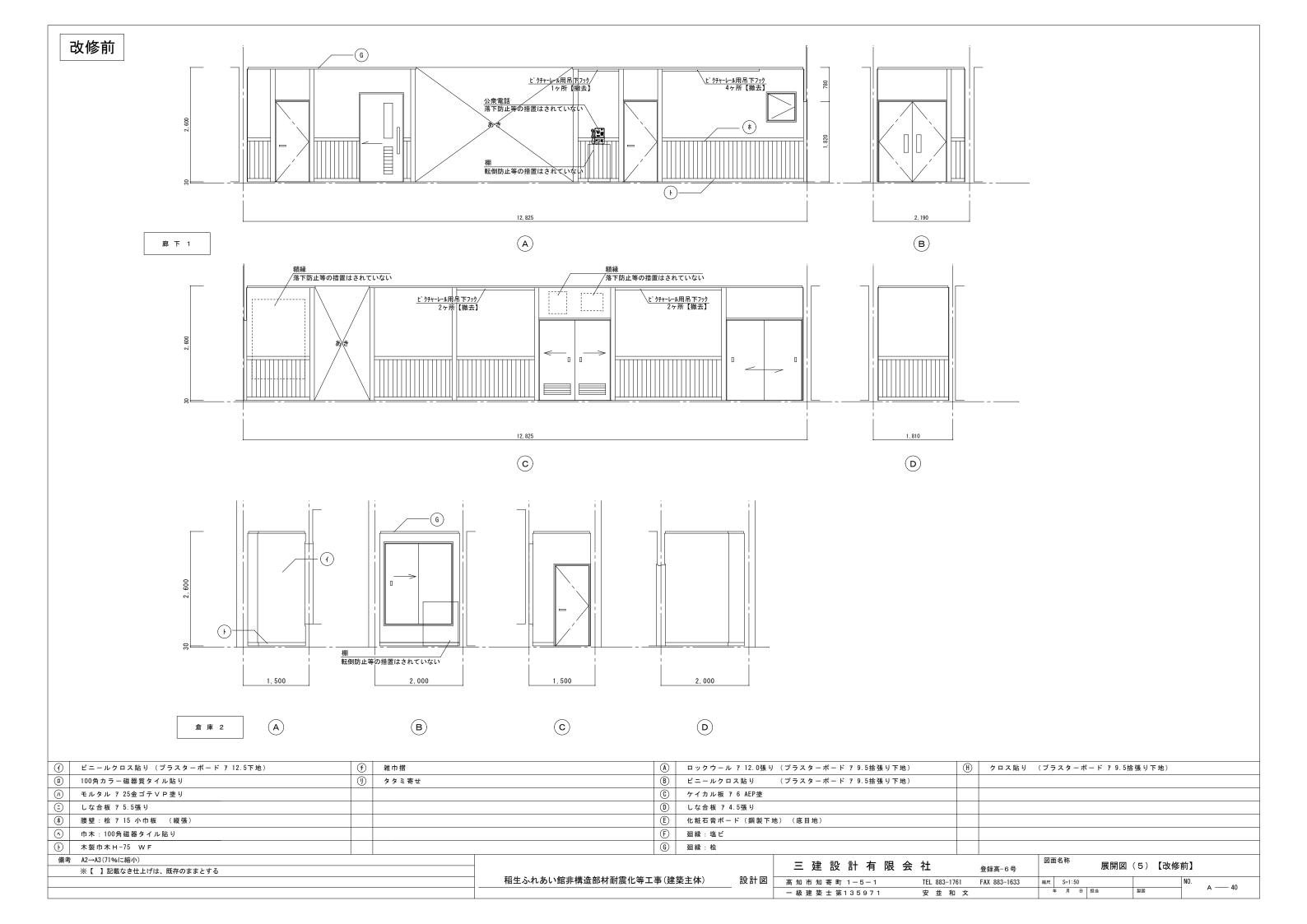
		二进机制有阻力	× ++		図面名称	展問例 (1	つ 【 『 小 仮 後	1
		二连改引有限去	登録高-6号	展開図 (2) 【以修復】				
稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体)	設計図	高 知 市 知 寄 町 1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:50		NO	).
		一級建築士第135971	安 並 和 文		年 月 日	担当 製	[2]	A —— 35
	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体)	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体) 設計図	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体) 設計図 高知市知寄町 1-5-1		福生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体) 設計図 高知市知寄町 1-5-1 TEL 883-1761 FAX 883-1633	二 建 設 計 月 限 会 任       登録高-6号	二年の       二年の       第二十二年の       一年の       一年の       日本の       日本の	二 娃 設 計 月 限 会 任       登録高-6号       展開図(2)【改修後            福生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体)       設計図       高知市知寄町 1-5-1       TEL 883-1761       FAX 883-1633       編尺 S=1:50       MR

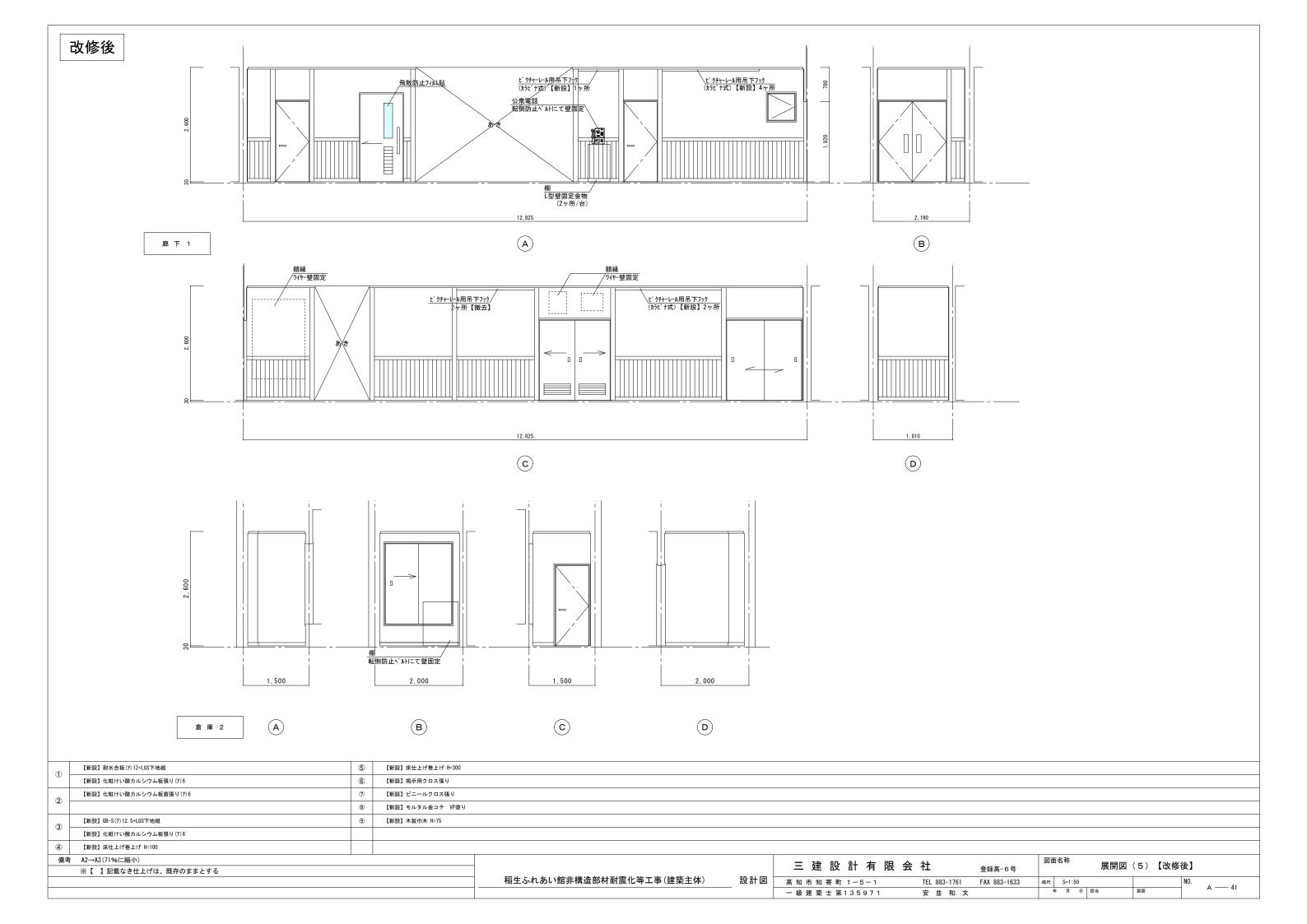


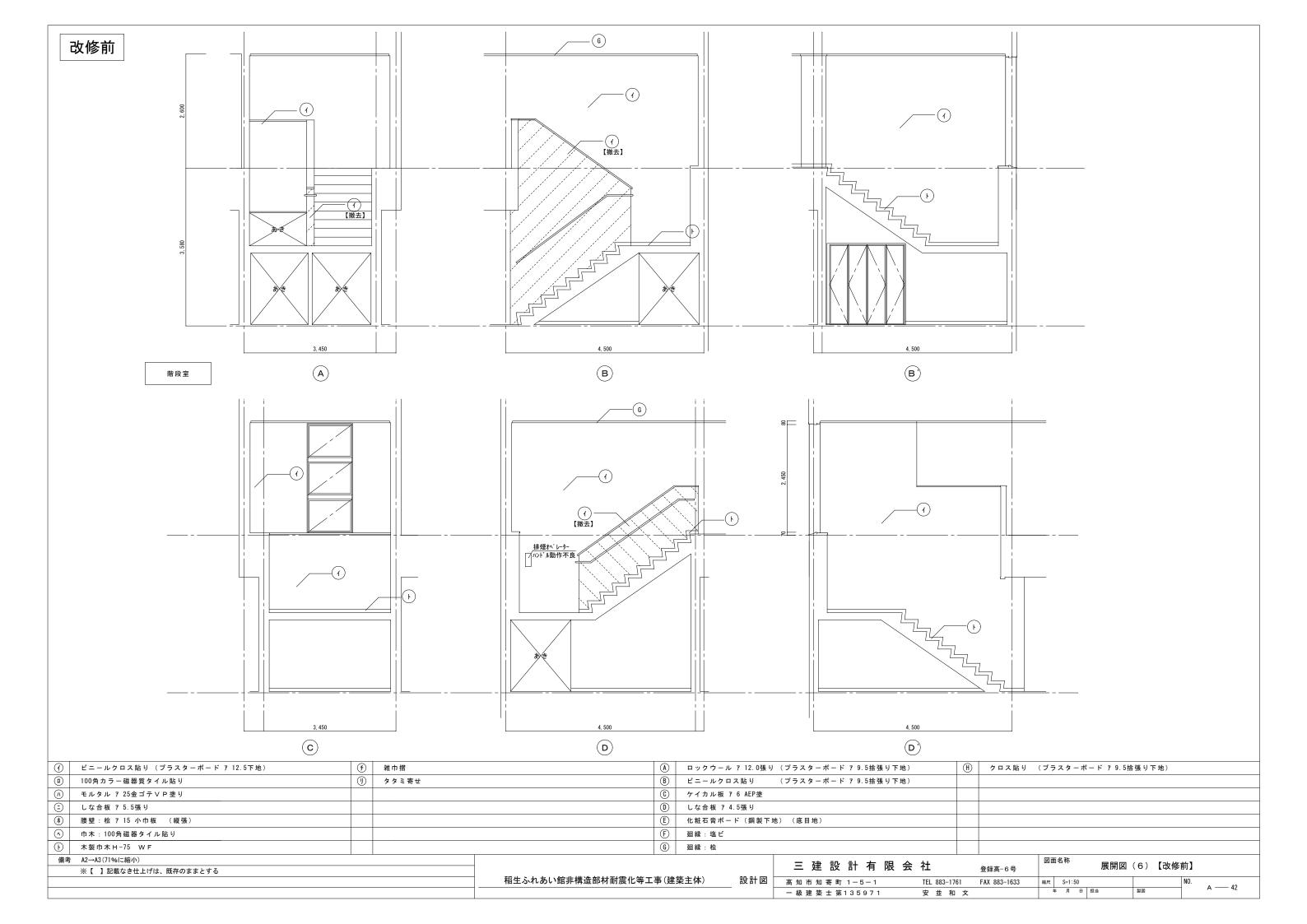


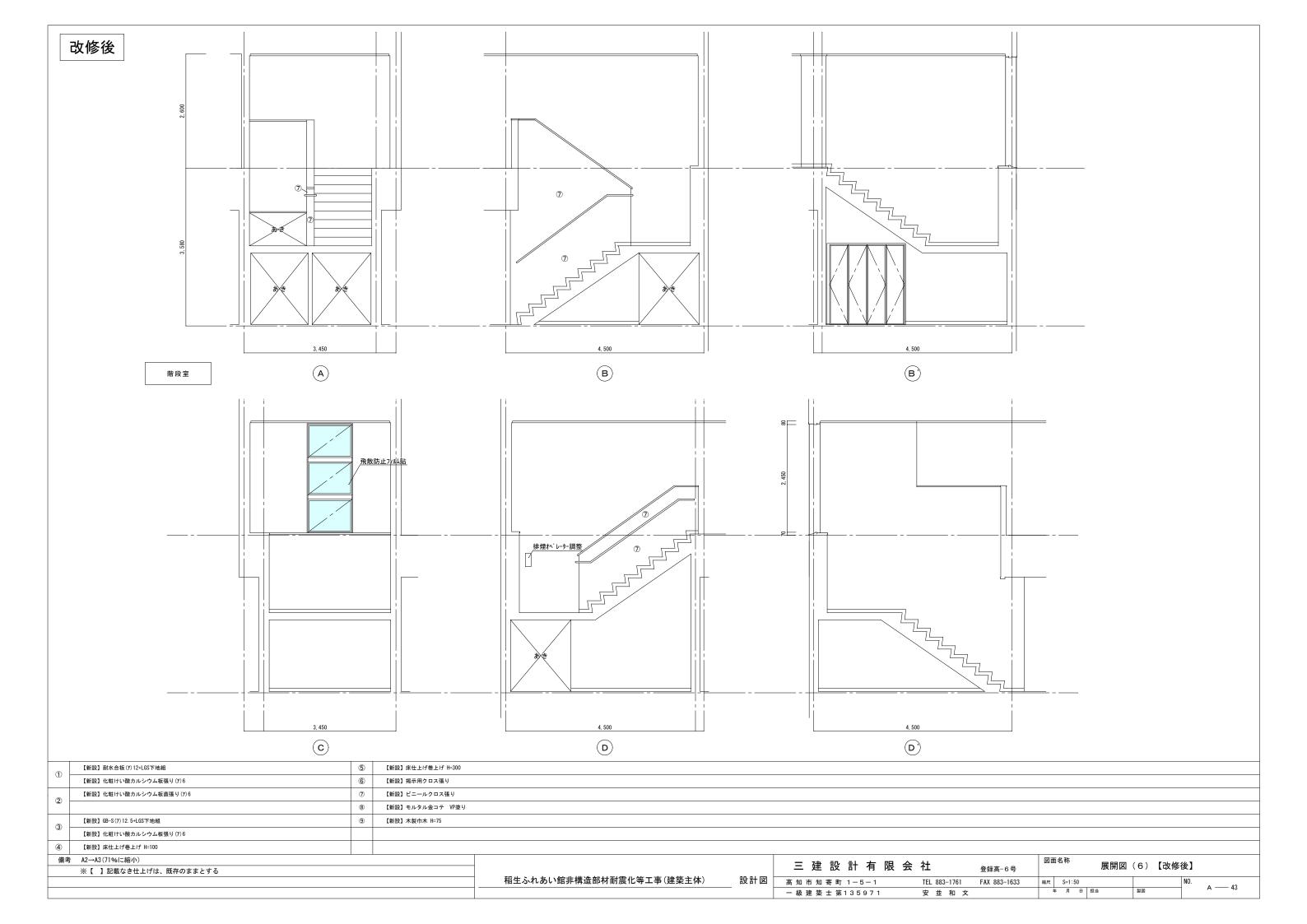


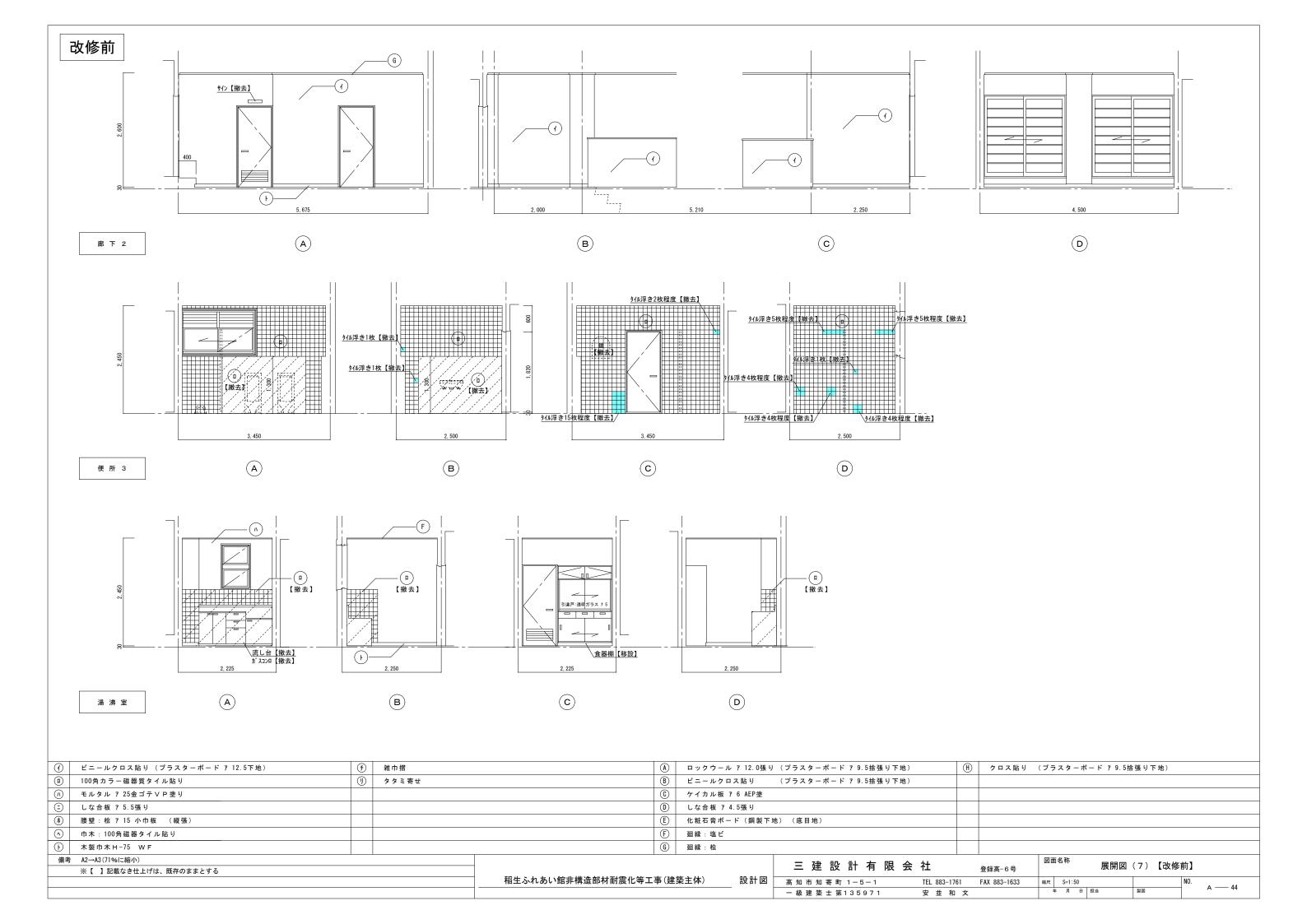


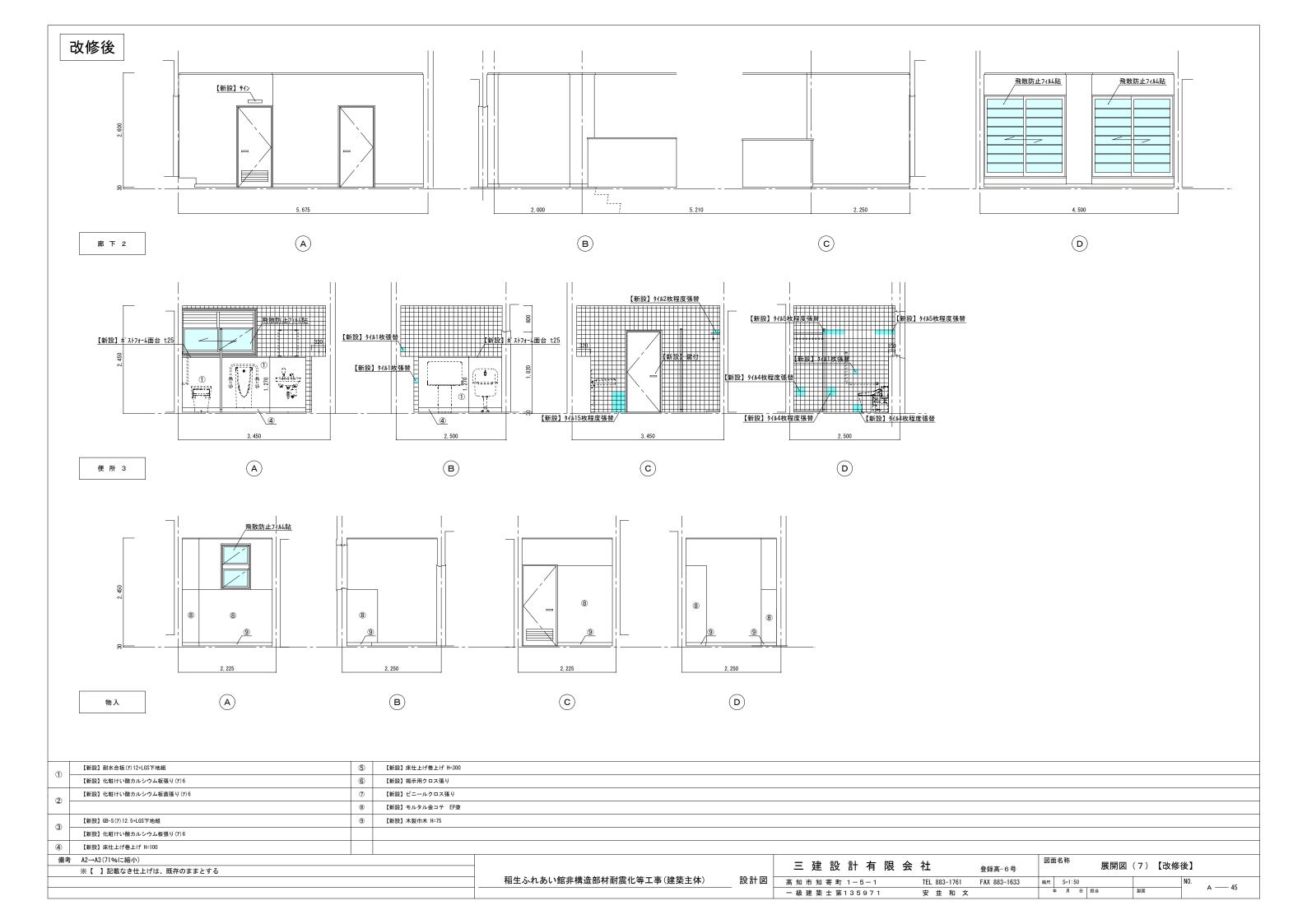




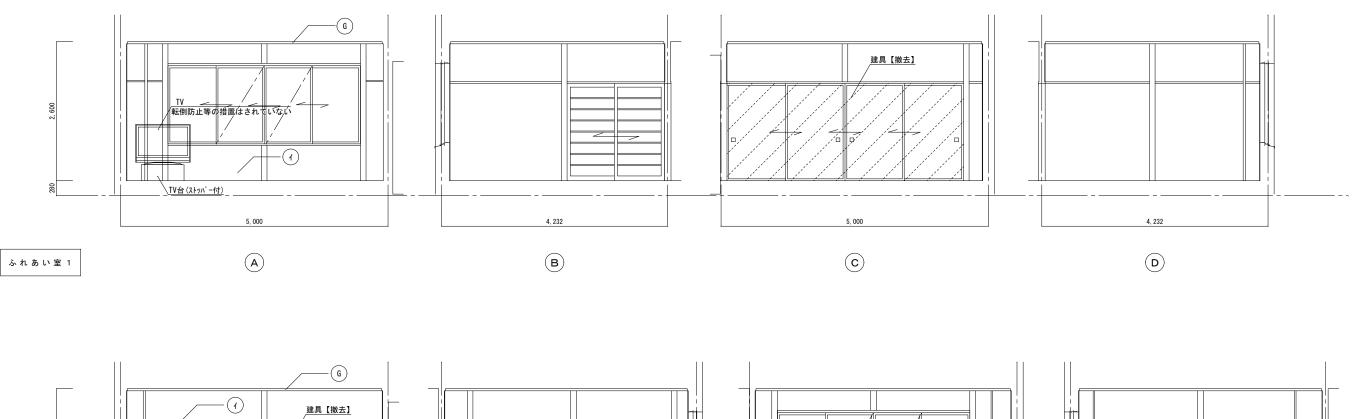










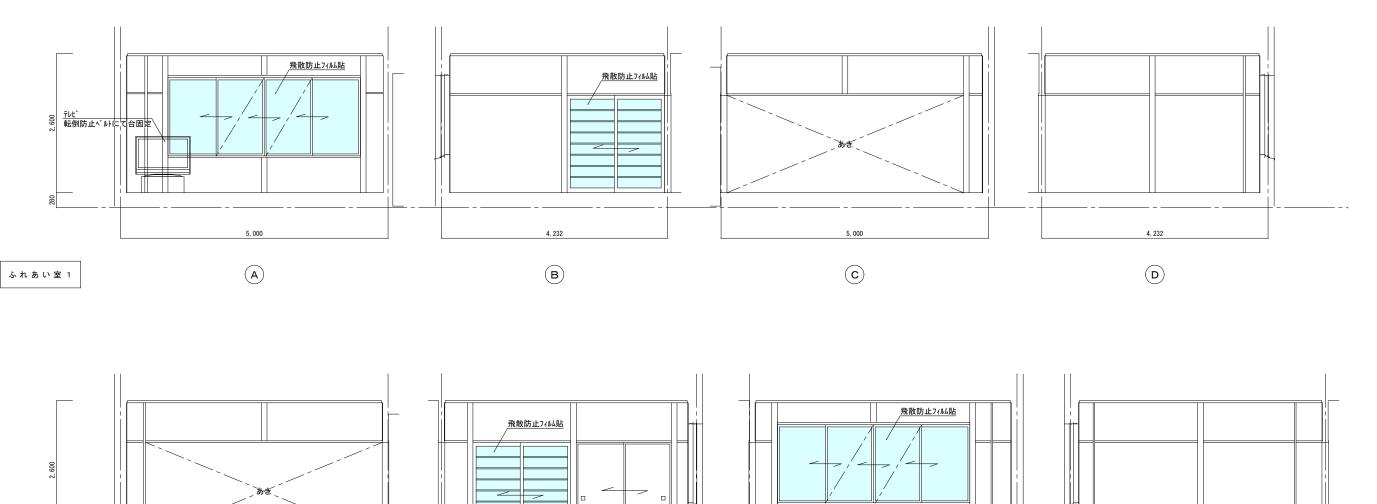


2.600	(1) 建具 [撤去]			TV台【撤去】	
88	5,000	4, 768	5,000	4, 768	_
ふれあい室 2	(A)	(B)	(c)	( <b>D</b> )	

() ビニールクロス貼り (プラスターボード 7 12.5下地)	(手) 雑巾摺	(A) ロックウール	· 7 12.0張り (プラスターボード 7 9.5捨張り下地)	田 クロス貼り	り (プラスターボード 7 9.5捨張り下地)
① 100角カラー磁器質タイル貼り	り タタミ寄せ	B ビニールクロ	ス貼り (プラスターボード 7 9.5捨張り下地)		
		⑥ ケイカル板ご	7 6 AEP塗		
□ しな合板 7 5.5張り		① しな合板 7 4	1.5張り		
康壁:桧 7 15 小巾板 (縦張)		E 化粧石膏ボー	・ド(鋼製下地) (底目地)		
へ 巾木:100角磁器タイル貼り		F 廻縁:塩ビ			
		<b>⑥</b> 廻縁:桧			
W. d. 10 (74-11-14-11)				'	

備考 A2→A3(71%に縮小) ※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする			三建設計有限会社	登録高-6号	図面名称 展開図	(8)【改修	前】
	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体) 設計	図 🗆	高知市知寄町 1-5-1 TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:50		NO. A 46
			一級建築士第135971 安並和	文	年 月 日 担当	製図	A —— 40

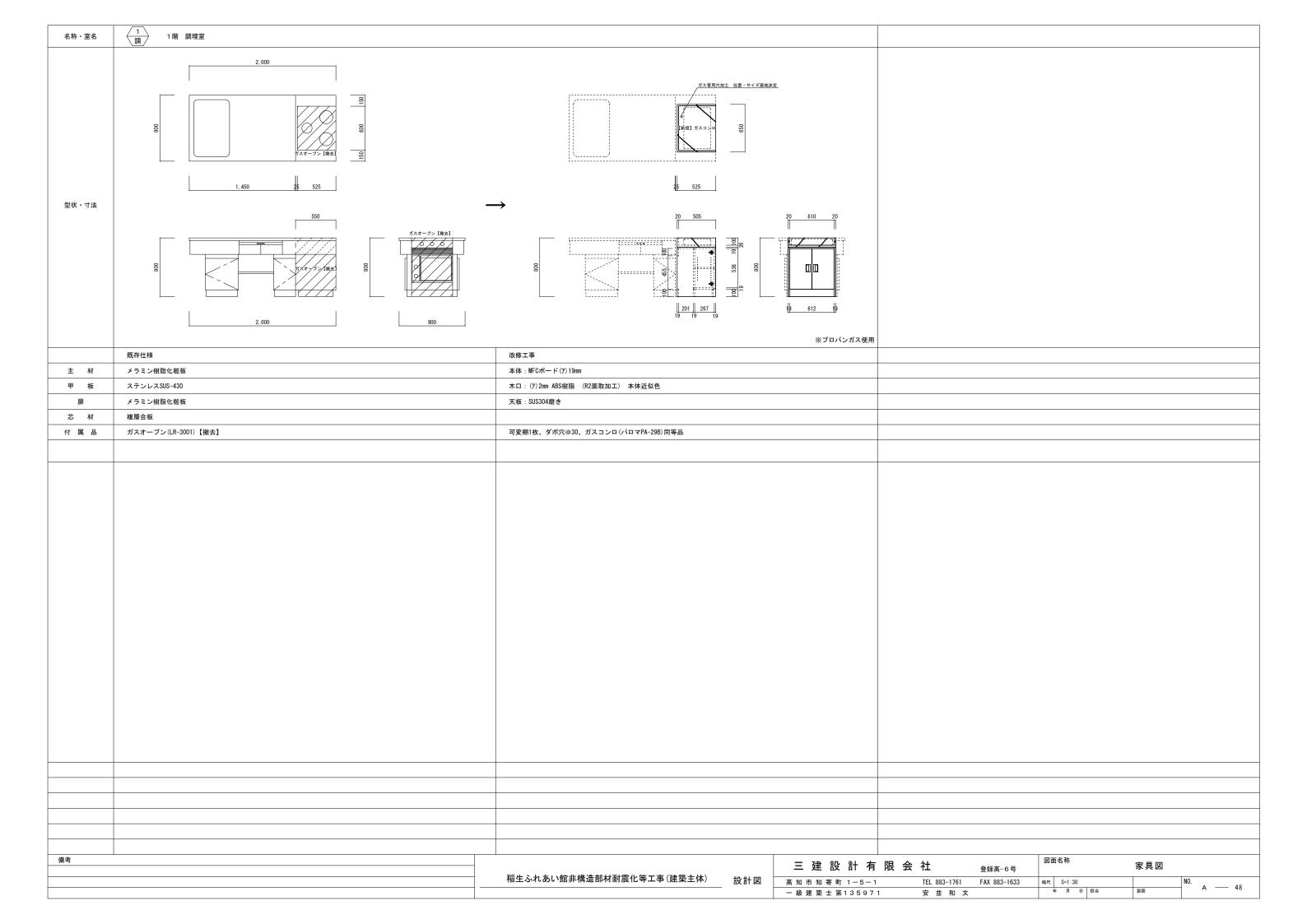


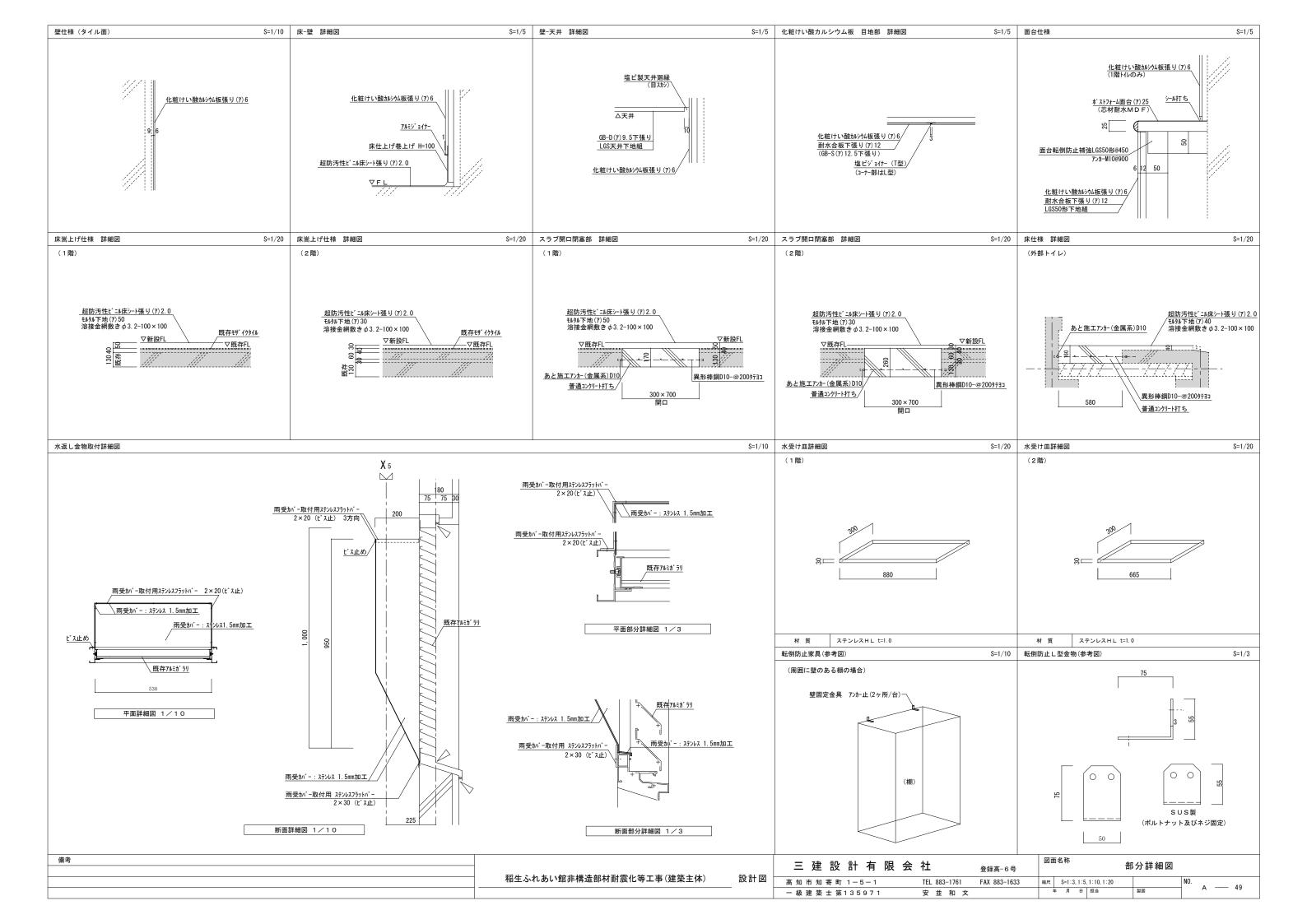


280 2,600	, bet	飛散防止74ルム站	飛散防止7/164贴		_
	5, 000	4, 768	5,000	4, 768	
ふれあい室 2	A	В	C	D	

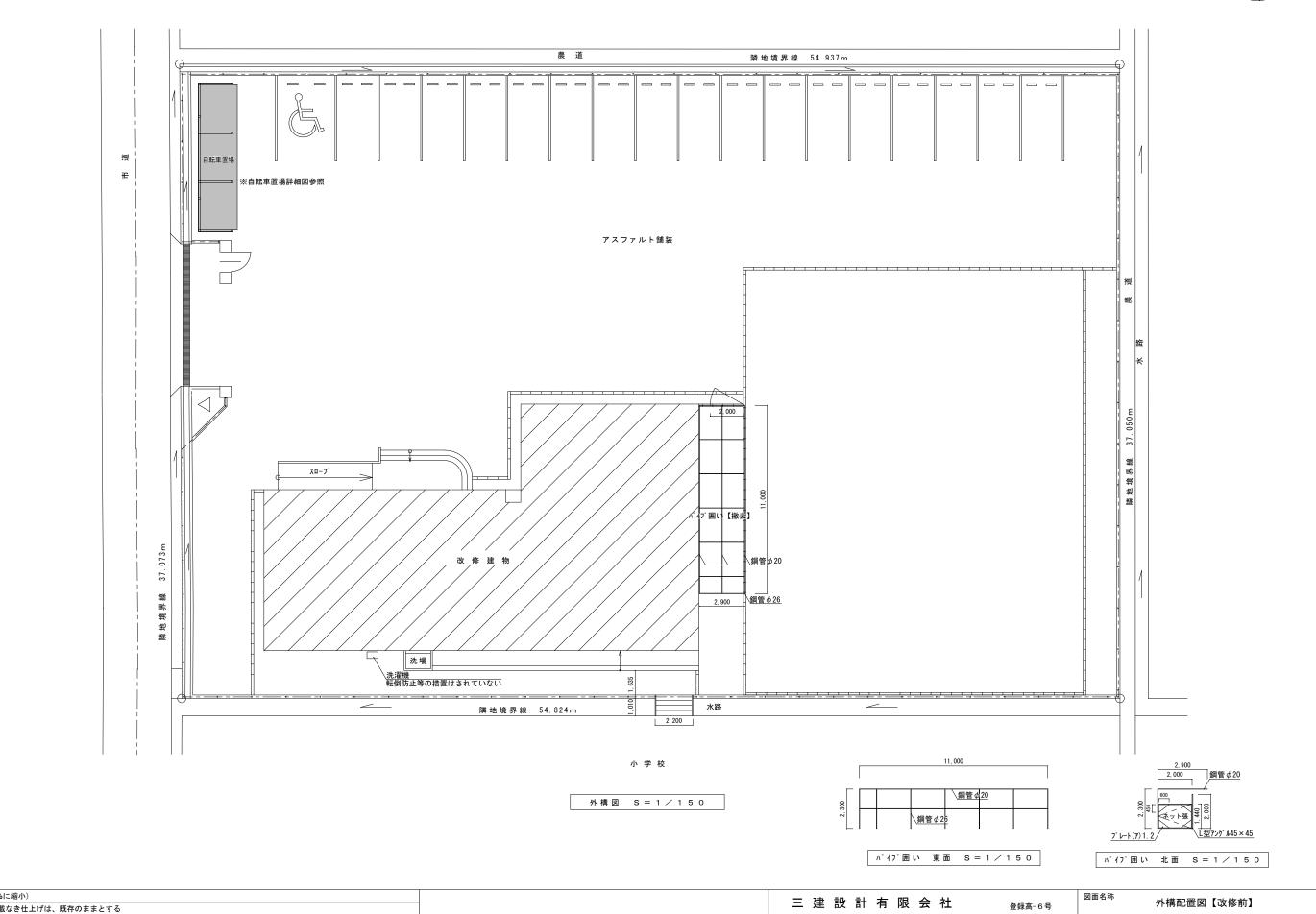
	【新設】耐水合板 (7) 12+LGS下地組	⑤ 【新設】床仕上げ巻上げ H=300		
	【新設】化粧けい酸カルシウム板張り(7)6	⑥ 【新設】掲示用クロス張り		
2	【新設】化粧けい酸カルシウム板直張り(7)6	⑦ 【新設】ビニールクロス張り		
		⑧ 【新設】モルタル金コテ VP塗り		
2	【新設】GB-S(7)12.5+LGS下地組	⑨ 【新設】木製巾木 H=75		
	【新設】化粧けい酸カルシウム板張り(7)6			
4	【新設】床仕上げ巻上げ H-100			
備	· A2→A3(71%に縮小)		一进机业专用办外	図面名称 展開図(8)【改修後】
	※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする		三 建 設 計 有 限 会 社 登録高-6号	展開凶(8)【以修復】

備考 A2→A3(71%に縮小)			二净机制方阳	 会 社		図面名称	<b>展問</b> 网	(8)【改修	<b>丝</b> 1
※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする				云 江	登録高-6号		成洲凶		[交]
	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体)	設計図	高知市知寄町 1-5-1	TEL 883-1761	FAX 883-1633	縮尺 S=1:50			NO. A 47
			一級建築士第135971	安 並 和 文		年 月 日	担当	製図	A — 47



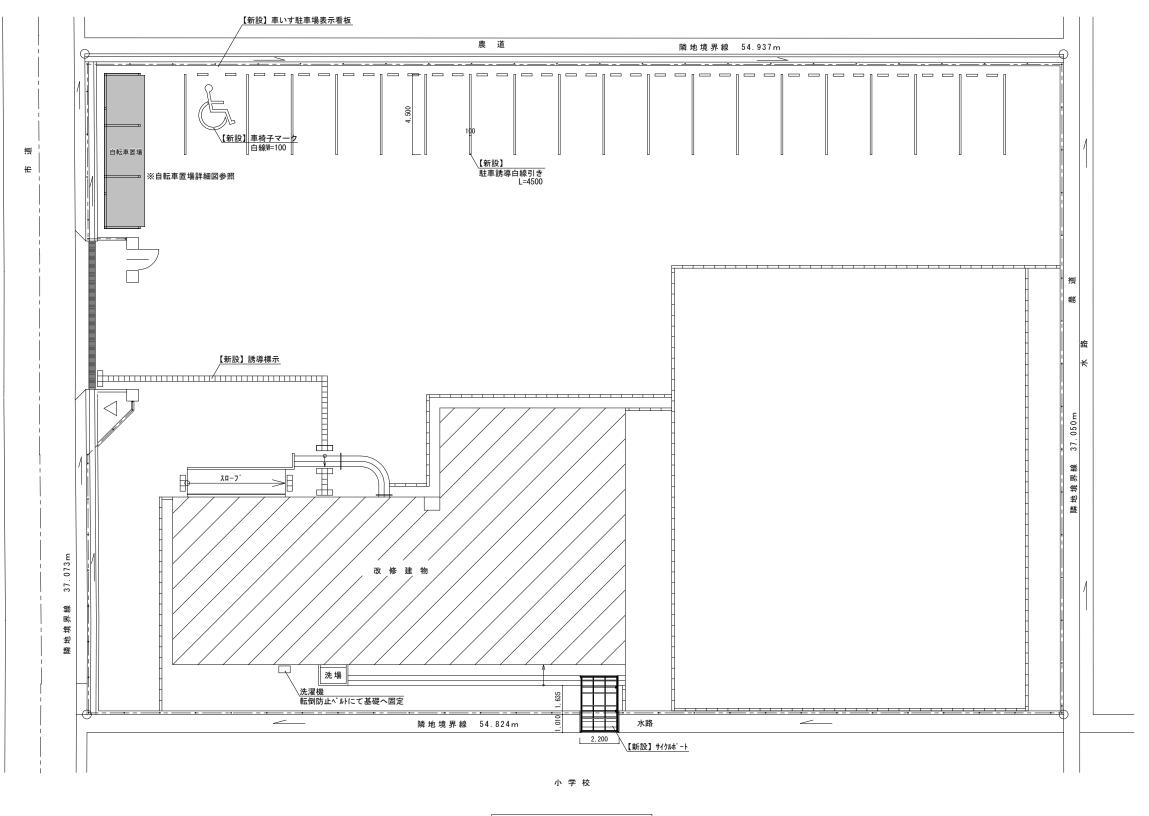






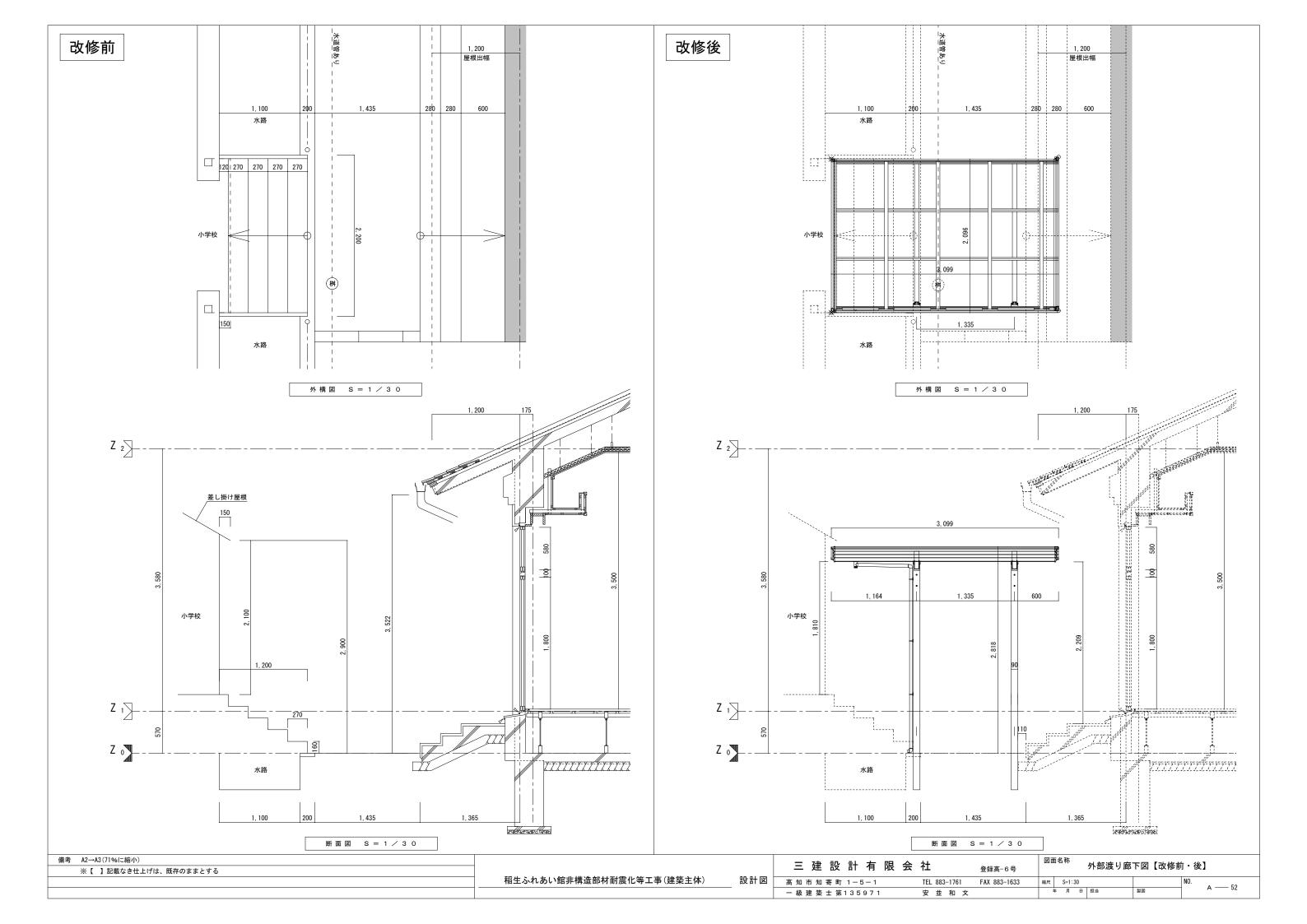
備考 A2→A3(7196に縮小)			三建設計有限会社		図面名称	構配置図【改修前	
※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする				登録高-6号	711	博印色区 【以修	4 U.A.
	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体)	設計図	高知市知寄町 1-5-1 TEL	883-1761 FAX 883-1633	縮尺 S=1:150		NO. A —— 50
			一級建築士第135971 安	並 和 文	年 月 日 担当	製図	A 50

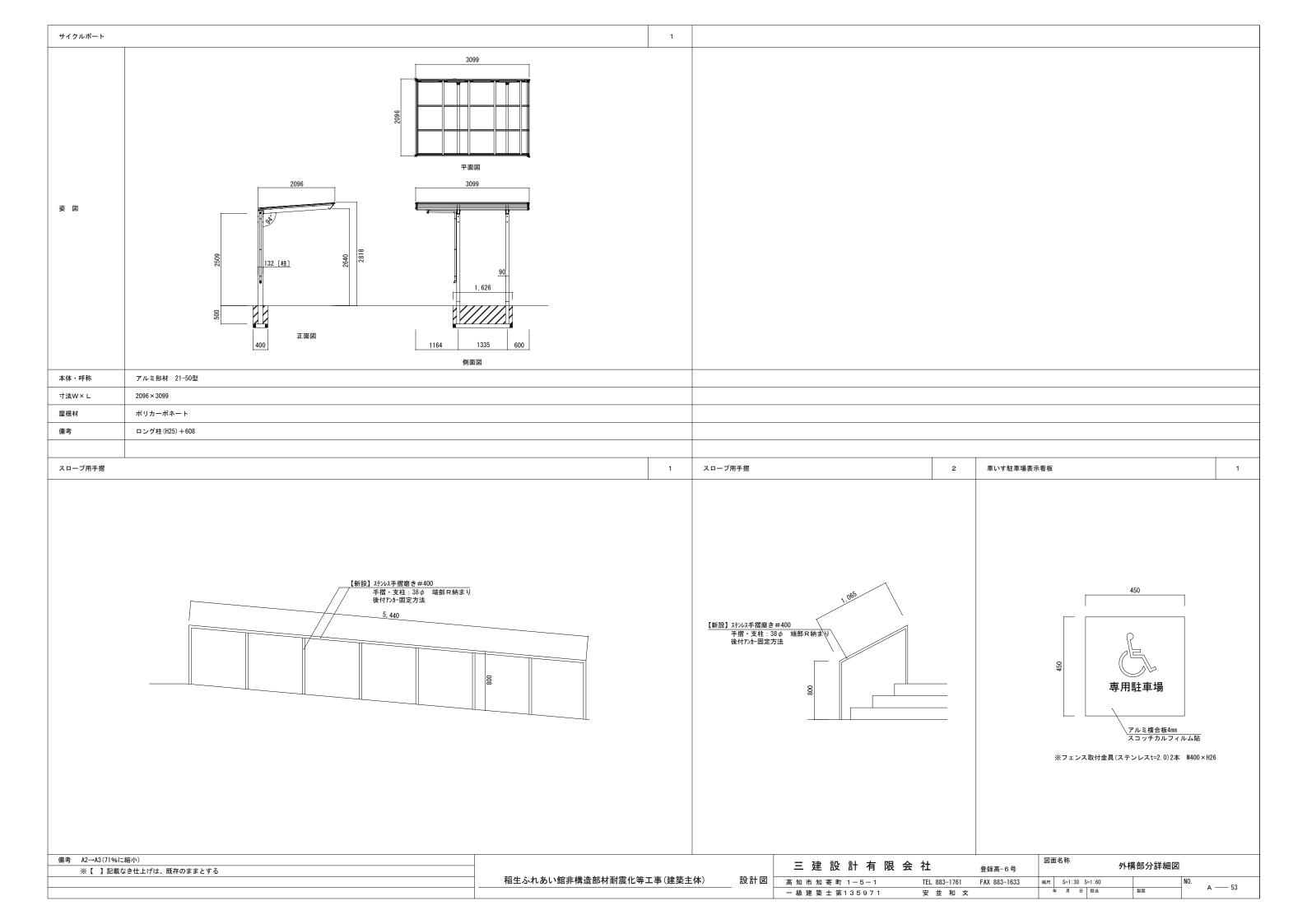


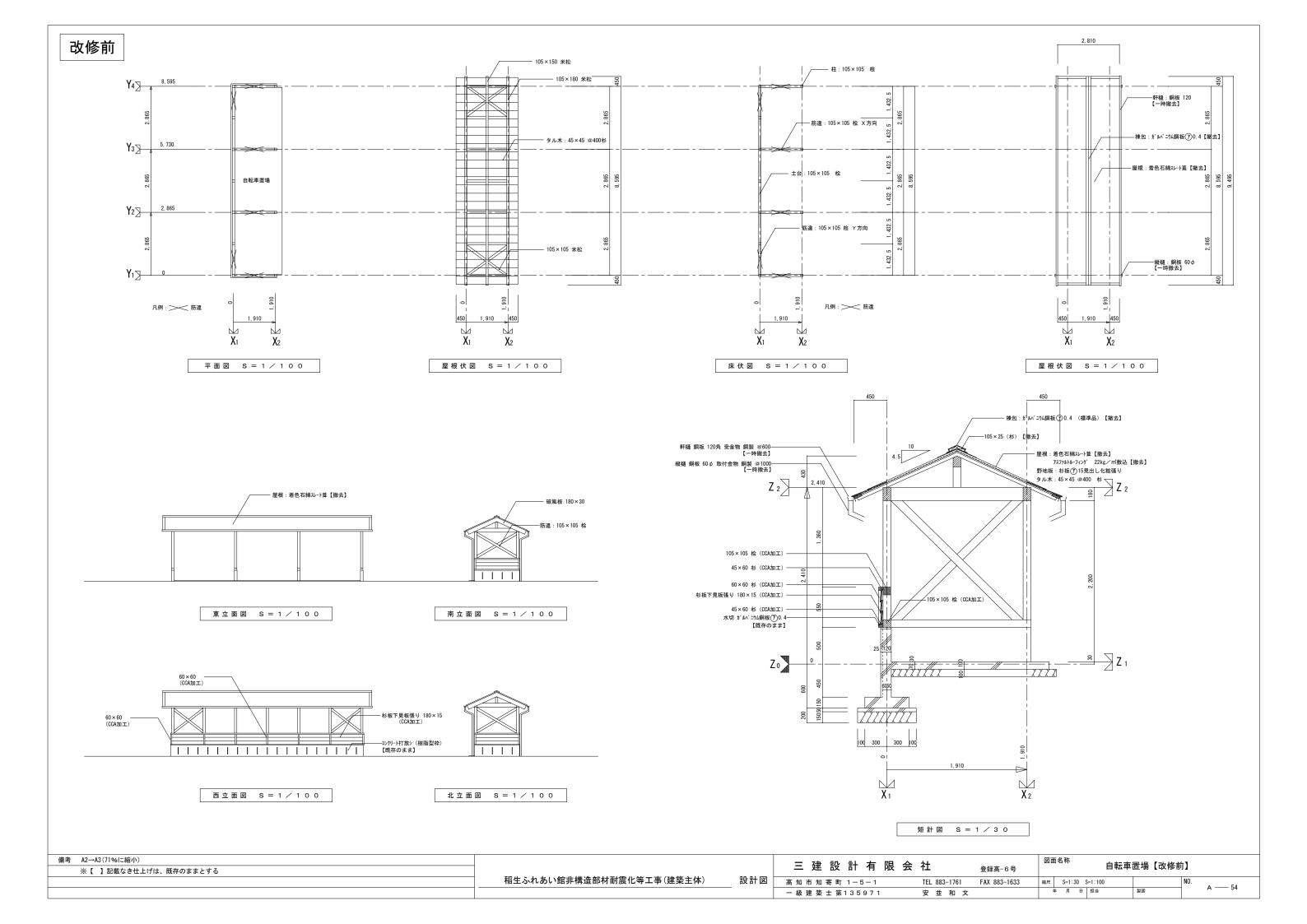


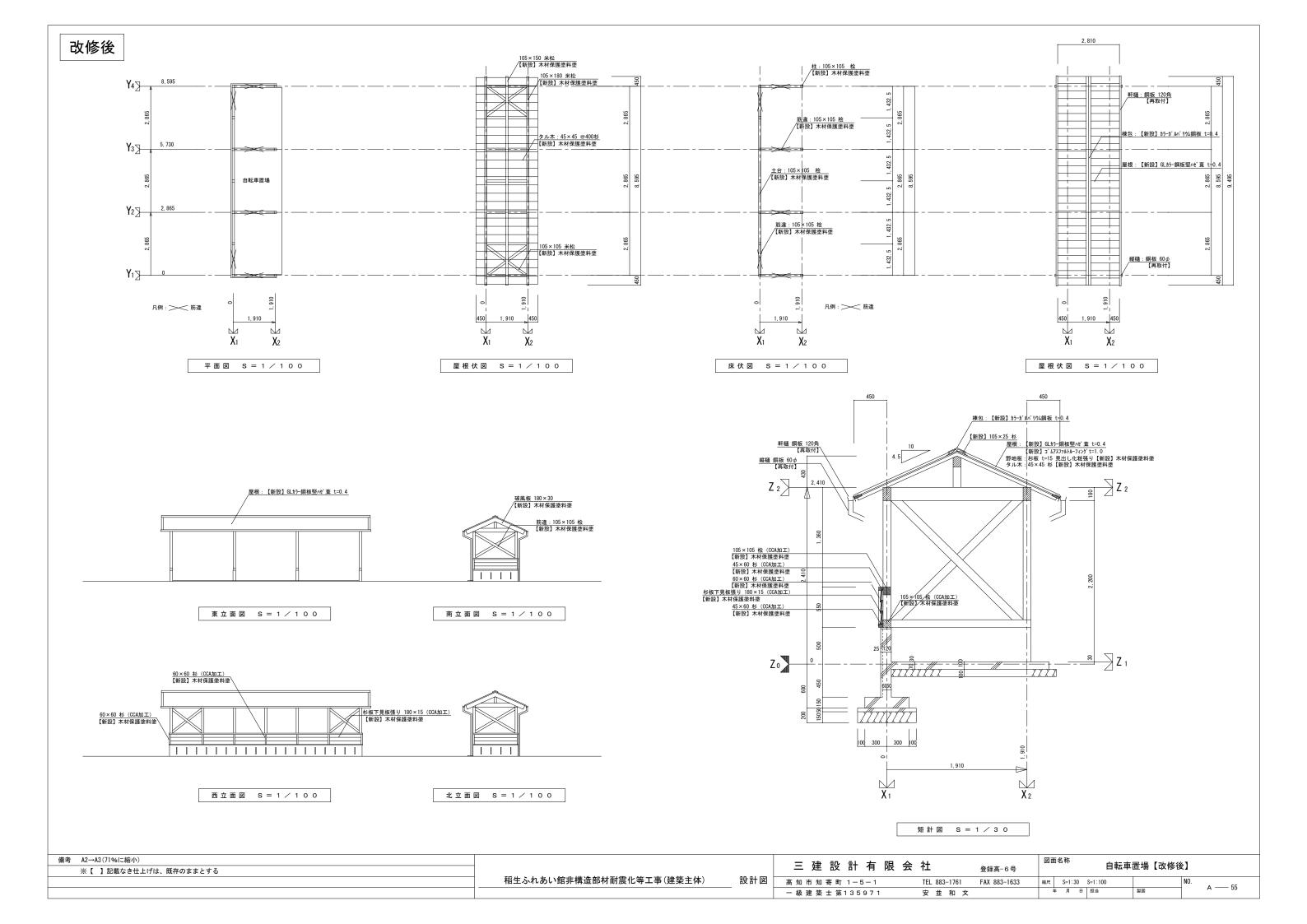
外構図 S=1/150

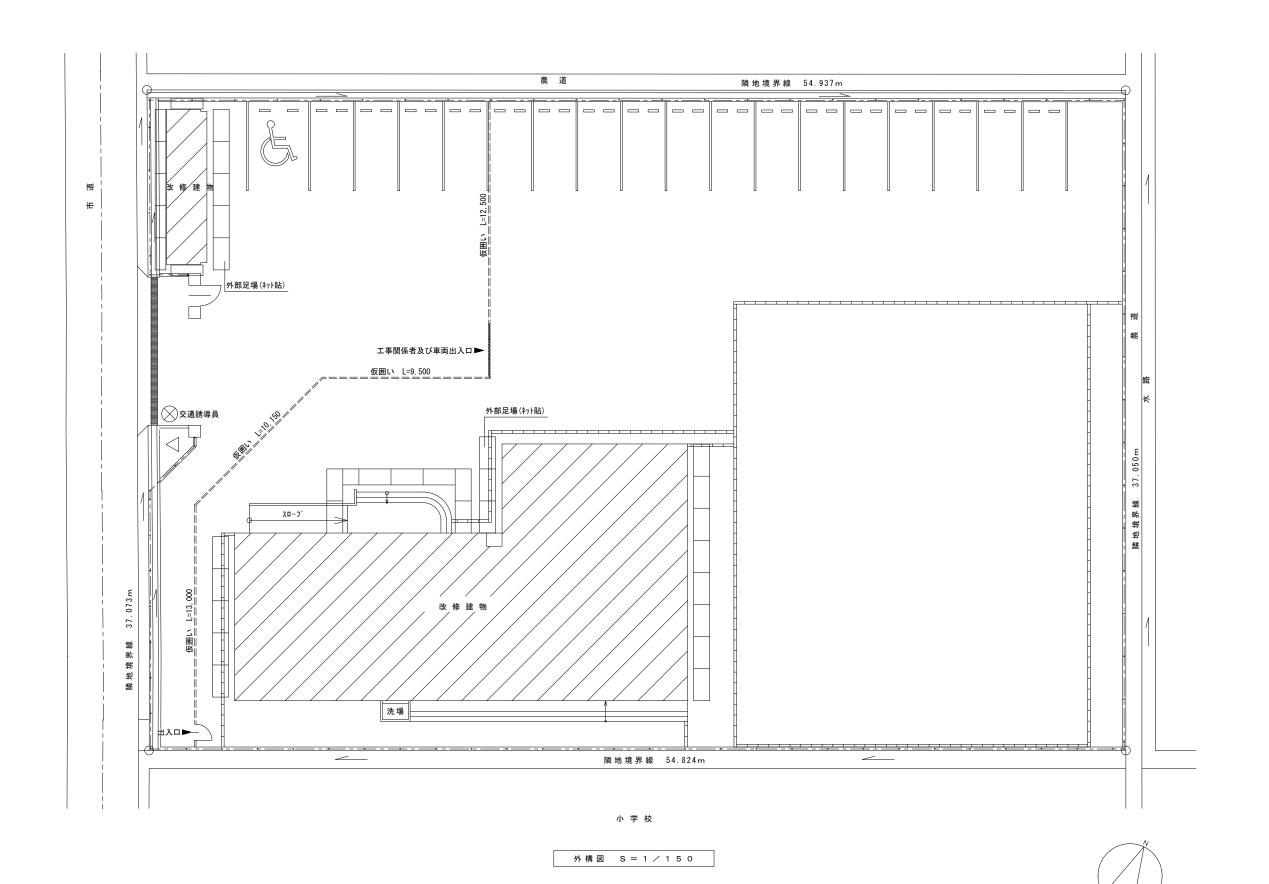
備考 A2→A3(71%に縮小)			= 建設計有限合	<b>}</b> ±	図面名称 🙀 🛱 🖽	2置図【改修後】
※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする			三建設計有限会	至 登録高−6号	グト作典目	C直凶【以修伎】
	稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体)	設計図	高知市知寄町 1-5-1	TEL 883-1761 FAX 883-1633	縮尺 S=1:150	NO. 51
			一級建築士第135971	安 並 和 文	年 月 日 担当	製図











※仮囲いは成形鋼板貼H=2000とし、クロスゲート W=3000・H=1800、扉W=900・H=2000を設置する

稲生ふれあい館非構造部材耐震化等工事(建築主体)

備考 A2→A3(71%に縮小)

※【 】記載なき仕上げは、既存のままとする

 三建設計有限会社
 図面名称
 仮設計画図

 高知市知寄町1-5-1
 TEL 883-1761
 FAX 883-1633
 編尺 S=1:150
 MO. A — 56

 一級建築士第135971
 安並和文
 年月日間
 日間